

リアホナ

**主に学び、
主の言葉を聞く、
12, 14, 20ページ**

希望を与えてくれた
聖典の中の3つの物語, 44ページ

これらのことを尋ね求める, 52ページ

あなたも今、宣教師になれます、
58, 68ページ



描写は特じりれています

「息子テモテに聖書を教える母ユニケ」 サンドイー・フレックルトン・ギャゴン画

使徒パウロはこう言ってテモテをほめました。
「あなたがいだいている偽りのない信仰……この
信仰は、まずあなたの祖母ロイスとあなたの母ユニ
ケとに宿ったものであった……。」(2テモテ1:5)

テモテは「キリストの福音における神の同労者」
であり(1テサロニケ3:2)、パウロの忠実な補佐と
して、パウロから「信仰によるわたしの真実な子」
と呼ばれた(1テモテ1:2)。



リアホナ 2011年1月号

メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——
主は宣教師を
必要としておられます
トーマス・S・モンソン大管長
- 7 家庭訪問メッセージ——
扶助協会の歴史と受け継ぎ

特集

- 14 偉大な教師、救い主
ジェイ・E・ジェンセン長老
人々を教え、強めるために主が聖
文を使われた方法は、わたしたち
全員にとっての模範です。

表紙

「イエス、マリヤ、マルタ」
アントン・ドーフ画、
ホープギャラリーの厚意により掲載

20 新約聖書の歴史的背景

トーマス・A・ウエイメント
新約聖書を書いたのはだれでしょ
うか。それはどのようにして、わ
たしたちに伝えられたのでしょうか。

26 わたしたちの教会の基本的教義

ダリン・H・オークス長老
隣の人はこの教会の鍵となる真
理を知らないかもしれません。

34 新しい「成長するわたし」プログラム
は、どのように変わったのですか？

イレイン・S・ダルトン
中央若い女性会長が「成長する
わたし」プログラムの変更点を説
明します。

37 アロン神権——あなたが考える
以上に素晴らしいもの

デビッド・L・ベック
新しい『神への務め』小冊子は、福
音を学び、行い、分かち合うことが
できるよう、あなたを助けてくれます。

シリーズ

- 8 小さな、簡単なこと
- 11 わたしたちの家庭、
わたしたちの家族——
回復をもたらす祈りの力
マルコス・A・ウォーカー
- 12 わたしたちが信じていること——
聖文はイエス・キリストについて
教え、証する
- 40 末日聖徒の声
- 74 教会のニュース
- 79 家庭の夕べのためのアイデア
- 80 また会う日まで——
決して見捨てられることはない
アダム・C・オルソン





44

44 古代の模範、現代の約束

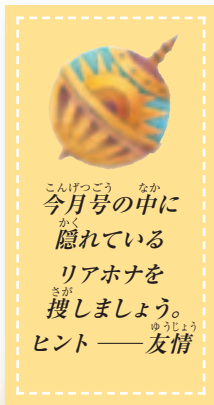
匿名

何千年も前の物語が、なぜ今のわたしの生活に意味を持っているのでしょうか。

47 生活の中の福音——

信じることから知ることへ

チャオ・イー・リン



こんげつごう なか
今月号の中に
かく
隠れている
リアホナを
さが
搜しましょう。
ヒント——友情

53

48 そこが知りたい

50 伝道地から——天使の前で

サミュエル・ゴールド

52 わたしたちは信じます!

中央若い女性会長

聖霊の力と強さを受けるには、標準や徳質を信頼し、守り、身につけなければなりません。

53 忠実な神権者となる

中央若い男性会長

わたしたちは、皆さんが忠実な神権者となるとき、偉大なことができることを知っています。

54 教えに教え——信仰箇条 1:13

55 セミナリーを受けなくちゃ

リサ・ペース

友達の言葉がわたしの生活を変えました。

56 わたしたちのスペース

57 ポスター——

重要な人になるのは
良いことです。

58 宣教師になりたい?

ローラン・クック

伝道にどう備えたらいいかわからないですか? 5つの方法を紹介しましょう。



68

60 最高のブリガム・ヤング

カレン・A・キンボール

ブリガム・ヤングのせりふは、^{ただ}正しくありませんでした。キャシーはどうすればよいでしょう?

62 特別な証人——

どうしたら^{霊的}な土台^を
築けるでしょうか?

ニール・L・アンダーセン^{長老}

63 わたしたちのページ

64 分かち合いの時間——

せいぶんは ^{かみ}の ^{ことば}です

ジョアン・チャイルド、

クリスティーナ・フランコ

66 イエス様のお話——

子供のイエス様

ダイアン・L・マンガム

68 イサベルはどこ?

スーザン・デニー

70 小さな お友だちへ



リアホナ 2011年1月号
第13巻1号 (09681 300)

末日聖徒イエス・キリスト教会公式国際機関誌 (日本語版)

大管長会: トーマス・S・モンソン, ヘンリー・B・アイリング, ディーター・F・ウークトドルフ

十二使徒定員会: ボイド・K・バックナー, L・トム・ベリー, ラッセル・M・ネelson, ダリン・H・オークス, M・ラッセル・バラード, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ, ジェフリー・R・ホルランド, デビッド・A・ベドナー, クエンティン・L・クック, D・トッド・クリストファーソン, ニール・L・アンダーセン

編集長: ボール・B・パイパー

顧問: スタンレー・G・エリス, クリストフェル・ゴールデン・ジュニア, 菊地良彦

実務運営ディレクター: デビッド・L・フリッシュニク

編集ディレクター: ピンセント・A・ボーン

グラフィックスディレクター: アラン・R・ロイボーグ

編集主幹: R・バル・ジョンソン

編集主幹補佐: ジェニファー・L・グリーンウッド, アダム・C・オルソン

共同編集者: ライアン・カー

編集補佐: スーザン・バレット

編集スタッフ: デビッド・A・エドワーズ, マシュー・D・フリットン, ラリー・ポーター, ガーンツ, ラリー・ヒラー, キャリー・カステン, ジェニファー・マティエ, メリッサ・メリル, マイケル・R・モリス, サリー・J・オデカーク, ジョシュア・J・パーキー, チャド・E・ファレス, ジャン・ピンボロ, リチャード・M・ロムニー, ドン・L・サール, ジャネット・トーマス, ボール・バンデンバーク, ジュリー・ワーデル

主任秘書: ローレル・トイスチャー

実務運営アートディレクター: J・スコット・クヌーセン

アートディレクター: スコット・バン・カンペン

制作主幹: ジェーン・アン・ピーターズ

主任デザイナー: C・キンボール・ボット, トーマス・S・チャイルド, コリン・ヒンクレー, エリック・P・ジョンソン, スコット・M・ムーイ

制作スタッフ: カリ・R・アロヨ, コレット・ネベカー・オーヌ, ハワード・G・ブラウン, ジュリー・バーデット, レジナルド・J・クリステンセン, キム・フェンスターマカー, キャスリーン・ハワード, デニス・カービー, キニー・J・ニルソン

製版: ジェフ・L・マーティン

印刷ディレクター: クレグ・K・セドウィック

配送ディレクター: エバン・ラーセン

日本語版翻訳課長: ヘンリー・W・サブストローム

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替 (口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512) にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒133-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 1,000円 (送料共)

普通号/大会号 150円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は下記の連絡先にお送りください。

Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,

Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

電子メール: liahona@ldschurch.org

「リアホナ」は、www.liahona.lds.org に様々な言語で掲載されています。

「リアホナ」(モルモン書)に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語, アルメニア語, ビスマラ語, ブルガリア語, カンボジア語, セブアノ語, 中国語, クロアチア語, チェコ語, デンマーク語, オランダ語, 英語, エストニア語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ドイツ語, ギリシャ語, ヒンディー語, ハンガリー語, アイスランド語, インドネシア語, イタリア語, 日本語, キリバス語, 韓国語, ラトビア語, リトアニア語, マダガスカル語, マーシャル語, モンゴル語, ノルウェー語, ポーランド語, ポルトガル語, ルーマニア語, ロシア語, サモア語, シンハラ語, スロベニア語, スペイン語, スウェーデン語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, テルグ語, タイ語, トンガ語, ウクライナ語, ウルドゥー語, ベトナム語。(発行頻度は言語により異なります。)

©2011 Intellectual Reserve, Inc. 著作権所有。印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複製することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複製できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール — cor-intellectualproperty@ldschurch.org にご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada: January 2011 Vol. 35 No. 1. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431) POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

インターネットで得られる追加情報

Liahona.lds.org [英語]



成人

救い主は偉大な教師でした (14 ページ参照)。www.teaching.lds.org [英語] にアクセスすると、**教える技術を向上させることができます。**

青少年



今月号では、『成長するわたし』と『神への務め』がどのように変わったかを紹介しています (34, 37 ページ)。関連するウェブサイト www.PersonalProgress.lds.org [英語] と www.DutytoGod.lds.org [英語] にもアクセスしてみてください。

子ども



72 ページの「せかい中の子どもたちとお友だちに なりましょう」を見てから、www.liahona.lds.org にある **インターネットのゲームをしてみましょう。**

今、ソルトレーク・シティーの教会歴史博物館では、**子供の作品を展示しています。** 出展されたすべての作品を www.liahona.lds.org で見るすることができます。

あなたの言語で

www.languages.lds.org で、「リアホナ」や教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。

今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

あかし証, 49, 55, 56	啓示, 26	セミナー, 55
アロン神権, 37	親しい交わり, 8	伝道活動, 4, 41, 50, 58, 68
イエス・キリスト, 14, 66, 80	従順, 50	天の守り, 50
祈り, 48, 56, 62	正直, 60	徳, 54
教えること, 14	神会, 26	扶助協会, 7
改宗, 改心, 41, 56	神権の祝福, 42	奉仕, 58, 62
家族, 26, 48	信仰, 44, 58	ホームティーチング, 42
家族歴史, 8	親切, 57, 58, 70	ミュージカル, 52
活発化, 40	新約聖書, 20	メディア, 48
「神への務め」プログラム, 37	聖文, 12, 20, 44, 47,	モルモン書, 47, 56
教会の召し, 43	62, 64	勇気, 60

トーマス・S・
モンソン大管長

主は宣教師を 必要としておられます

10月の総大会で、わたしはもっと多くの人が宣教師になるよう呼びかけました。ふさわしく、能力があるすべての若い男性は全員、伝道に出る準備をするべきです。宣教師として奉仕することは神権の義務です。非常に多くのものを受けているわたしたちに、主が望んでおられる務めなのです。若い男性の皆さん、わたしは皆さんに宣教師として奉仕する準備をするよう勧告します。いつも清く純粋で、主を代表するにふさわしくあってください。健康と体力を維持してください。聖文を研究してください。セミナーやインスティテュートがある地域では、それに出席してください。宣教師の手引きである『わたしの福音を宣べ伝えなさい』に精通してください。

姉妹の皆さん、皆さんには専任宣教師として奉仕するという若い男性と同じ神権の責任はありませんが、宣教師として価値ある貢献ができます。皆さんの奉仕を歓迎します。

教会の熟年の兄弟姉妹の皆さん、主はもっともっと大勢の皆さんが専任宣教師として奉仕することを必要として

おられることを思い起こしてください。夫婦宣教師として奉仕できる時期がまだ来ていない皆さんには、伴侶とともに夫婦宣教師に召される日のために今準備をするよう強く勧めます。夫婦そろって専任で主の業に携わることで得られる、すばらしい御霊と充実感を味わう機会は、人生にそうめったにあるものではありません。

さて、中には自分は恥ずかしがり屋であるとか、奉仕の呼びかけにこたえるほどの人物ではないと思う人がいるかもしれません。これは主の業であり、主の用向きを行うときには主の助けが得られることを思い起こしてください。主は、背中に置かれる重荷に耐えられるようにしてください。

あるいは、奉仕するのにふさわしくはあっても、もっと重要なことがあると感じている人もいるかもしれません。「わたしを尊ぶ者を、わたしは尊び」（サムエル上2:30）という主の約束を、わたしはよく覚えています。宣教師として、献身的に、愛に満ちた奉仕をする以上に、天の御父と救い主をたたえることはできません。

ジュリアス・フセックと妻のドロ

シーの伝道の経験は、そのような奉仕の模範です。彼らはポーランドで伝道する召しを受けました。フセック兄弟はポーランドで生まれました。彼はその国の言葉を話しました。彼はその国の人々を愛していました。フセック姉妹はイギリス人で、ポーランドの言葉や人々についてほとんど知りませんでした。二人は主を信頼して伝道を始めました。仕事は孤独で、しかもすべきことは山ほどありました。当時ポーランドにはまだ伝道部がありませんでした。フセック夫妻に与えられた割り当ては道を備えることです。それは伝道部が設置されるための準備でした。

責任のあまりの大きさにフセック長老姉妹はくじけてしまったのでしょうか。そのようなことは一瞬たりともありませんでした。彼らは自分たちの召しが神から与えられたものであると知っていました。彼らは、天の助けを祈り求め、全身全霊で打ち込みました。

やがて十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老と、当時七十人だったハンス・B・リンガー長老、それにわたしはフセック長老とともに



ポーランド政府で宗教を担当するアダム・ロパトカ長官を訪れました。長官はこう言いました。「あなたがたの教会を歓迎いたします。建物を造ってもけっこうですし、宣教師を派遣してもけっこうです。」そして長官はフセック長老を指して言いました。「この方は教会のために一生懸命に働いてこられました。皆さんは彼の模範と働きに感謝なさるとよいでしょう。」

フセック夫妻のように、わたしたちも主の業においてなすべきことを行おうではありませんか。そうすれば、わたしたちもジュリアス・フセックと妻ドロシーとともに次の詩篇の言葉を体現することができるでしょう。

「わが助けは、天と地を造られた主から来る。

……あなたを守る者はまどろむことがない。

見よ、イスラエルを守る者はまどろむこともなく、眠ることもない（詩篇 121:2-4）。■

このメッセージから教える

『**教**師、その大いなる召し』にはこうあります。「福音の原則に従って生活することがあなたの生活にいか
に祝福をもたらしたかの個人的な経験を分かち合う。簡単に生徒自身の経験も語ってもらうよう促す。」(159 ページ) このメッセージを読み、モンソン大管長はだれに向かって伝道に出るべきであると言っているか、家族に尋ねてください。あなたかほかの人が専任宣教師として奉仕していたときの個人的な経験を分かち合ってください。また、将来あなたが宣教師として奉仕する計画について分かち合ってください。家族に、彼らの計画や良い経験を話すように勧めてください。

青少年



未来に向かって自転車をこぐ

ピーター・エバンズ, リチャード・M・ロムニー

若い男性の多くが伝道資金を準備しています。アフリカでは、パスポートの費用を準備することも含まれます。セドリック・シアンピンは、新しい方法で資金を準備しました。自転車でバナナを積んで売ったのです。

セドリックはコンゴ民主共和国のルプタに住んでいます。ルプタ地方部には伝道に出るためにお金をためている若い男性が45人いて、セドリックもその中の一人です。コンゴ民主共和国では、パスポートの取得に250ドルかかります。それは家1軒の建築費のおよそ3分の2の金額に相当します。

でも、セドリックは恐れませんでした。ルプタから自転車で15キロないし30キロ離れた小さな村々へ行き、バナナを買い、それからアフリカの灼熱のサバンナを、バナナをたくさん積んで重くなった自転車に乗って戻り、そのバナナを町で売ったのです。砂だらけの道を、毎週およそ180キロ移動しましたが、積み荷のバランスが悪くて問題が起きたのは、ただの1度だけでした。

セドリックはこのようにして、週に1ドル25セント（1年に65ドル）稼ぎました。パスポートのお金をためるのに、4年かかりました。でも今、資金面については奉仕の召しに応じる備えができていますので、セドリックは自分が将来伝道に出られることを知っています。

こども

小さいときから じゅんびします

モンソンだいかんちょうは どのようにでも じゅんびをするよう よびかけました。そのよびかけをおぼえておけるように この しょうめい書を コピーするか、LDS.org から いんさつするか、自分で しょうめい書をつくって、名前を書いて、かべにかけたり 日記にはさんだりしてください。



わたしは じゅんびを します。

トーマス・S・モンソンだいかんちょうは、わたしに、どのように出る そなえをするようにと、言いました。わたしは、

- いつもきよく じゅんすいで、主をだいひょうするに ふさわしくあります。
- けんこうと 体力を いじします。
- 祈り、聖文を研究します。

わたしは、どのように出る そなえをします。

(自分の名前)



信仰・家族・扶助

扶助協会の 歴史と受け継ぎ

この資料を学び、必要に応じて
訪問先の姉妹と話し合ってください。
質問を使うことによって、訪問先の姉妹を強め、
あなた自身の生活の中で扶助協会を生かすようにしてください。

エライザ・R・スノーは預言者ジョセフ・スミスが次のように教えたことを回想しています。「扶助協会という」名前は現代のものかもしれませんが、その組織の始まりは古くまでさかのぼります。¹

天の御父とその御子イエス・キリストはジョセフ・スミスのもとを訪れ、ジョセフを通じて地上に完全な福音を回復されました。扶助協会はその回復の一部でした。姉妹たちが組織されるまでは、教会の組織は完成してはいませんでした。²

これからしばらく、毎月の家庭訪問メッセージでは扶助協会の歴史と、回復された福音における扶助協会の役割についてさらに学ぶ機会を提供していきます。多くの理由から、わたしたちの歴史を理解することは重要であるだけでなく、不可欠なことです。

第1に、わたしたちの歴史を理解するとき、なる必要のある神の女性になろうという気持ちがわいてきます。高潔な末日聖徒の女性たちの模範に倣うことによって、どのようにして将来に立ち向かうべきかを過去から学ぶことができます。³

第2に、わたしたちの歴史は、今日のわたしたちの基本原則が初期の教会にあったのと同じ原則であることを教えてくれます。この知識と、信仰と個人の義を増し、家族と家庭を強め、助けの必要な人々を助けるというわたしたちの目的が、わたしたちの過去と現在とを結びつけてくれます。

第3に、わたしたちの歴史を尊ぶとき、自分たちの霊的な受け継ぎをもっとうまく分かち合えるようになります。大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は次のように述べています。「人が心に慈愛の賜物を授かる手助けをするとき、皆さんは受け継ぎを伝えていることになります。……扶助協会の歴史は、言葉や数字で記録されますが、その受け継ぎは心から心へと伝えられていきます。⁴

最後に、わたしたちの歴史を理解することによって、扶助協会の将来にあって良い働き手となることができます。スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）は次のように説明しています。「わたしたちは、過去に対して深い感謝の念を抱く女性は、義にかなった将来を築こうと努めることを知っています。⁵

中央扶助協会会長 ジュリー・B・ベック

何ができる でしょうか？

1. 訪問先の姉妹が慈愛の賜物を授かるように、どのような手助けができるでしょうか。

2. 自分自身の義にかなった将来を築くために、今月、何を始めることができるでしょうか。家族の将来やほかの人々の将来のために、何を始めることができるでしょうか。

詳しくは www.reliefsociety.lds.org [英語]をご覧ください。

聖文から——

エステル 9:28 - 29;
ローマ 16:1 - 2;
アルマ 37:8;
モロナイ 7:45 - 47

わたしたちの歴史から

「扶助協会は女性のための主の組織です。」⁶ 預言者として、ジョセフ・スミスは1842年3月17日に扶助協会を組織しました。その最初の集会には少数ながらも様々な人たちが集いました。皆、今日の扶助協会の姉妹たちと同じように献身的な女性でした。「最年少は3人の10代の女性で、最年長は50代の女性でした。既婚者が11人、夫を亡くした人が2人、未婚者が6人、配偶者の有無が不明の女性が1人。学歴や経歴は実に様々で、経済状況も様々でした。組織の会員が増え続けるにつれて多様性は何倍も増すでしょうが、彼女たちは一つであり、今後もそうあり続けるでしょう。」⁷

注

1. エライザ・R・スノー, "Female Relief Society," *Deseret News*, 1868年4月22日付, 81
2. 「歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス」451 参照
3. L・トム・ペリー「将来に立ち向かうために過去に取られた方法」『リアホナ』2009年11月号, 73 - 76 参照
4. ヘンリー・B・アイリング「扶助協会の不朽の受け継ぎ」『リアホナ』2009年11月号, 124
5. スペンサー・W・キンボール, "Privileges and Responsibilities of Sisters," *Ensign*, 1978年11月号, 104
6. スペンサー・W・キンボール, "Relief Society — Its Promise and Potential," *Ensign*, 1976年3月号, 4
7. ジル・ムルバ・デル, ジャナス・ラッセル・キャンノン, マリー・ウルセンバック・ピーチャー, *Women of Covenant* (1992年), 28



小さな、簡単なこと

「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられるのである。」
(アルマ 37:6)



新しい会員に歓迎の気持ちを伝える方法

- ワードや支部に新しく加わった会員に自己紹介をして、クラスや聖餐会では率先して隣に座ります。
- 彼らの名前を覚える努力をします。
- 神権指導者、日曜学校と扶助協会の会長会は、レッスンが始まる前に、本人から自己紹介をしてもらうようにします。
- 引っ越しの手伝いや、地域に慣れてもらうための手助けを申し出ます。
- ワードや支部の活動に誘います。
- 友達になりましょう。新会員と親しくなるための努力を数週間、数か月間にわたって続けます。

家族歴史活動に携わる

もしかするとあなたは家族の中でただ一人の教会員で、家族歴史活動の経験がないかもしれません。あるいは、先祖のための家族歴史活動と神殿活動の大部分はすでに家族のだれかが済ませているかもしれません。どのような状況であっても、あなたがこの大切な業に貢献できる方法はまだまだたくさんあります。

何から手をつけたらよいか分からなければ、あなたがいちばんよく知っている自分自身のことから始めましょう。つまり、家族歴史はすでに亡くなった親族だけが対象となるのではないのです。あなたがどのように生活しているかを記録する自分の歴史も含まれるのです。以下の事項を参考にして始めるとよいでしょう。

- 書類保管箱を用意して、そこに大切な記録を集めます。出生証明書、卒業証書、表彰状、日記、写真など、あなたの生活を物語るものです。
- もしスキャナーがあれば、古い大切な写真をスキャンして、デジタル化しておくことを検討します。

- 生活の中で霊を鼓舞された考え、気持ち、出来事を日記に書き留めておきます。
- 家族や親戚がそれぞれの人生で経験した大切な出来事を記録しておくために、彼らから話を聞く機会を作ります。最年長の親戚から始めます。次のような質問をするとよいでしょう。あなたの名前にはどのような由来がありますか。若かったころまたその後に、家族にはどのような伝統がありましたか。家族が持っている特別な才能、家族の特徴について何か紹介してもらえないことはありませんか。編さんした歴史は後の世代にとって家族の宝となることでしょうか。
- www.New.FamilySearch.org でアカウントを設定し、あなた自身と家族について集めた系図情報を入力します。手順はオンラインで説明されています。
- 可能であれば、神殿に行って先祖のための儀式を執行します。

家族歴史活動について質問があれば、ワードか支部の家族歴史相談員に問い合わせてください。



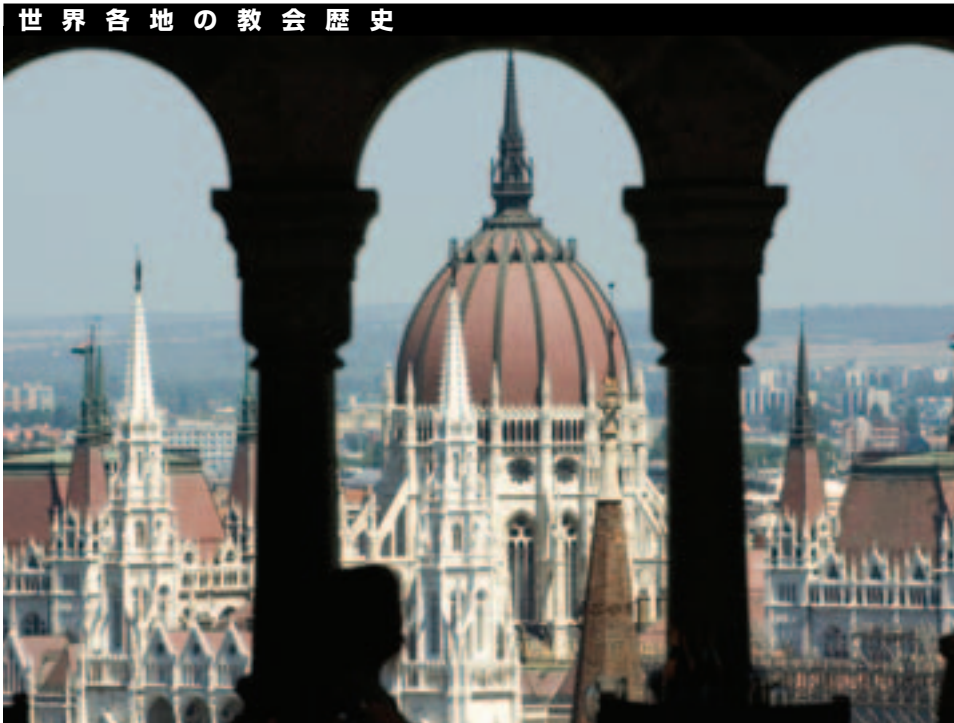
天の宝

「自分の先祖について情報を収集し始めると、単なる名前や神殿の儀式を受けた名前の数だけでなく、それを越えたものに興味を持つようになります。そのような興味を持つと、わたしたちの心は先祖に向いてくるのです。先祖を見だし、先祖を知り、先祖に奉仕することを求めるようになるのです。」

そうすることによって、わたしたちは宝を天に蓄えていくのです。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・
バックナー会長
「あなたの家族歴史
—— 始めること」
『リアホナ』
2003年8月号, 17





ハンガリー

末日聖徒の最初の宣教師がハンガリーに着任したのは1885年にさかのぼりますが、ほとんど成功することなく、約3か月後にはその地を去りました。ハンガリー人で最初の教会員だったと知られているミーシャ・マーコーは1887年にコンスタンティノープルでバプテスマを受けました。その後間もなくヨーロッパで伝道しましたが、教えを説いたことをとがめられて、最初はベルグラードから、後にハンガリーから追放されました。

ハンガリーでは政治情勢から、伝道活動が長年にわたって制限されてきました。1980年代に教会が好意的に報道されたことから、多くのハンガリー人が教会について詳しく調べるようになりました。そして1986年の年末にハンガリー政府は宣教師の入国を許可しました。

以来、伝道活動は大きな成功を収めています。ハンガリー語のモルモン書は1991年に出版され、最初のステークは2006年に組織されました。

1904年にブダペストのドナウ川沿いに建てられたハンガリー国会議事堂。



ハンガリーの教会	
会員数	4,594
伝道部数	1
ステーク数	1
地方部数	2
ワード/支部数	21



逆境に立ち向かう

わたしたち家族は福音に従うことによって誘惑を退ける力を得てきました。断食し、^{じゅうふん} 十分の一を納め、毎日祈り、さらにイエス・キリストの贖いに^{あがな} 希望を託すことによって、誘惑に打ち勝つことができます。

だからといって、逆境に出遭わないわけではありません。難しい局面に立たされる度に、もっとふさわしくなって祝福を受け、経験から学んでいくようになることを知りました。逆境は^{たこ} 凧に吹きつける風のようなものだと考えています。風が強ければ強いほど、凧は高く舞い上がります。

コーエン・ラバス (カンボジア)



ハワード・W・ハンター



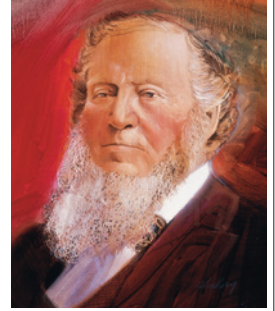
ゴードン・B・ヒンクレー



トーマス・S・モンソン



ジョセフ・スミス



ブリガム・ヤング



エズラ・タフト・ベンソン



スペンサー・W・キンボール



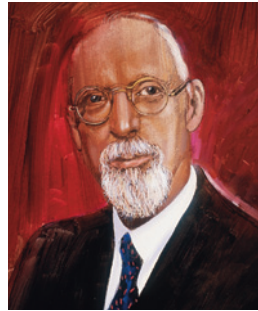
ハロルド・B・リー



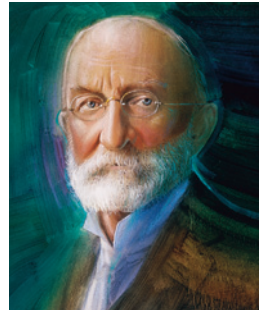
ジョセフ・フィールディング・スミス



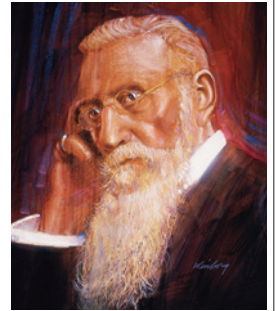
デビッド・O・マッケイ



ジョージ・アルバート・スミス



ヒーバー・J・グラント

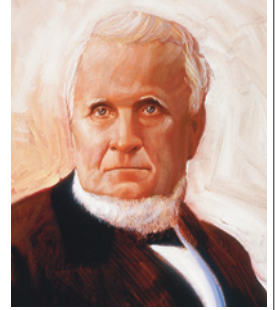


ジョセフ・F・スミス

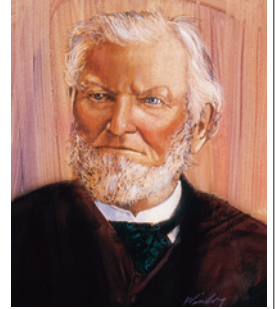
歴代の大管長

あなたは大管長についてどれほど知っていますか。このクイズで確かめてみましょう。正解はこのページの下にあります。

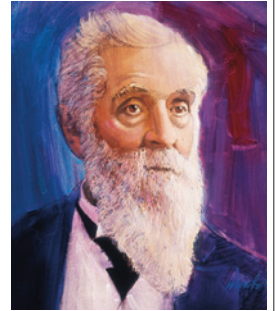
1. ジョセフ・スミスを除いて、大管長になる前に使徒として務めた期間が最も短かった人はだれでしょう。
2. 中央幹部としての在任期間が最も長かった人はだれでしょう。
3. 大管長としての在任期間が最も長かった人はだれでしょう。
4. 合衆国以外の国で生まれた唯一の大管長はだれでしょう。
5. トーマス・S・モンソン大管長のほかに、ビショップを務めたことのある唯一の大管長はだれでしょう。
6. わずか15歳のときに現在のハワイ諸島で伝道した人はだれでしょう。
7. 使徒として在任中に合衆国農務長官を務めた人はだれでしょう。
8. 最も長生きした大管長はだれでしょう。
9. 腕と脚を骨折し、^{おの}斧を打ち込んで足に裂傷を負い、狂犬にかみつかれ、倒れてきた樹木で脚を押し碎かれ、敗血症で死にそうになり、^{できし}溺死しかけ、凍死寸前になり、列車の衝突事故を生き残った人はだれでしょう。



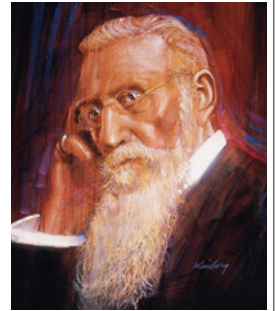
ジョン・テーラー



ウィルフォード・ウッドラフ



ロレンゾ・スノー



ジョセフ・F・スミス

4. ジョージ・アルバート・スミス、1877年12月17日生まれ
 5. ハワード・W・ハンター、1877年12月17日生まれ
 6. ジョセフ・F・スミス、1805年12月13日生まれ
 7. エズラ・タフト・ベンソン、1899年12月17日生まれ
 8. コーデル・H・スミス、1897年12月17日生まれ
 9. ウィルフォード・ウッドラフ、1807年12月17日生まれ

正解

1. ブリガム・ヤング、12年
 2. スペンサー・W・キンボール、64年
 3. ウィルフォード・ウッドラフ、30年

回復をもたらす 祈りの力

マルコス・A・ウォーカー

10歳の息子アリアンが悔い改めて涙を流したとき
のことはいまだに覚えています。

アリアンは12歳の兄ジョエルと一緒に寝室で遊んでいましたが、突然、口争いが始まりました。わたしが仲

兄との口論から体を震わせながら泣いていたアリアンはわたしに食ってかかりました。わたしは彼を2度たしなめましたが（今度はわたしとの口論になってしまい）、事態は悪化するばかりでした。アリアンは抑えが利かなくなり、顔を真っ赤にして、震えていました。わたしもいらだってきましたが、大声を出さずに解決する方法があるはずだと信じていました。

とっさに心に浮かんだのは祈りの原則でした。そうです。それが答えでした。そこでアリアンをわたしの部屋に連れて行き、ドアを閉めてから、言いました。「アリアン、一緒にひざまずこう。わたしが天のお父様にお祈りするから。」

二人でひざまずきましたが、彼の激しい泣き声は止まりませんでした。わたしは息子を助けたいという思いをもって祈りました。祈っている途中で、彼のすすり泣きが収まっていくのに気づきました。頬を伝っていた彼の涙は悔い改めの涙になっていました。

祈りが終わると、アリアンは顔を上げて、こう言いました。「お父さん、赦してくれる？」抱き合ったわたしも涙をこらえることができませんでした。



祈りの賜物

「祈りは天の御父からわたしたち一人一人への、この上ない贈り物です。考えてみてください。絶対に至高の存在であり全知全能の御方が、取るに足りないわたしたちに、父親として話しかけるよう励ましてくださっているのです。……」

状況にかかわらず、また謙虚であろうと尊大であろうと、貧富の差や学問の有無、自由の身かとらわれの身かにも関係なく、愛情を受けて育ったか否かにもかかわらず、わたしたちは神に語りかけることができます。事前に予約を入れる必要もありません。願いの言葉は、簡潔なものでも、必要なだけ時間をかけたものでもかまいません。愛や感謝を伝える祈りでも、必死に助けを願い求める祈りでもよいのです。神は数え切れないほどの宇宙を創造し、それらの世界に人を送ってこられました。にもか

かわらず、皆さんやわたしは御父と直接話をする事ができ、御父は常にこたえてくださるのです。」

十二使徒定員会 リチャード・G・スコット長老
「祈りという天与の賜物を用いる」
「リアホナ」2007年5月号、8



裁に入らなければ、收拾のつかない有様になっていました。このくらいの年齢の男の子はしょっちゅうけんかします。

平安と愛の気持ちがあふれてきました。アリアンはそれ以外に何も言いませんでしたが、回復をもたらす祈りの力を経験し、聖霊が心を貫いてくださったことがわたしには分かりました。

今やアリアンは祈りの力を知っただけでなく、祈りに対して証を得ていました。■

聖文はイエス・キリストについて あかし 教え、証する

聖文には預言者の勧告、人々を導く神の計らいに関する靈感あふれる話、神がその預言者にお与えになった啓示が載っています。わたしたちは天の御父の子供であり、御父から愛されていることを聖文は教えてくれます。わたしたちの永遠の幸福のために御父が定められた計画の一環として、わたしたちは地上にやってきました。わたしたちが地上にいる間、聖文は天の御父とイエス・キリストから離れないための霊的な命綱となってくれます。

聖文のおもな目的は、キリストについて証し、わたしたちが主のもとへ来て、永遠の命を受けるよう助けることです(ヨハネ5:39参照)。ですから、末日の預言者たちはわたしたちに、個人でも家族の中でも聖文を毎日研究するよう勧告しています。トーマス・S・モンソン大管長はこう述べています。「毎日聖文を研究するべきです。毎日聖文を読んで、その教えを生活に応用する方が、短期集中型の勉強よりもはるかに効果があります。聖文の中で説かれている教訓に慣れ親しんでください。……それらを、

あたかも自分に話されているかのように研究してください。実際、わたしたちに語られているからです。」¹

聖文の言葉を通して、わたしたちは天の御父と救い主イエス・キリストを知り、愛することができるようになります。御父と主の戒めを読み、その結果、善悪の違いが分かるようになります。罪を犯すという誘惑を拒む強さを得、神の律法に従う望みが増します。聖文は、地上にいる間わたしたちを慰め、教え、天の家へ帰る道を示してくれます。

注

1. トーマス・S・モンソン「最高の自分になる」『リアホナ』2009年5月号、67-68

もっとお知りになりたい方は、『福音の原則』(2009年版)45-49、『真理を守る』126-130をご参照ください。

「すべての聖文の第一の目的は、わたしたちの心を父なる神と御子イエス・キリストを信じる信仰で満たすことです。……

……信仰は、神の御言葉を聞くときや読むときに、聖なる御霊から心に、すなわち御霊から霊に与えられるのです。そして、信仰は御言葉をよく味わい続けることで成熟していきます。……

……注意深く、丹念に聖文を研究してください。聖文について深く考え、祈ってください。聖文は啓示であり、さらなる啓示を与えてくれることでしょう。」

十二使徒定員会 D・トッド・クリストファーソン長老
「聖文の祝福」『リアホナ』2010年5月号、34-35

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員は次の1から5を聖典として受け入れています。



「聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであって、人を教え、戒め、正しくし、義に導くのに有益である。」
(2テモテ3:16)

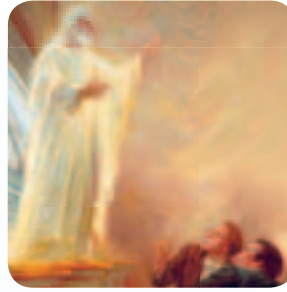
1. 聖書は、聖地における古代の預言者たちへ与えられた神の啓示を含む神聖な文書が収集された書物です。わたしたちの信仰箇条の第8条にはこう述べられています。「わたしたちは、正確に翻訳されているかぎり、『聖書』は神の言葉であると信じる。」



2. 「イエス・キリストについてのもう一つの証」という副題が付いているモルモン書には、アメリカ大陸の古代の預言者たちに与えられた神の啓示が記されています。イエス・キリストの完全な福音が載っています(教義と聖約 20:9 参照)。



3. 教義と聖約は、イエス・キリストの福音の回復に関する啓示の書です。ジョセフ・スミスをはじめとする現代の預言者に与えられました。



4. 高価な真珠は、神からモーセ、アブラハム、ジョセフ・スミスに与えられたさらなる啓示が載っている書物です。



5. 神は今もなお聖霊による靈感を通して生ける預言者たちに真理を啓示しておられます。こうした真理は聖文と見なされています(教義と聖約 68:4 参照)。それらはおもに、4月と10月の最初の週末に開催される総大会を通して与えられます。総大会では世界中の会員たちが預言者やそのほかの教会指導者の説教を聞きます。■

左上から時計回りに——フォトリラストレーション/デレック・イスラエルセン © 2002。「ゲツセマネのキリスト」ハリー・アンダーソン画 © IRI。「3人のニーファイ人」ゲリー・カップ画 © 1996 IRI。「預言者ジョセフ・スミスとオリバー・カウドリに御姿を現されたイエス・キリスト」ウォルター・レン画。教会歴史博物館の厚意により掲載。「最初の示現」デル・バーソン画 © 1987 IRI。写真/クレーグ・ダイヤモンド © IRI。フォトリラストレーション/クリスティーナ・スミス © IRI



七十人会長会
ジェイ・E・ジェンセン長老

偉大な教師、 救い主

わたしたちはキリストの言葉、すなわち聖文をよく味わい、主が行われたように、
聖文を用いて人々を教え、強めなければなりません。

イ エス・キリストは御父の指示の下で無数の世界を創造されました。キリストは偉大なるエホバ、旧約聖書の神です。死すべき肉体を持った母親マリヤと永遠の御父である神からお生まれになりました。地上に生きた最も偉大な御方でした。主は「わたしをつかわされたかたのみこころを行い、そのみわざをなし遂げる」ために地上へ来られたとおっしゃいました（ヨハネ 4：34）。

キリストのメッセージと教え導く業は、御自分がイエス・キリスト、神の御子、約束されたメシヤであられるとはっきりと宣言することでした。

主は教えるときに、しばしば旧約聖書の聖句を引用されました。教え導く準備をするとき、悪と誘惑を退けるとき、過去の預言者たちの正当性を尊び確認するとき、人々を強めるときに、聖文をお使いになりました。主の模範から、わたしたちは両親、指導者、教師としての責任を果たす

ときに、聖文をもっと効果的に使うよう学ぶとよいでしょう。主はあらゆることにおいて完全な模範を示されました。偉大な教師としての模範もその一つです。

教え導くために準備する

主は地上へ来たとき、わたしたちと同じように、忘却の幕を通過して来られました。しかし、同様に恵みに恵みを加えられて成長されました（教義と聖約 93：11 - 17 参照）。天の御父（ヨハネ 8：28；12：49 参照）と人間の教師から教えをお受けになりました。十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老（1862 - 1933 年）はこう指摘しています。「イエスの少年時代におけるユダヤ人の生活についてわたしたちの得ている知識から推して、少年イエスが律法や聖文をよく教わっていたという推論の正しいことが分かる。それはその時代の規定であったからである。

「わたしが命のパンである。

わたしに来る者は
決して飢えることがなく、
わたしを信じる者は
決してかわくことがない。」





この聖句が次のように明確に訳されています。「教師たちはイエスの話を聞いたり、またイエスに質問したりしてい〔まし〕た。」

イエスが教え導く業を始める前に知識を増し加えておられたことは、1829年にハイラム・スミスに主がお与えになった助言の範例となっています。「わたしの言葉を告げようとししないで、まずわたしの言葉を得るように努めなさい。そうすればその後、あなたの舌は緩められる。それから望むならば、あなたはわたしの御霊とわたしの言葉、すなわち人々を確信に導く神の力を受けるであろう。」(教義と聖約 11:21)

新しい召しであれ、(親になるなどの)新しい責任であれ、家庭のタベのレッスンだけのためであれ、教え導く業を始めるときに、わたしたちも聖文の中に教えと靈感を見いだすことができます。

悪と誘惑を退ける

イエスは教え導く業を始めるとき、悪魔から誘惑をお受けになりました。3つの誘惑のうちの2つは、「もしあなたが神の子であるなら」という疑いを投げかける辛らつな言葉で始まっていました(マタイ 4:3, 6)。悪魔の誘惑を拒むために、救い主は旧約聖書の3つの聖句から「……と書いてある」と引用されました(4, 7, 10 節)。

また救い主は御自分に従う者たちに、聖文に記された例を通して悪を克服する方法をお教えになりました。悪を拒んだり悪い結果に立ち向かったりするよう人々に教えるときに、この偉大な教師は旧約聖書の話を用いられました。「さばきの日には、ソドム、ゴモラ

イエスは勉学によって知識を得、祈りと思索と努力によって知恵を得た。』¹

幼少時代から公に教え導く業を始めるまでの間、イエスについてわたしたちが知っている唯一の話は、12歳のときに神殿でお教えになっていたことです。少年イエスは並外れた知恵と知識を持っていたことを示されました。「そして三日の後に〔ヨセフとマリヤは〕、イエスが宮の中で教師たちのまん中にすわって、彼らの話を聞いたり質問したりしておられるのを見つけ〔まし〕た。」(ルカ 2:46) 聖書のジョセフ・スミス訳では、

「そして三日の後に、
イエスが宮の中で
教師たちのまん中にすわって、
彼らの話を聞いたり
質問したりしておられるのを
見つけた。」

の地の方が、〔主の福音を拒んだ人々の〕町よりは耐えやすいであろう。〕(マタイ 10:15)

もしわたしたちが従うなら、神の言葉にはわたしたちを守る力が本来備わっています。「だれでも神の言葉に聞き従って、それにしっかりつかまる者は、決して滅びることがなく、また敵対する者の誘惑や火の矢も、彼らを打ち破って盲目とし、滅びに至らせることはない……。」(1ニーフアイ 15:24)

今日サタンを退けるために使うわたしの好きな聖句の一つはこれです。「わたしの目はあなたがたのうえにある。わたしはあなたがたの中にいる……。」(教義と聖約 38:7) この言葉は、「だれにも分からないさ」というそを永久に追い払ってくれます。

過去の預言者たちを尊ぶ

救い主は古代の預言者たちの権威を認め、彼らの言葉を引用されました。現代の神権時代では、主はシドニー・リグドンに「聖なる預言者たちを呼んで〔ジョセフ・スミスの〕言葉を証明」するようお命じになりました(教義と聖約 35:23)。

旧約聖書の預言者たちについて証し、彼らを尊ぶために、救い主はノア(マタイ 24:37-38 参照)、アブラハム(ルカ 16:22-31; ヨハネ 8:56-58 参照)、アブラハムとイサクとヤコブ(マタイ 8:11 参照)、モーセ(ヨハネ 5:46 参照)、ダビデ(ルカ 6:3 参照)、エリヤ(ルカ 4:25-26 参照)、イザヤ(ルカ 4:16-21; ヨハネ 1:23 参照)の言葉を引用されました。また、イエスと同時代に生きたバプテスマのヨハネを尊び、お支えになりました(マタイ 11:7-11 参照)。

山上の垂訓の中で救い主は、旧約聖書の預言者たちや御自身に関する彼らの教えとの重要なつながりをお示しになりました。これは至福の教え(マタイ 5:3-11 参照)とイザヤ書第 61 章 1 節から 3 節の言葉に緊密な関連性があることによって分かります。²

わたしたちもまた、過去と現在の預言者たちの教えは主の言葉であり主の御心であると考えられることによって、彼らを尊ぶことができます(教義と聖約 68:4 参照)。わたしたちが聖

文から教える準備をするとき、教える対象となる人々に当てはめられる原則を祈りの気持ちで探さなくてはなりません。

人々を強める

主の生涯において並外れて重要なメッセージが述べられているのは「命のパン」の説教です(ヨハネ 6 章参照)。この説教は現代のわたしたちにも深いかかわりがあるだけでなく、主が聖文を駆使して説教しておられることを示しています。

このメッセージを伝える前日、主は 5,000 人に食べ物を与えるという奇跡を行われ、いっそう多くの人々が主に従いました(ヨハネ 6:5-14 参照)。仮にこの奇跡やほかの奇跡が主を信じるように人々を導くのに十分でなかったとしても、主は命のパンの説教の中で御自分がだれであるかを公に宣言されました。この説教は主の使徒たちを訓練するのに役立ちました。特にペテロにとって証を強める助けとなりました(63-71 節参照)。

この偉大な教師は命のパンの説教の導入として旧約聖書の出来事に言及されました。

「天からのパンをあなたがたに与えたのは、モーセではない。天からのまことのパンをあなたがたに与えるのは、わたしの父なのである。」



偉大な教師

「救い主は偉大な教師であられます。イエス・キリストの教えは比類ない専門的な教育技術を駆使して伝えられています。イエスは哲学者、経済学者、社会改革者、その他様々に描写されてきました。しかし、何よりも救い主は教師であられました。『イエスの職業は何でしたか』という質問をするとしたら、答えは一つです。主は教師であられました。わたしたちが理想とすべきはイエスなのです。イエスこそ偉大な教師であられるのです。」

十二使徒定員会会長
ボイド・K・バックー会長
Mine Errand from the Lord
(2008 年), 336



次に救い主は、^{あがな}贖いと^{せいさん}聖餐のパンと水の象徴を結びつける神聖な教義を宣言されました。「人の子の肉を食わず、また、その血を飲まなければ、あなたがたの内に命はない。」(ヨハネ 6:53)

この説教がペテロを強めたことをわたしたちは知っています。なぜならペテロはこのように証したからです。「わたしたちは、あなたが神の聖者であることを信じ、また知っています。」(ヨハネ 6:69 参照) 命のパンの説教はわたしたちにもかかわりがあります。わたしたちも自分とほかの人々を強めるために、聖文を読み、研究し、(分かりやすく言い換えるのではなく) 引用するときに、イエスがキリストであられることを信じ、また確信するからです。

聖文の成就——勝利の入城

主がエルサレムへ勝利の入城を果たされたことにより、主が聖文に精通して、聖文を用いられたことが無言のうちに確認されました。「主のみ名によってはいる者はさいわいである。」(詩篇 118:26。マルコ 11:9-10 も参照) 主はろばに乗ってエルサレムへ入られました。「シオンの娘よ、大いに喜び、……あなたの王はあなたの所に来る。……ろばに乗る」という預言が成就されたのです(ゼカリヤ 9:9。マタイ 21:4-5 も参照)。

キリスト・イエスは地上で教え導く業を始めてから、ゲツセマネの園と十字架へ至り、そして墓からよみがえるまで、古代の聖文と教え導く業、奇跡、説教を通して、御自分が約束されたメシヤであることを立証されました。

ゲツセマネの園で、イエスはこう

神のパンは、天から下ってきて、この世に命を与えるものである。」(ヨハネ 6:32-33。出エジプト 16 章も参照)

それに対して人々はこう言いました。「そのパンをいつもわたしたちに下さい。」(ヨハネ 6:34)

主の答えは霊的な賜物を受けていた人々に、御自分が^{さまもの}聖い御方であって、神の御子、約束されたメシヤ、救い主であられることを明らかにしました。「わたしが命のパンである。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者は決してかわくことがない。」(ヨハネ 6:35)

「シオンの娘よ、大いに喜び、

……あなたの王は
あなたの所に来る。
……ろばに乗る。」



命のパンを分かち合う

カルロス・ロベルト・フスコが
マイビィ・マルシア・バストス・フスコへ
語った話

ブラジルのパラナフォス・ド・イグアスを訪れた、ある暑い日のことでした。わたしは数時間の旅行で疲れていました。教会教育システムの指導者を務めていたわたしは、地元のビショップに用事があり、教会堂で会うことになっていました。しかし、わたしが到着すると、ビショップはまだ来ていませんでした。

2、3分待っていると、一人の婦人が教会に入って来ました。彼女はわたしのところに近づいて来ると、パンを買うお金を少しもらえないかと恐縮しながら頼みました。自分も夫もおなかがすいていて、こんなことを人に頼むのは不本意だけれど、ほかにどうしようもないのだと彼女は説明すると、「ほんの少しパンを買うお金があればいいのです」と付け加えました。

わたしは気の毒に思い、ポケットから少しお金を取り出しました。婦人はそんなにたくさん頂かなくても思ったようでしたが、わたしはこう言いました。「パンと牛乳と肉も少し買って下さい。」

婦人は礼を述べ、夫が来週の火曜日に仕事をもらえることになっているので、給料をもらったらすぐにお返ししたいと言いました。

その必要はないと言いましたが、婦人は聞きませんでした。

そこでわたしはこう言いました。「お金を返してくださる代わりに、日曜日の朝、この教会堂へまた来て下さい。そして、ここへ来たら、だれかに宣教師と話したいと言ってください。いいですか？」婦人は同意しました。

婦人は去りました。わたしはビショップと話さなくてはならない用事を済ませ、パラナを巡回する旅を続け、自分の務めを果たしました。

数か月後、大会に出席するため、再びフォス・ド・イグアスの同じ教会堂を訪れる機会がありました。聖歌隊が美しい歌声を響かせていました。大会が終わると、聖歌隊員の一人がわたしに近づいて来ました。彼女は手を差し伸べて美しい笑顔であいさつすると、心からこう言いました。「兄弟、ありがとう。あなたはわたしと夫の飢えを満たすためにパンを下さただけでなく、命のパンをも下さいました。ありがとうございました。」

数か月前にわたしにわずかばかりのお金を求めた婦人だと気づき、わたしは大きな喜びを感じました。そして御自分が「命のパン」であると宣言されたイエス・キリストの福音は、だれであっても、それを受け入れる人の人生を変えらるということが分かったのです。

祈られました。「父よ、みこころならば、どうぞ、この杯をわたしから取りのけてください。しかし、わたしの思いではなく、みこころが成るようになしてください。」(ルカ 22:42) この従順の宣言と無限の贖罪の犠牲を達成されたことは、主が神の御子であり、過去から未来にわたって最も偉大な教師であられることを証しています。

聖文はイエス・キリストについて証し教えています。わたしたちが聖文の研究に没頭するとき、主と主の声が分かるようになります。「これらの言葉は人々から、人間から出ているのではなく、わたしから出ているのである。それゆえ、あなたがたは、これらの言葉がわたしから出ているものであって、人間から出ているものではないことを証しなければならぬ。」(教義と聖約 18:34) わたしは、まずわたし自身が家庭で妻や家族とともに聖文の研究に没頭するとき、教会の奉仕をいっそう効果的に行えることが分かりました。

わたしは聖文を心から大切にしています。わたしは、聖文は神の言葉であると証します。救い主がされたように、わたしたちも家庭において、また召しにおいて、聖文から教えることができますように。そうすれば、「神の言葉の力」がわたしたちの教える人々に「力強い影響」を及ぼすことでしょう(アルマ 31:5)。■

注

1. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』110
2. トーマス・A・ウェイメント, "Jesus' Uses of the Psalms in Matthew" 参照, フランク・F・ジャッド, ゲイ・ストラザン編, *Sperry Symposium Classics: The New Testament* (2006年), 137-149で引用。



新約聖書

の歴史的背景

ブリガム・ヤング大学古代聖典学准教授
トーマス・A・ウェイメント

聖典と呼ばれる書物はそれぞれ独自の歴史を持ち、独自の方法で救いの福音を証しています。新約聖書はイエスを直接知っていた人々、あるいは復活された後のイエスに従った人々の言葉を取めているという点で他の聖典とは異なっています。このため、新約聖書はわたしたちを救い主に近づけ、この世における救い主の務めを多少なりとも理解するうえで、欠くことのできない資料となっています。新約聖書の歴史、すなわちそれがどのようにして伝えられてきたのか、まただれがそれを書いたのかを理解するなら、この驚くべき聖典にいつそうの感謝の気持ちを抱き、当時イエス・キリストに従った人々のように、試練に立ち向かう霊的な力を得られることでしょう。

新約聖書とは何でしょうか

イエスの死後数年間、「新約聖書」(New Testament)という語は主の生涯と死に関する文書をまとめた書物を指すのではなく、

さらに厳密に、主が最後の晩餐のときに弟子たちに話された事柄を指していました。主は言われました。「これは、罪のゆるしを得させるようにと、多くの人のために流すわたしの〔新しい〕契約 (new testament) の血である。」(マタイ 26:28, 強調付加) 英語に翻訳されたときに「新しい契約」(new testament) と訳されたギリシャ語は聖約 (covenant) を意味しており、救い主が贖いを通じてわたしたちに差し出してくださいました。聖書の一部として記録され、新約聖書と呼ばれる文書は、主がその民と交わされた新しい聖約について説明し、記録し、教えるものです。

新約聖書に収められている文書は、救い主の務めにおける様々な側面に焦点を当てています。新約聖書は「四福音書」で始まります。福音という言葉には「よきおとずれ」という意味があり、それはイエス・キリストの生涯、務め、神聖な役割について述べています。新約聖書にはまた、

この驚くべき聖典の起源を理解することによって、
靈感の下で聖文を研究することができます。





最後の晩餐ばんさんにおけるイエス・キリストと主の使徒たち

教会の最初の伝道の歴史が収められた文書があり(使徒行伝)、ほかにもペテロやパウロといった初期の指導者から、当時のクリスチャン(聖徒とも呼ばれた)に向けて信仰に忠実であり続けるよう勧告した幾つかの手

紙や、証の書(ヘブル書)、また、主が末日に戻って来られると約束している啓示の書(黙示録)などが収められています。各書の著者はそれぞれ異なる視点を持ち、歴史書の欠落した部分を埋めようとするのではなく、む

しろ特定の読者を念頭に置いて書きました。紀元4世紀の中ごろ、主の新しい聖約を記した27の書が集められ、今日の新約聖書こんにちと同じ順序に配列されました。



パウロの手紙に耳を傾ける昔の聖徒たち

新約聖書はどのようにして伝えられてきたのでしょうか

イエスは大勢の弟子たちの中から12人の男性を選び、彼らを使徒と呼びになりました。彼らはイエスが地上で務めを果たしておられる間ずっとイエスにつき従い、イエスとともに苦しみ、勝利を味わい、御霊に満たされる経験をしました。イエスの死後、使徒たちは忠実なほかの弟子たちとともに自分たちの経験を記録し始めました。イエスの生涯についての記録を残したいという彼らの願望に火をつけたのは、二つの出来事かもしれません。一つは、紀元70年にエルサレ

ムと神殿がローマ軍の手に落ちたこと。もう一つは、背教の影響がすでに及び始めていたことです（使徒20:29-30参照）。そのため、新約聖書の多くの書は、災いと論争の渦中にあった忠実な聖徒たちに、進むべき道を示すために書かれたのです。

わたしたちは彼らの経験に目を向けることにより、彼らが苦難の時代にどのように対処したかを学び、福音のよきおとずれを抛り所として背教の力に立ち向かっていった様子を知ることができます。

第1世紀が終わろうとしていたころ、現在の新約聖書に収められたすべての書が書き上げられ、教会の支部の間に広く行き渡りました。筆記者は最初パピルスに、やがて羊皮紙に書き写しましたが、部数は限られて

新約聖書の多くの書は、
災いと論争の渦中にあった
忠実な聖徒たちに、
進むべき道を示すために
書かれたのです。

いました。教会員は可能なかぎり文書を集め、主の言葉と使徒たちの言葉を読んで研究しました。聖典の入手を困難にした有名な出来事は、紀元303年にローマの皇帝ディオクレティアヌスが行ったクリスチャンへの迫害でした。彼はクリスチャンの聖典を焼き払うよう命じ、異教の神々に犠牲をささげるよう強制しました。信仰深い多くの人々は、この迫害の時代が過ぎ去るまで神聖な書物を隠しました。後に、キリストを信じた最初の皇帝であるコンスタンティヌスが聖典を新たに作成するように命じたとき、皇帝の学者たちはディオクレティアヌスの勅令以前に教会の支部で使われていた書物を復元しました。わたしたちが現在手にしている新約聖書は、コンスタンティヌス帝の時代に筆写されたものでさかのぼることになります。つまり、身の安全を犠牲にしてまで主の新しい聖約を保存した人々に行き着くのです。

コンスタンティヌス帝が新約聖書を筆写し、改めて普及させるよう命じてから間もなく、現代の聖書に含まれるすべての書が今の順序に配列されました。この順序は、旧約聖書の配列

形式を踏襲したものになっています。つまり、新約聖書にも「律法」(四福音書)と、「キリスト教の歴史」(使徒行伝)と、「預言の書」(ローマ人への手紙から黙示録まで)で構成されています。旧約聖書、新約聖書とも主の再臨の約束で終わっています(ミカ書と黙示録)。預言者が記した文書がこのように配列されていることにより、救いと未来の啓示を待ち望むことが強調されています。

新約聖書はだれが書いたのでしょうか

新約聖書の各著者は、イエス・キリストの救い主としての使命についてそれぞれ独自の認識に基づいて記述しました。福音書のうちの二つの書は使徒であるマタイとヨハネが書きました。使徒が記したこれらの証は、イエスの生涯を実際に目にした人の証言となっています。彼らよりも後に主に従った二人も福音書を記しました。マルコとルカです。彼らは自分たちが感じたことと聞いたことについて証言しています。二人ともパウロの同僚を務めた時期があるため(使徒12:25; 2テモテ4:11参照)、ユダヤに



パウロ
牢獄で手紙を書くパウロ

外の地で増えていた聖徒たち、すなわち主が生きておられたときに主をまったく知ることがなかった人たちの興味にある程度合わせた内容となっています。そのため、彼らの記録はそのような人々が信じた御方についての証をいきいきと伝えています。

パウロの手紙はすべてが同じ時期に書かれたわけではありませんが、新約聖書の中でも最も早い時期に書かれた可能性が高いようです。パウロは、宣教師としての経験、幾つかの力あふれる示現(使徒9:1-6; 2コリント12:1-7参照)、また、ペテロやそのほかの人たちとの個人的な交わりの中で得た証を述べています(ガラテヤ1:18-19参照)。彼の手紙の多くは、教会の支部内の論争を鎮めるために書かれたものですが、それとは別に友人にあてても書いています(テモテとテトス)。ある手紙の中では、獄中で出会った逃亡奴隷が所有者のもとに戻るのを受け入れてほしいと、その奴隷の所有者に告げています(ピレモン)。ヘブル人への手紙はパウロのほかの手紙とは異なり、冒頭で自分が著者であることを明記してはいませんが、口承によりこの手紙の著者はパウロであると見なされています。いずれにしても、ヘブル人への手紙には、信仰によって大胆



ペテロ
コルネリオとその家族に教えを説くペテロ



教^いえを説き、癒^{いや}しを与えるペテロとヨハネ

に主のもとへ行く方法についての証があります。新約聖書の中でパウロの手紙の後に配置されたヘブル人への手紙は、試練の中で信仰を持ち続けることについての講話です。

ヤコブの短い手紙もきわめて早い時期に書かれたものであり、マタイによる福音書に記されたものとは別に、口頭で伝えられた、イエスの山上の垂訓での教えについて言及しています(ヤコブの手紙1:13; 4:12; 5:12参照)。主の弟であるヤコブがこの手紙の著者ではないかと考えられています。彼は復活された救い主にまみえる特権に浴し(1コリント15:7参照)、教会の歴史上、多くの出来事において重要な役割を果たしました(使徒15:13-29参照)。

新約聖書にはまた、使徒ペテロによる2つの手紙と、使徒ヨハネによる3つの手紙が収められています。二人とも、クリスチャンに信仰深くあるよう強く勧めています。特にペテロは試練を受けているときにも人々が忠実であり続けられるかどうかということを中心に掛けていました。

ユダの手紙は新約聖書の中では最も遅い時期に書かれた書です。ヤコ

ブの手紙ように、この書も恐らく主の弟の一人(マルコ6:3に記されている「ユダ」)によって書かれたものでしょう。ユダは教会の支部の中で広まりつつあった背教を抑えようとしてこの手紙を書きました。

最後に、新約聖書の末尾に収められているのが使徒ヨハネに与えられた啓示です。ヨハネは主が福千年の統治に先立って栄光のうちに戻って来られ

ることに関する示現を記録しました。その示現は善と悪の戦いを詳細にわたって鮮明に描写しています。ほとんどの章で、末日すなわち現代の出来事を含む、ヨハネにとっては未来の出来事が論じられています。

新約聖書はだれのために書かれたのでしょうか

新約聖書は、主と、主を信じる人々との間で交わされる新しい聖約であるため、新約聖書の中の各書は現在の神権時代か以前の神権時代かを問わず、主を探し求めるすべての人が読むことを想定して書かれています。新約聖書の著者たちは最初から、人類史上最も重要な出来事を記録していることを自覚しつつ、当時の教会の支部ですぐに使える文書を書きました。例えばヨハネは、自分の文書が一つの証であると考えていました。「これらのことを書いたのは、あなたがたがイエスは神の子キリストであると信じるためであり、また、そう信じて、イエスの名によって命を得るためである。」(ヨハネ20:31) ルカに代表されるように、歴史を記録するという意図をもって書いた著者もいました。



目撃者の証言

「新約聖書の使徒の旅や奇跡、パウロの手紙を愛しています。わたしたちの救い主イエス・キリストの御言葉と模範と贖^{あがな}いを実際に見聞きした人々が記した話をとりわけ愛しています。また、聖書を読むことから得られる物の見方と平安を愛しています。」

十二使徒定員会 M・ラッセル・バラード長老
「聖書という奇跡」「リアホナ」2007年5月号, 81

それは どの せいてんに ありますか

したの 8つの ものがたりは せいてんの なかに あります。どの ものがたりが どの せいてんに あるか、 みつけましょう。よく わからなければ、ものがたりの テーマを きゃくちゅうや、せいくガイドで しらべましょう。

- ニーファイが かりの ゆみを おった。(1)
- ノアが はこぶねを つくった。(2)
- ちえの ことばが あたえられた。(3)
- エステルが じぶんの たみを すくった。(4)
- ほうとうむすこが いえに かえってきた。(5)
- しいいかん モロナイが じゆうの はたを たてた。(6)
- イエスは さんじょうの すいくんを おおしえに なった。(7)
- カートランドしんでんが ほうけんされた。(8)

かっこの なかの すうじと おなじ すうじを パズルの なかから みつけてください。それから、せいてんに あわせて いろを ぬりましょう。

きゅうやくせいしょ = あおいろ モルモンしょ = きいろ
 しんやくせいしょ = あかいろ きようぎとせいやく = ちゃいろ



「わたしたちの間に成就された出来事を、最初から親しく見た人々であって、

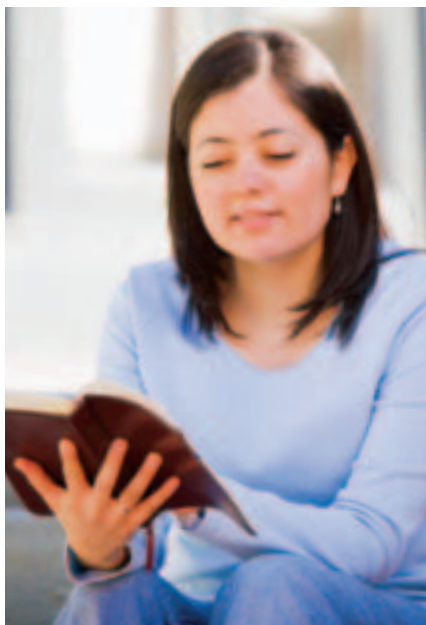
御言みことばに仕えた人々が伝えたとおりの物語に書き連ねようと、多くの人々が手を着けましたが、

テオピロ閣下よ、わたしもすべての事を初めから詳しく調べていますので、ここに、それを順序正しく書きつづって、閣下に献じることになりました。」(ルカ1:1-3)

初期のクリスチャンは様々な背景を持つ人々でした。ユダヤ人の家族出身の人もいれば、異邦人の家庭で育てられた人、またバプテスマを受けるまでは正式な宗教をほとんど持たずに生きてきた可能性のある人もいました。彼らは実際に様々な背景を持つ今日の聖徒たちを鏡に映しているかのようです。そのためわたしたちは、試練や誘惑を受けても邪悪を乗り越え、信仰を持ち続けるために奮闘した彼らから力強い教訓を学ぶことができます。また、教会の支部はその規模が非常に小さい時期にどのような苦難を経験したか、また使徒や預言者の言葉からどのように安全を見いだしたかを伝えています。

現代に語りかける証

新約聖書は、不確かな時代、すなわち人々が福音の呼びかけに耳を傾けようとしない時代に、「ひたすら、使徒たちの教おしえを守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈いのりをして」いる人々には(使徒2:42)安全があったことをはっきり示しています。また別の例を通して、義にかなった人でさえ試されること(1コリント10:13参照)や、福音の中核を成すメッセージは2000年前と同じように今日においても単純明快であることを教えています。「父なる神のみまえに清く汚れのない信心とは、困っている孤児や、やもめを見舞い、自らは世の汚れに染まらずに、身を清く保つことにはかならない。」(ヤコブの手紙1:27) ジョセフ・スミスが「小羊は生きておられる」という証を述べた教義と聖約と同じように(教義と聖約76:22)、新約聖書は復活の朝に墓が空になっていたことについて証を述べています。「もうここにはおられない。……よみがえられたのである。」(マタイ28:6) ■



この記事は2010年2月26日のハーバード大学法科大学院の職員と学生に向けた講演から抜粋されたものです。

わ たしたち末日聖徒は、自分たちの教義と価値観が信仰を異にする人たちにあまりよく理解されていないことを承知しています。これはゲリー・C・ローレンスの近著 *How Americans View Mormonism* [『アメリカ人のモルモン観』] に掲載されている全国調査で証明されました。回答者の4分の3が教会の道徳的標準の高さを評価したものの、約半数はわたしたちが秘密主義かつ不可解で「奇妙な信仰」であると思うと答えています。¹ 末日聖徒全般に当てはまる言葉を選ぶよう求められると、87パーセントの人が「家族を大切にする」、78パーセントが「正直」、45パーセントが「盲目的な追随者」に印を付けています。²

わたしたちの教会の 基本的教義

十二使徒定員会
ダリン・H・オックス長老



ローレンスの聞き取り調査の担当者が「あなたの理解するところでは、モルモン教のおもな主張は何だと思えますか」と質問したところ、最初に起こされたキリスト教の回復や再建という概念に多少なりとも言及できた人はわずか14パーセントにすぎませんでした。同様に、別の全国調査でモルモン教の印象を一言で述べるよう求められたとき、もともとのキリスト教、あるいはキリスト教の回復といった言葉や概念を挙げた人は皆無でした。³

わたしは使徒として、
世界中でキリストの教義と業と権威を
証するよう召されています。
その立場から、ここで申し上げた
わたしたちの教会の基本的教義が
真実であることを証します。



わたしはこのような結果にがっかりしましたが、ローレンスによるほかの調査結果や、アメリカ人は全般に宗教に関しては「非常に信心深い」けれども「きわめて無知である」という所見にも失望を禁じ得ませんでした。例を挙げると、68パーセントの人が少なくとも週に数回は祈り、44パーセントがほぼ毎週礼拝に出席していると答えています。しかしながら、4つの福音書のうち一つだけでも言えた人はわずか半数で、ほとんどの人が聖書の第一書の名を挙げることができず、ジャンヌ・ダルクはノアの妻だと思っている人が10パーセントもいたのです。⁴

宗教に関する知識がこれほどまでに浅薄になった要因は様々考えられますが、宗教に対する教育界の一般的な敵意または無関心がその一つに挙げられることは確かです。大学はほとんど例外なく、宗教については中立の立場を取るのが精いっぱいといった、価値判断を放棄した存在になってしまいました。生ける神と絶対的道德律を信じる学生や信仰の篤い人が疎外されているのが現状です。

一般の大学に道徳的価値観を教える主要な役割を期待するのは非現実的に思われます。これまでと同様、その役割を担うのは家庭、教会、教会系の大学になるでしょう。このきわめて重要な任務が成功するよう皆がこぞって願うべきです。善悪の問題について、教育界は中立を装うことができるかもしれませんが、そのような中立性の中で社会は存続できないからです。

末日聖徒の信仰の基本的原則として、わたしは以下の3つの真理を選びました。

1. 神会を構成する御三方の役割を含む神の性質と、絶対的道德律が存在するという必然的真理。
2. 生きる目的。
3. 科学、聖文、そして今も続く啓示という、人類と宇宙に関する真理の3つの源と、それらを知る方法について。

1. 神の性質

教会の最初の基本的原則としてわたしが選んだのは、神が存在されることが事実であり、現在の科学では証明できない永遠の真理と価値観も確かに存在するということです。このような考えは必然的に相関し合っています。信仰を持つほかの人たちと同様、わたしたちは永遠の父なる神が律法を授ける究極の御方としておいでになり、絶対的道德律が存在することを宣言しています。おおよそ現代文化の非公式な信条となりつつある、道徳は相対的なものであるという考え方を拒否します。

わたしたちにとって、神の性質と、わたしたちと神との関係に関する真理はほかのすべての鍵となる大事なものです。重要なのは、神の性質に関する信条こそ、わたしたちとほかの大部分のキリスト教宗派の間で見解が分かるところだということです。わたしたちの教会の信仰箇条の初めにはこのように書かれています。「わたしたちは、永遠の父なる神と、その御子イエス・キリストと、聖霊とを信じる。」(1条)

神会に関するこの信条はほかのキリスト教宗派と共通のものですが、わたしたちにとっては大多数の人と違う意味合いがあります。わたしたちの教会では、神会を構成するこの御三方がそれぞれ別々の独立した御方であることと、天の御父が昇栄された御方であって、復活された御子イエス・キリストと同様、霊の体ではなく触れることのできる骨肉の体を持っておられると信じています。それぞれ独立した御方ではありますが、御三方はその目的において一致しておられます。イエスは御自身と御父が一つであるように弟子たちも「一つ」となるよう祈られました。そのとき主は別々の存在でありながら目的において一致しているこの関係に言及されたのだとわたしたちは信じています(ヨハネ 17:11)。「御父は人間の体と同じように触れることのできる骨肉の体を持っておられる。御子も同様である。しかし、聖霊は骨肉の体を持たず、霊

わたしたちの教会では、神会を構成する御三方がそれぞれ別々な独立した御方であることと、天の御父が昇栄された御方であって、復活された御子イエス・キリストと同様、霊の体ではなく触れることのできる骨肉の体を持っておられると信じています。それぞれ独立した御方ではありますが、御三方はその目的において一致しておられます。



の御方であられる」という独特の信条は、わたしたちにとってきわめて重要です(教義と聖約130:22)。しかし、ゲリー・ローレンスの聞き取り調査の結果で明らかのように、わたしたちはこの信条を教会外の人たちに効果的に伝えてきませんでした。⁵

神の性質に関するわたしたちの信条は「最初の示現」と呼ばれる出来事に端を発します。これはイエス・キリストの完全な福音を回復する布石となりました。正規の教育を受けていない14歳の少年ジョセフ・スミスがどの教会に加わるべきか知りたいと祈ったときに示現を受け、筆紙に尽くし難い「輝きと栄光」に包まれた「二人の御方」を見たのです。そのうちの御一方が別の御方を指して言われました。「これはわたしの愛する子である。彼に聞きなさい。」(ジョセフ・スミス—歴史1:17) 神の御子は年若い預言者に、当時の教会の「信条はことごとくその目に忌まわしいもの」であると告げられました(ジョセフ・スミス—歴史1:19)。神のこの宣言はその信条自体をとがめたものであって、それを信じる忠実な信徒に向けられたものではありませんでした。

ジョセフ・スミスの最初の示現により、神と神会の性質について当時広く受け入れられていた概念は誤っていて、それを信奉する人々を神が望んでおられるような行く末へ導けないことが明らかになりました。その後次々と授けられた啓示によって、この基本的真理の重要性が明らかになり、モルモン書が授けられたのです。この新たな聖典はイエス・キリストについてのもう一つの証です。聖書に記されたキリストの特質や使命についての預言と教えを確認するものです。主の福音および主の地上における働きについて、わたしたちの理解を広げてくれます。同時に、これらのことが真理であることが分かるよう、啓示について多数の教えと解説を提供してくれるのです。

これらの教えはわたしたちがキリストについて持っている証を説明しています。わたしたちの土台はこの世の知恵や人の哲学ではありません。そのような知恵や哲学は伝統もあり、尊重されているかもしれませんが、イエス・キリストを信じるわたしたちの証は、神が預言者とわたしたち一人一人に与えてくださる啓示に基づいているのです。

わたしたちは、イエス・キリストに対する証によってどのようなことを確認しているのでしょうか。イエス・キリストは永遠の父なる神の独り子です。創造主です。主はその地上

における比類ない務めを通じてわたしたちを教えてください。教師でもあります。主の復活により、この世に生を受けた人は皆、死人の中からよみがえります。主は救い主であり、その贖いの犠牲によってわたしたち個人の罪が赦され、清められて、永遠の父なる神のもとへ戻ることができます。これこそ、どの時代の預言者も伝えようとした最も重要なメッセージです。ジョセフ・スミスは信仰箇条第3条の中でこの偉大な真理を明言しています。「わたしたちは、キリストの贖罪により、全人類は福音の律法と儀式に従うことによって救われ得ると信じる。」

末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、わたしたちは「全能の主であるキリストの御名のほか、またその御名を通じてでなければ、どのような名も道も方法も、人の子らに救いをもたらすことはできない」ことを、モルモン書の預言者ベニヤミン王とともに証します(モーサヤ3:17)。

どうしてキリストが唯一の道なのでしょう。主はどうして死の縄目を断つことがおできになったのでしょうか。どのようにして全人類の罪を御自身に負うことがおできになったのでしょうか。どうしたら、わたしたちのような汚れた罪深い者が主の贖いによって清められ、復活できるのでしょうか。このような奥義について、わたし自身完全に理解しているわけではありません。わたしにとって、イエス・キリストの贖いの奇跡は不可解なものです。それが真実であることを聖霊がわたしに証してくださいましたので、生涯それを宣べ伝えて生きていけることを喜びとしています。

2. この世の人生の目的

わたしが選んだ二つ目の基本的原則はこの世の人生の目的に関するものです。これは永遠の父なる神がどのような目的を持っておられるかを理解することから得られるものであり、神の子供であるわたしたちの行く末にかかわる問題です。教会の教義は、わたしたちがこの地上に生を受ける前に霊として存在していたという確信から始まります。この世の人生に一つの目的があることを断言しています。同時に、わたしたちの最終的な望みは天の父母のようになって家族関係を永続させる力を受けることであると教えています。わたしたちは肉体を授かるためにこの世に置かれ、イエス・キリストの贖いと主の福音の律法と儀式に忠実であることにより、昇栄または永遠の命と呼ばれる栄光に満

ちた状態と関係にあずかる資格を得るのです。

わたしたちが家族を大切に作る教会であることは正しく認識されていますが、その家族が単にこの世の関係だけを指していないことと、わたしたちの基本的原則と関係があることはあまりよく理解されていません。愛ある創造主の偉大な計画では、主の教会の果たすべき使命はわたしたちが日の栄えの王国で昇栄にあずかれるよう助けることです。そして、それは男女間の永遠の結婚を通してのみ達成可能なのです(教義と聖約131:1-3参照)。

夫を亡くしたわたしの母は、信仰深く、家族関係が永遠であることに確信を持っていました。亡くなった信仰深い父の立場をいつも尊重していました。家庭で父の存在が感じられるようにしていました。二人の神殿結婚が永遠に続くことや、次の世までも一緒にいられるという家族の行く末について話してくれました。永遠に家族でいられるという救い主の約束にふさわしくなるように父がわたしたちに望んでいることを頻りに言い聞かせてくれました。母は自分を未亡人と呼んだことは一度もありませんでしたし、わたしも母が未亡人だとは考えたこともありませんでした。子供のときから、わたしにとって母は未亡人ではありませんでした。母には夫がいて、わたしたちには父親がいました。ただ、しばらく離れているにすぎなかったのです。

わたしたちは、結婚が神の計画を成就するために必要であると断言します。神の計画は、結婚により、霊がこの世に生まれ、家族が永遠の命を受けるにふさわしく備えられるよう適切な環境を備えることにありました。神の計画を知るにより、末日聖徒は結婚と子供について独特な展望を持っています。わたしたちは、出産と子育ては神の計画の一部であり、そのような業に携わる力を与えられた者は神聖な義務を負うと考えます。この世と天の究極の宝は子供と子孫であると信じています。また子供、すなわちすべての子供の

2 わたしたちの教会の教義はこの世の人生に一つの目的があることを断言しています。

同時に、わたしたちの最終的な望みは天の父母のようになって家族関係を永続させる力を受けることであると教えています。



成長と幸福のために最善の環境を整えられる地上の家族を求めて闘わなくてはならないと信じています。

この世に生命を送り出す力は神がその子供たちに授けられた至高の力です。この創造の力の行使は「生めよ、ふえよ、地に満ちよ」という最初の戒めの中で命じられました(創世1:28)。その誤用を禁じる重要な戒めも与えられました。「あなたは姦淫してはならない」(出エジプト20:14)、「不品行を慎み」なさい(1テサロニケ4:3)という戒めです。教会がなぜこの純潔と貞節の律法を強調するかは、神の計画が実現するうえで生殖の力が果たす役割を理解すれば明らかです。

現在、政治的、法的、社会的圧力が数多く存在し、性別を混同させたり、結婚の重要性を軽視したり、その定義を変えたりなど、神の偉大な幸福の計画を実現するために必要不可欠な男女の差を無視しようとする動きがあります。わたしたちは教会の永遠の見地から、そのような動きとは反対の立場に立っています。

最後に、わたしたちが理解している人生の目的には、人が死んだ後にどうなるかについて独特の教義も含まれています。ほかのクリスチャンと同様、この世を去るときに天国(パラダイス)か地獄に行くと思っています。しかし、わたしたちにとって、義人と悪人という2分割は死者の霊が復活と最後の裁きを待つ間の一時的なものにすぎません(アルマ40:11-14参照)。最後の裁きの後の行き先はそれよりはるかに多様で、子供たち、すなわち御自分のすべての子供たちへの神の愛の深さを示しています。

神はその愛の深さゆえに、御自分の子供たちに神の律法に従うよう求めておられます。それは、神が望まれる永遠の行く末に向かって前進するには従順が不可欠だからです。ですから、人は皆、最後の裁きにおいて、律法にどれだけ従順であったかに応じて、一つの栄光の王国に行くように定められるのです。使徒パウロはコリント人への第二の手紙に「第三の天にまで引き上げられた」ある人の示現について述べています(2コリント12:2)。またパウロは死者の復活に言及し、日と月と星の栄光のように異なる栄光を持った「からだ」について説明しています。最初の二つを指して「天に属するからだ……地に属するからだ」と呼んでいます(1コリント15:40-42参照)。わたしたちにとって、天に属する、すなわち最高の栄光である日の栄えにおける永遠の命と

は、不可解な霊の神との神秘的な融合を果たすことではありません。むしろ、永遠の命とは愛にあふれた天の御父と、祖先や子孫とともに過ごす家族生活を指すのです。

回復されたイエス・キリストの福音の教義は包括的かつ普遍的であって、憐れみ深く、真実です。現世で必要な経験をした後、神のすべての息子と娘は最終的に復活し、人知ではどうも計り知れないすばらしい栄光の王国へ行きます。わずかな例外を除き、非常に邪悪な者も最終的にはほかには劣るけれどもすばらしい栄光の国へ行きます。これはすべて、子供たちを愛する神の大いなる愛のおかげであり、それを可能にするのが「御父の栄光を現し……その御手によって造られたすべての者を救われる」イエス・キリストの贖いと復活なのです(教義と聖約76:43)。

3. 真理の源

末日聖徒は知識の追究に大いに関心を持っています。ブリガム・ヤング(1801-1877年)は次のように雄弁に語りました。「[わたしたちの]宗教は……熱心に知識を求めようように[わたしたちを]促すものです。末日聖徒以上に、真理を見、聞き、学び、理解したいと強く願っている人々はほかにいません。」⁶

彼は別の機会に、会員たちに「知識と……、あらゆる分野の[知的追究]」を奨励するのは、「この世の知恵、芸術、科学などは神にその源を発し、神の子供たちの利益となるようにすることが目的」だからであると説明しています。⁷

教会の知識の追究は特別な方法で行われます。それは、知識には世俗的知識と霊的な知識という、次元の異なる2種類の知識が存在すると信じるからです。わたしたちは、世俗的次元の知識は科学研究によって、そして霊的次元の知識は啓示によって追究します。啓示とは神から人への交信であり、預言者のみならず、求める人はだれでも受けることができます。

明らかに、啓示はわたしたちの教会に独特のものです。預言者ジョセフ・スミスはその生涯において、途切れることのない啓示によって導かれ、教化され続けました。モルモン書と教義と聖約を含む、出版された膨大な啓示は、最後の神権時代の預言者という類のない召しを推し進める助けとなりました。このような預言者の啓示の中で、神はその民を啓発するため、また教会を管理し指導するために、預言

者であり指導者であるジョセフ・スミスやその後継者である歴代の大管長に真理や戒めを明らかにしてこられました。

これは旧約聖書で「主なる神はそのしもべである預言者にその隠れた事を示さないでは、何事をもなされない」と教えられている種類の啓示です（アモス 3:7）。ジョセフ・スミスは「末日聖徒イエス・キリスト教会は、直接の啓示を土台として築かれ[た]」と宣言しました。⁸ そして「モルモン書とそれらの啓示を取り去ったならば、わたしたちの宗教はどこにあるのでしょうか」と尋ね、「どこにもありません」と答えています。⁹

またジョセフ・スミスは、啓示は昔の使徒とともにやんだのではなく、現代も途切れず続いているので、人は皆、自分の改心、理解、決断の助けとなるように個人の啓示を受けることができると教えました。「神のもとへ行って啓示を受けることは、神の子供たちの特権です。……神は人を偏り見る御方ではありません。わたしたちは皆同じ特権を持っています。」¹⁰

新約聖書にはそのような個人の啓示について記述されています。例えば、イエスは神の尊き御子であられるという自らの確信を断言したペテロに、救い主は「あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である」と宣言されました（マタイ 16:17）。

個人の啓示は「靈感」と呼ばれることもあります。様々な形で与えられます。ほとんどの場合、突然啓発されて言葉や思いが心に浮かんだり、考えていた行動について前向きな気持ちを感じたり、否定的な気持ちを感じたりします。通常は熱心に祈り、願い求めた結果与えられるものです。イエスはこのように教えています。「求めよ、そうすれば、与えられるであろう。捜せ、そうすれば、見いだすであろう。門をたたけ、そうすれば、あけてもらえるであろう。」（マタイ 7:7） 啓示は神の戒めを守ることにより、聖霊をはんにりよ伴侶として、聖霊の働きかけを受ける資格があるときに与えられるのです。

3 わたしたちは、
世俗的次元の知識は科学研究によって、
そして霊的次元の知識は啓示によって追究します。
啓示とは神から人への交信であり、
預言者のみならず、求める人はだれでも
受けることができます。



ほとんどの宗教では珍しいためでしょうか、わたしたちの教会の会員が現代の預言者の教えを受け入れて個人の生活の指針としていることを不思議に思う人たちがいます。末日聖徒は指導者に「盲目的に服従」しているという批判への答えとなるものも、この同じ個人の啓示です。わたしたちは教会の指導者を尊敬し、彼らが靈感によって教会を導き、教えていると思っています。しかし、わたしたちには皆、彼らの教えについてよく祈って啓示を求めて直接神から確認を受ける特権があり、その特権を行使するよう勧められています。

大多数のクリスチャンは、キリストの死から間もなく、聖文として使われていた啓示を集めた権威ある正典（訳注——各教会により信仰の基準として公認された文書）を神が閉じてしまわれたと信じ、そのときからそれに匹敵する啓示は存在しなくなったと信じています。しかしジョセフ・スミスは、正典は完結しておらず、開かれたままであると教え、それを身をもって示しました。¹¹ 正典は二つの方法で開かれており、そのどちらにとっても啓示が今も続いているという概念はきわめて重大です。

第1に、ジョセフ・スミスは、神が既存の正典に新たに付け加えることによって子供たちをお導きになると教えました。モルモン書はその一つです。教義と聖約と高価な真珠に記された啓示も同様です。わたしたちが主の望まれることを理解し、今の時代と状況の中で主の御心を行うには、啓示が引き続き与えられることが必要なのです。

第2に、啓示が続けて与えられることによって正典が開かれ、人が御靈の影響を受けて聖文を読むときに、個人の状況に合った聖文の意味や導きを新たに発見できます。使徒パウロは「聖書は、すべて神の靈感を受けて書かれたものであり」（2テモテ3:16; 2ペテロ1:21も参照）、「神の思いも、神の御霊〔を受けた人〕以外には、知るものはない」

と記しています（1コリント2:11; 末日聖徒版英語聖書1コリント2:11の脚注c参照、ジョセフ・スミス訳より）。これは、聖文を理解するには主の御霊によって思いを照らされる必要があることを示しています。ですから、教会は会員たちが聖文を学び、その意味を自分で分かるようによく祈って靈感を求めるよう勧められています。究極の知識とは聖霊を通じた個人の啓示によって得られるのです。

イエスは「あなたがたはその実によって彼らを見わけるのである」と教えられました（マタイ7:20）。わたしと、ほかの無数の信者と、教会を観察する多くの人々が理解しているように教会は良い実を結んでいます。それは、会員にとっても、家族にとっても、地域社会や国にとっても良い実です。末日聖徒イエス・キリスト教会とその会員がこれまで、2010年1月のハイチ震災のような惨事の際に、黙々と数億円にも相当する物資や援助を送っていることがそれを証明しています。

わたしは使徒として、世界中でキリストの教義と業と権威を証するよう召されています。その立場から、ここで申し上げたわたしたちの教会の基本的教義が真実であることを証します。■

全文（英語）を読みたい場合は www.lds.org/fundamental-premises-of-our-faith にアクセスしてください。

この記事を紹介する

オックス長老の記事を紹介するとき、以下のアイデアが参考になるかもしれません。

- この記事が役立つ友人がいないかよく祈って考えてみましょう。その友人を訪問するとき、福音がどのようにあなたの生活を祝福しているか簡単な言葉で話してみてください。
- この記事の電子版（英文）を紹介してみませんか。 www.liahona.lds.org から1月号のこの記事を見つけ、Share（紹介する）をクリックしてください。記事を送るだけでなく、メッセージ欄にオックス長老が述べた基本的な教義で有意義に感じたことを書き添えることもできます。

注

1. ゲーリー・C・ローレンス、*How Americans View Mormonism* (2008年)、32
2. *How Americans View Mormonism*、34
3. *How Americans View Mormonism*、42 参照
4. *How Americans View Mormonism*、40 参照
5. *How Americans View Mormonism*、49 参照
6. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』214
7. 『歴代大管長の教え——ブリガム・ヤング』213
8. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』195
9. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』196
10. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』132
11. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』207 - 216、261 - 270 参照



中央若い女性会長
イレイン・S・ダルトン

新しい「成長するわたし」プログラムは どのように変わったのですか？

今こそ、皆さんを待つ素晴らしい未来に向けて準備する時です。「成長するわたし」プログラムは、皆さんが備える助けとなり、神の娘としての属性を理解するのに役立ちます。

「成長するわたし」プログラムは、皆さんの生活から懸け離れたプログラムではありません。皆さんは、このプログラムを通して救い主に近づき、人々に奉仕し、指導力を養い、人間関係を強め、神殿の聖約に備えることができるのです。「成長するわたし」プログラムは、義にかなった習慣を築くのに役立ちます。小さなこともたゆまず続けられれば、その習慣は皆さんの人格の一部となり、皆さんは変わっていきます。実際、「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられる」のです（アルマ 37：6）。

改訂された『成長するわたし』小冊子の表紙には神殿が描かれています。若い女性で行うことはすべて、神殿に焦点を合わせています。皆さんが表紙を見ると、「成長するわたし」プログラムに取り組むことでいつの日か神殿で聖約を交わし、守る備えができることを思い出せるようにと願っています。

新しい『成長するわたし』小冊子はピンク色です。この柔らかで優しい色は、皆さんが天の御父の娘であり、女性ならではの特性や賜物の役割を持っていることを思い起こさせてくれます。

新しい小冊子では、幾つかの徳質の体験とプロジェクトに多少の変更が加えられました。時代により即したものにし、将来皆さんが交わし、守っていくことになる神殿の聖約にさらに焦点を当てるためです。次に、皆さんの質問にお答えしましょう。

「成長するわたし」プログラムを始めるにはどうしたらよいですか。
始めるのは簡単です！興味のある徳質の一つを選んで始めましょう。順番のとおりでなくてもかまいません。必要な体験をしていくことで、徳質の意味や、その徳質があなたの生活の中でなぜ大切かが理解できるようになるでしょう。

だれが参加できますか。「成長するわたし」プログラムは、ほかの人も参加できますが、第一に教会の若い女性のためのものです。例えば、教会員でない友達を誘って、一緒に「成長するわたし」に取り組



ビーハイクのシンボルは
はちまの巣です。
調和や協力、労働を
思い起こさせます。

マイアメイドのシンボルは
バラです。
愛と信仰、清さを
思い起こさせます。



ローレルのシンボルは
月桂樹の葉です。
名誉と功績を表しています。

トーチネックレス

若い女性の組織の一員になると、指導者からトーチ（たいまつ）をデザインしたネックレスが贈られます。このネックレスは、いつでも、どのようなことについても、どのような所においても、真理と義に堅く立つことを象徴しています。炎の象徴は「立って光を放ちなさい。それは、あなたがたの光がもろもろの国民のための旗となるためであ[る]」ことを思い起こさせます（教義と聖約 115：5）。誇りをもってこのネックレスを身に着け、自分が決意した事柄をいつも心に留めてください。





若い女性表彰

「成長するわたし」プログラムを修了したら、証を日記に記録し、ビショップあるいは支部会長から面接を受けます。そのようにして「若い女性表彰」を受ける資格が得られます。新しいメダルには、神殿と、それぞれのクラスのシンボルがあらわれています。また、マイアメイドのバラの中央に小さなルビーが付いています。このルビーは、あなたが「成長するわたし」プログラムを修了し、「徳」という新しい徳質を身に付けたことを象徴しています。このルビーを見る度に、徳高い若い女性は貴く、「宝石よりもすぐれて尊い」ことを思い出すでしょう（箴言 31 : 10）。

オーナー・ビー（名誉のミツバチ）

メダルを獲得した後は、再びモルモン書を読み返し、ほかの若い女性が「成長するわたし」プログラムを達成できるように助けるなど、さらに奉仕をしていくことで、オーナー・ビーが受けられます。

「成長するわたし」小冊子

一つの徳質の体験やプロジェクトを修了すると、「成長するわたし」小冊子の78ページにはる金のシールがもらえます。この徳質を修了した日付を記入してください。あなたの小冊子と日記は、あなたが達成しているすべての善いことが収められた個人的な記録となるでしょう。

若い女性
「成長するわたし」



むこともできます。あなたのお母さんが幾つかの徳質の経験やプロジェクトと一緒に参加することもできます。

どのくらいのペースで進めればよいのですか。『成長するわたし』の小冊子を開くと、学校や家ですで行っている事柄があることに気づくでしょう。そのような場合は、自分の善い行いを認めたくて、これからは目的をもって続けられるよう計画を立てましょう。自分のペースで進めていけばよいのです。12歳の姉妹の場合、毎月一つの体験と毎年二つのプロジェクトを達成していけば、ローレルに進級するまでに修了します。その後は、ほかの若い女性たちが「成長するわたし」プログラムに取り組むのを助け導く機会があるでしょう。それによって「オナー・ビー」(名誉のミツバチ)が受けられます。この賞は、人に奉仕するうえでさらに努力することを象徴しています。

ミューチャルで「成長するわたし」プログラムに取り組めますか。「成長するわたし」プログラムの中には、ミューチャルで行えるものもあります。プロジェクトをミューチャルの活動として行うこともできます。また、若い女性のクラスで徳質について学んだり、聖文を研究したりすることによって、「成長するわたし」プログラムに取り組むこともできます。

「成長するわたし」プログラムは指導力を養ううえで、どのような機会を提供してくれますか。10時間プロジェクトを達成するよう備えるとき、ほかの若い女性に助けを求めることができます。そうすることで、将来、妻や母親、家事を切り盛りする役割を果たすうえで役立つ、人を教え導く力を身に付けることができるでしょう。また、企画したり、コミュニケーションを取ったり、難しい課題をやり遂げたりする方法を学ぶのに役立つでしょう。

なぜ日記を書くように勧められているのですか。日記は、あなたが若い女性の組織の一員として過ごした日々や、決意したことの貴重な記録となるでしょう。日記に書き記すことによって、聖霊をほんりよ伴侶として招くこともできるのです。

「成長するわたし」プログラムの祝福は、若い女性を卒業した後も続きます。救い主と主の回復された福音に対するあなたの信仰と証は増し、地上における神聖な使命と役割に備えられるようになるでしょう。奉仕の楽しさや、義にかなった事柄を達成する喜びを味わうでしょう。さらに、導きと教えを与えてくださる聖霊の促しを感じるでしょう。この世においても、永遠にわたっても皆さんの人生を祝福する生活規範を身に付けることができるでしょう。それは、進歩の規範であり、神殿の聖約を交わし、守るという規範です。この進歩の規範を自分の中に築き始めるに当たって、皆さんに祝福がありますように。わたしたちは皆さんを愛しています。主は皆さんを愛しておられます。皆さんは主の貴い娘なのです。■



聖句リボン

一つの徳質の体験やプロジェクトを修了すると、リボンがもらえるので、その徳質に関する好きな聖句のしおりとして使いましょう。リボンは、信仰は白、徳は金など徳質によって色分けされています。若い女性の集会で、指導者からこのリボンがもらえます。



進歩証明書

次のクラスに進級する際に、ビショップあるいは支部会長から「成長するわたし」の証明書を授与されます。この証明書を特別な場所に飾って、ビーハイブやマイアメイド、ローレルで学んだり達成したりした事柄を思い出してください。

「成長するわたし」プログラムについて、さらに詳しい情報を得るには、小冊子の序文を読むか、www.PersonalProgress.lds.org にアクセスしてください。

中央若い男性会長
デビッド・L・ベック



アロン神権—— あなたが考える以上にすばらしいもの

「神への務めを果たす」プログラムに関するメッセージ

4年前、わたしは兄ゲーリーの葬儀に出席しました。話者の一人が兄についてすばらしい賛辞を述べてくれました。以来、わたしはずっとその言葉について考えてきました。彼はこう言ったのです。「ゲーリーは神権を尊ぶ人でした。……神権を理解し、神権を敬い、神権とその原則を完全に受け入れました。」

兄は亡くなったとき、メルキゼデク神権の大祭司でした。50年にわたって、神権者として奉仕することを心から楽しんでいました。兄は、伝道の業を立派に果たし、神殿で結婚し、神権の召しを尊んで大いなるものとし、ホームティーチャーとして勤勉に奉仕してきました。愛すべき夫であり、父親でした。

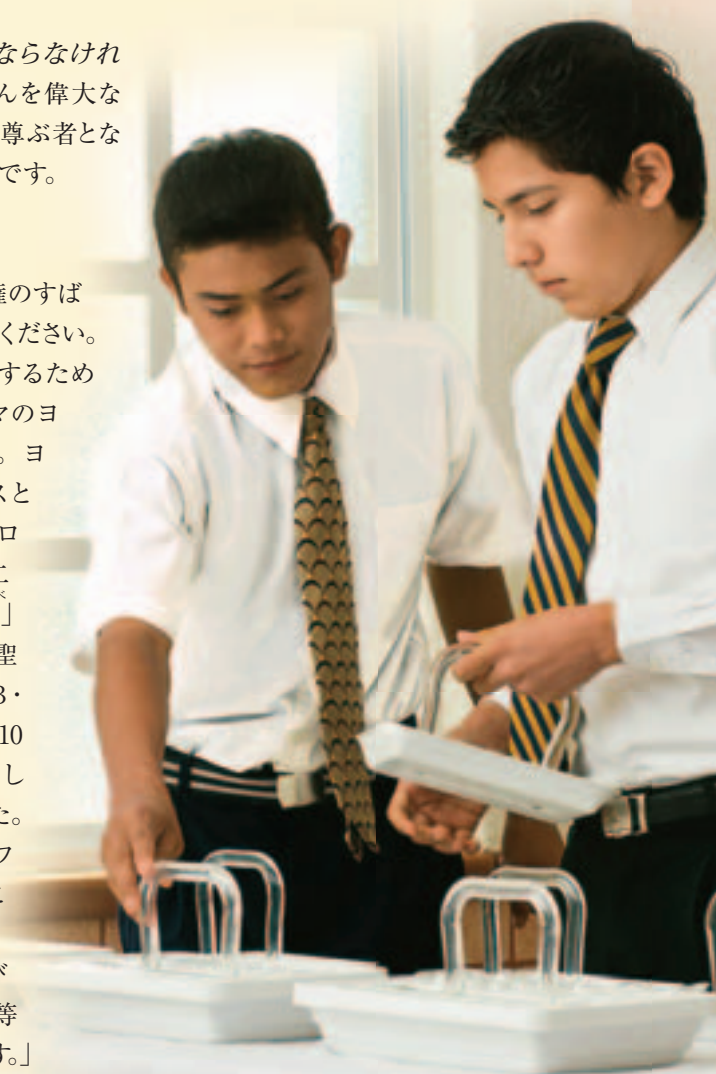
皆さんはアロン神権者です。皆さんの神権者としての奉仕は、まだ始まったばかりです。中には、神権を受けてから50日もたっていない人もいられるでしょう。でも、皆さんも兄のゲーリーが受けたと同じ賛辞に値する人になれるのです。実際、皆さんはその

ような賛辞に値する人にならなければなりません。主は皆さんを偉大な業に召し、皆さんが神権を尊ぶ者となるよう期待しておられるのです。

アロン神権のすばらしさ

皆さんが持つアロン神権のすばらしさについて、考えてみてください。

- 主はアロン神権を回復するために、復活したバプテスマのヨハネを遣わされました。ヨハネはジョセフ・スミスとオリバー・カウドリにアロン神権を授けたとき、二人を「わたしと同じ僕しもべ」と呼びました（教義と聖約13:1）。ゴードン・B・ヒンクレイ大管長（1910–2008年）はそれに関して、次のように語りました。ヨハネは「自分をジョセフやオリバーより上に置くことはしませんでした。『わたしと同じ僕』と呼びかけて、二人を自分と対等の位置に置いたのです。」





霊的な強さを増し加え、神権者として奉仕することを通して人々がキリストのもとに来よう助けるとき、皆さんは真に「神権を尊ぶ者」となるのです。

続けてヒンクレイ大管長は、12歳の執事もヨハネと同じ僕になれると話しました。¹

- アロン神権は「天使の働きの鍵」を持ちます（教義と聖約 13：1 参照）。皆さんが義にかなった生活を送り、勤勉に奉仕するなら、皆さんを導き、強めてくれる、天使の働きを受けることができます。聖餐を執り行うことによって、ほかの人々も皆さんと同様に祝福を受けられるよう助けることができます。²
- アロン神権は「悔い改めの福音の鍵と、罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの鍵を持〔ち〕」ます（教義と聖約 13：1）。悔い改めてバプテスマを受けることは、人が永遠の命に至る道を歩み始めるために入らなければならない門です（2 ニーフアイ 31：17－18 参照）。神権指導者の指示の下に務めを果たすとき、皆さんは人々がこの門を開く助けをすることができます。

- アロン神権には、聖餐を執り行う権能も含まれます。聖餐を準備したり、祝福したり、配ったりするとき、皆さんはイエス・キリストに代わって執り行うのです（3 ニーフアイ 18：1－12 参照）。家族や友達が主を覚え、聖約を新たにし、御霊を伴侶とするふさわしさを保てるように助けるのです。

そのような機会にあずかるには、神権を尊ぶ者——つまり霊的な強さをもって、神権の務めを果たす者となる必要があります。

新しい『神への務めを果たす』

生ける預言者の指示の下に、皆さんが神権を尊ぶ者となるのを助ける小冊子が作られました。内容は新しくなりましたが、『神への務めを果たす』という名前はこれまでと変わりません。

わたしは新しい『神への務めを果たす』に大きな喜びと期待を抱いています。この小冊子は、皆さんが「自分の義務を学び、任命されている職務をまったく勤勉に遂行するようにしなさい」という主の戒めを守るよう助けてくれるでしょう（教義と聖約 107：99）。

執事、教師、祭司としてこの小冊子を活用するとき、皆さんは霊的な強さと神権の義務という二つの分野の活動に参加することになります。

神権を尊ぶ者になるための規範

『神への務めを果たす』に書かれている各活動には、皆さんが主から望まれているような神権者になるために役立つ規範があります。まず、福音の原則や神権の義務について学びます。次に、学んだことに基づいて行動します。最後に、学んだり経験したりし

たことについて自分の考えや思いを分かち合います。これらの活動の中には、個人で行うものもありますし、定員会全体として日曜日のレッスンや週日の活動で活用するのに適したものもあるでしょう。

39 ページには、規範を実践する方法が小冊子から例示されています。また、すでに新しい小冊子を用いて素晴らしい経験をした若い男性たちの感想が紹介されています。

神権を尊ぶ者

「神権を尊ぶ者」という表現について考えるとき、わたしの心にはっきりと思い浮かぶのは、兄のゲーリーです。しかし、ほかにも多くの人を思い浮かべます。トーマス・S・モンソン大管長もその一人です。モンソン大管長は執事として、体の不自由な男性が聖餐を取るのを助けたとき、まるで聖地にいるように感じました。³ また、わたしは偉大なアロン神権者だったバプテスマのヨハネのことを思い浮かべます。ヨハネは、聖なるバプテスマの儀式について教え、証し、儀式を執行することによって、救い主が地上で福音をお教えになるために道を備えました。そして、わたしは皆さんについて思い浮かべます。霊的な強さを増し加え、神権者として奉仕することを通して人々がキリストのもとに来よう助けるとき、皆さんは真に「神権を尊ぶ者」となるのです。■

「神への務めを果たす」についてさらに詳しい情報を得るには、小冊子の序文を読むか、www.DutytoGod.Ids.org にアクセスしてください。

注

1. ゴードン・B・ヒンクレイ大管長「アロン神権——神からの賜」『聖徒の道』1988年6月号、48 参照
2. ダリン・H・オークス「アロン神権と聖餐」『リアホナ』1999年1月号、42－43 参照
3. トーマス・S・モンソン「最善を尽くして義務を果たす」『リアホナ』2005年11月号、56 参照

1. 学ぶ — 活動のこの分野では、皆さんが福音の原則や神権の義務について学ぶのに役立つ提案が書かれています。これまで学んできたことを基にして、自分に合った計画を立てるようという指示も含まれます。

神権の義務を果たす前に、神権の義務について「霊的に学ばなければなりません。」

合衆国のアロン神権者

「自分自身にとってほんとうに助けになると思える事柄を選んで挑戦してみるという考えが気に入りました。」

グアテマラのアロン神権者

「聖文を研究し、祈ることについてのセクションが気に入りました。書かれている事柄を早速実行し、今も続けています。また、伝道に出る準備をしています。」

フィリピンのアロン神権者

2. 行動する — 活動におけるこの分野では、計画を実行に移し、自分の経験について、考えたことや感じたことを書き留めます。

「支部の若い男性として、わたしたちは一緒にジョギングをしよう決めました。肉体的にもっと健康になるために、一緒に計画したり、一団となってジョギングをしたりするのは、ほんとうに楽しかったです。」

グアテマラのアロン神権者

「小冊子は、……日記や日誌のようなもので、自分自身を振り返ることができます。これは何かを達成するうえでとても良いプロセスだと思います。」

合衆国のアロン神権者

「わたしは聖文の研究を日課にすることがなかなかできません……聖文を読んで祈るという目標を立てたおかげで、きちんと時間を取って、集中することができました。わたしは実際変わることができ、目標を実行するときに御霊を感じました。」

フィリピンのアロン神権者

3. 分かち合う — 自らの計画を実行した後、考えたことや感じたことを家族や定員会のメンバーなどと分かち合う機会があります。

「分かち合うことによって、さらに多くの人と話しくなります。〔人と話すことで〕自分自身も、もっとよく理解できるようになるからです。」

合衆国のアロン神権者

「両親と話すごうができてよかったです。」

フィリピンのアロン神権者

「わたしたちは定員会で、お互いの目標について話し合うのが好きです。それぞれが行っていることや、その行いがどのように役立ったかについて話すのです。」

グアテマラのアロン神権者



“He who has repented of his sins, the same is forgiven, and I, the Lord, remember them no more” (D&C 58:42).

LIVE WORTHILY

Learn

- Read the section titled “Repentance” in *For the Strength of Youth*, and write your answers to the following questions in a notebook or journal:
 - What do you learn about the Atonement and repentance from this section?
 - How does repentance help you grow spiritually?
 - What is the relationship between repentance, the Atonement, and personal worthiness?

Discuss your answers with your parents or quorum members. Discuss how repentance will help you prepare to enter the temple and participate in sacred ordinances.

- Choose at least three other sections from *For the Strength of Youth* that will help you live worthily. Study the standards in these sections, and write what you will do to live these standards and to help others do the same.

Act

Sections from *For the Strength of Youth* I will study:

Specific things I will do to live these standards and help others do the same:

Share

- After studying and applying these standards, share with your parents or quorum members what you are learning, how it is influencing your life, and the kind of person you are becoming.



Consider studying and applying “Dress and Appearance,” “Entertainment and the Media,” or “Language” in *For the Strength of Youth*.

filling My
to God
sthood Holders

曾祖母そうそぼを置いて行けるでしょうか

21歳になると、わたしは伝道に出たくなりました。それは、曾祖母のマルガリータ・シッポ・デ・ラジャーナが独りぼっちになることを意味します。それなのに曾祖母は伝道に出ることに賛成してくれました。曾祖母はわたしを小さいときから育ててくれた人です。わたしが伝道に出たら、その間だれが彼女の世話をしてくれるのか心配でした。

曾祖母とわたしは1978年にバプテスマを受けました。わたしが11歳、曾祖母が73歳のときです。二人ともすぐに教会に行くのをやめてしまいましたが、心配した教会の兄弟姉妹たちが来て、教会に戻るよう勧めてくれました。

わたしはまた教会に通うようになりました。するとワードの会員たちは、わたしが神権を受けるのを待ち望むようになりました。「ワードに執事が誕生する」と言って喜んでいたので。当時わたしたちのワードにはアロン神権者がいませんでした。わたしは執事定員会の会長になりました。ほかに執事がいなかったからです。なぜそんな召しを自分に与えようとしたの

か、そのときは分かりませんでした。ワードの指導者たちは神権者の責任を果たせるようにわたしを訓練しようとしていたのだということが、後になって分かりました。結果的にわたしは、忠実になる努力をするようになりました。

一方、曾祖母はごくたまに集会に出るくらいで、依然として教会にあまり熱心ではありませんでした。しかし、わたしが伝道に出ることに賛成でした。福音が真実であることが心では分かっていたからです。

わたしは1990年に宣教師申請書を提出しました。当時はコルドバから召される専任宣教師はたいていアルゼンチン・ブエノスアイレス北伝道部かブエノスアイレス南伝道部で伝道していました。自分はこのどちらかの伝道部に召され、曾祖母から遠く離れた所に行くことなどない

だろうと、わたしは確信していました。

ところが、その後ステーキ会長から

電話があり、パスポートを作る必要があると言われました。予想に反して、コロンビアに召されたのです。わたしは心配でたまらなくなりました。それなのに、曾祖母は伝道に行くよう勧めます。出発する直前、曾祖母は次の日曜日から教会に行き、わたしが帰るまでには神殿に参入すると約束してくれました。信じ難い言葉ではありましたが、おかげで、彼女を置いて行くことに対する不安が少し和らぎました。

わたしの伝道中、曾祖母は約束をきっちり守りました。80代という高齢にもかかわらず、期待されるすべての集会に出席したのはもちろんのこと、遅刻したこともなかったのです。さらに、神殿に入る準備を進め、アルゼンチン・ブエノスアイレス神殿に参入しました。

その初めての神殿旅行から、夜通し12時間もバスに揺られて曾祖母がワードの集会所に戻ったのは、日曜日の朝、8時半でした。もうすぐ教会の集会が始まります。ルーベン・スピテールステーキ会長は、「家までお送りしますよ。お休みになったらいかがですか」と声をかけました。

しかし、「いいえ、わたしは集会に出ます」と曾祖母は言って、教会に出席しました。

伝道が終わって帰還してから曾祖母が2000年に亡くなるまでに3度、わたしたちは一緒に神殿に参入しました。伝道に出たおかげで、曾祖母もわたしも祝福を受けました。伝道に出なかったとしたら、こうしたいらしいことはどれも起こらなかっただろうと、わたしは確信をもって言うことができます。■

フーゴ・ファビアン・ラジャーナ
(アルゼンチン、コルドバ)

伝道に出る直前、 曾祖母は

次の日曜日から
教会に行き、
わたしが帰るまでには
神殿に参入すると
約束してくれました。

御霊に 耳を傾けました

ある日の朝、宣教師だったわたしは同僚と二人で、フィリピン南部の担当地域にある小さな区域で、戸別訪問を行っていました。すると、せっせとドアをノックしているところに一人の男性が近づいて来て、何をしているのかと尋ねたのです。酔っ払いであることは明らかでした。

わたしたちのメッセージには興味がないだろうと思いましたが、人生の目的のパンフレットを手渡しました。そして、もしこのパンフレットを読み、今晚アルコールを飲まないつもりなら、お宅に行つて人生の目的を説明しますよと言ったのです。男性はうなずき、待っていると仰いました。わたしたちはレッスンの約束があったので、急いでそちらへ向かいました。

実はその夜この男性の家に行つて教えるつもりはまったくなかったのです。しかし、その後毎日この男性の家の前を通る度に、足を止めて訪問した方がよいと感じました。しかし、いつもすぐにその気持ちを無視しました。どうせ酔っ払っていて話を聞いてくれないだろうと自分に言い聞かせ、行かないことを正当化していたのです。

何日かたつとその気持ちがあまりにも強くなり、もうあらがうことができなくなりました。そこで男性の家のドアをノックしたところ、女の人が驚いた顔をして出て来て、前に約束したときになぜ来てくれなかったのかとわたしたちに尋ねました。彼女の夫はあの晩、わたしたちが来るのを待っていて、結婚以来初めてお酒を飲まなかったのだそうです。

わたしたちはばつが悪くて何度も



実はその夜この男性の家に行つて教えるつもりはまったくなかったのです。しかし、その後毎日この男性の家の前を通る度に、足を止めて訪問した方がよいと感じました。

謝りました。約束を取り、その晩もう一度行つてこの女性とご主人を教えました。その後間もなくグマバイ兄弟(仮名)は自分のこの世的な罪をすべて悔い改めてバプテスマを受け、地域社会の中心的な人物になったのです。

わたしは彼のバプテスマの数日後に別の地域に転任になり、この家族との連絡は途絶えました。わたしにできたのは、彼らが教会に通い続けられるようにと願い、祈ることだけでした。

後で伝え聞いたことによると、グマバイ家族が住んでいた地域には支部ができ、それは後にワードになったそうです。グマバイ兄弟はそのワードのビショップに召されました。彼の親戚がほとんど教会に入ったという話も聞

きました。

後に昔伝道した地域を訪れたのですが、そのとき、グマバイビショップの模範によって多くの人が教会に入ったことを知りました。グマバイ兄弟は生活を主の手にゆだね、主を第一に置いて家族を導き、日々の生活を送っていたのです。

御霊の促しに従つてグマバイ兄弟の家を訪れてほんとうによかったと思っています。この経験を通して、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である」という主の言葉の意味が理解できるようになりました(マタイ9:12)。■

マイケル・アンジェロ・M・ラミレス
(ニュージーランド)

ホームティーチャーを呼びなさい

何年も前、4人の子供が小さかったころ、夫は別の州で働くようになりました。でもわたしは、上の二人の子供の学年が終わるまで転居しませんでした。当時、わたしたちには新しいホームティーチャーが割り当てられたばかりで、彼らの訪問は夫の転勤前に2度あったきりでした。

ある晩、子供たちを寝かしつけていると、まだ赤ん坊だった娘が部屋で泣いているのが聞こえてきました。抱き上げてみると、高熱で火照っています。医者に連れて行くことを考えたのですが、急いで新しい保険証書を確認すると、保険の対象となるのは夫が現在単身赴任しているアイダホ州の住民のみであると書いてありました。夫以外はまだワシントン州の住民でした。

娘の体温を測ると41度で、わたしは不安でたまらなくなりました。即座にひざまずいて祈り、熱烈に助けを求めました。答えは思いも寄らないものでした。「ホームティーチャーを呼びなさい。」

夜も更けていましたから、ハルバーソン兄弟とバード兄弟は二人とも間違なく就寝中だということは分かっていました。それでもわたしは受話器を取ると、とにかくバード兄弟に電話をかけ、手短かに状況を伝えました。すると、5分後の午後11時には、わたしのホームティーチャーたちがスーツにネクタイ姿で玄関にいたのです。

そのころには幼い娘は頬と目が真っ赤になっていて、髪の毛は汗でべっとりとしていました。娘は苦しくてぐずっていましたが、ハルバーソン兄弟とバード兄弟は冷静に娘を抱きました。それから、二人は娘の頭に

手を置くと、祝福を与え、救い主の名によって癒されるよう祝福しました。

祝福が終わって目を開けると、信じられない情景が目に入りました。娘がくすくす笑い、遊びたいのか、身をよじって降ろしてもらおうとしていたのです。熱は下がっていました。

皆が驚いて子供を見ていると、「祝福している最中に熱が下がっていくのが分かりました」とバード兄弟がわたしに言いました。二人はすぐに帰りましたが、娘は起きていて遊びたがっていたので、その後わたしは眠らないで数時間相手をしました。そうする

ことはまったく苦になりませんでした。

二人の仕える天使がホームティーチャーの姿で現れて子供を祝福してくれたあの夜から、長い年月がたちました。あれから間もなくわたしたちはアイダホ州に移り、このホームティーチャーたちとの交流もなくなりました。しかし、主の用向きのために夜11時に来てくれた二人の親切なホームティーチャーに、わたしはこれからもずっと感謝し続けることでしょう。■

ダイアナ・ロスキー
(アメリカ合衆国ペンシルベニア州)

娘の体温を測ると
41度で、
わたしは不安で
たまらなくなりました。
即座にひざまずいて祈り、
熱烈に助けを
求めました。



ビショップが 間違えたのでは ないかしら

ワードが分割された直後のことだったので、面接したいとビショップから言われたとき、新しいワードで責任を受けるのだということは分かっていました。わたしは若い女性の組織で働いてきましたし、若い女性たちが大好きでした。彼女たちは福音に対して感受性が強く、レッスンをするのがとても楽しかったのです。主はこれからも彼女たちを教えられるようにしてくださいと違いないと確信していました。

しかし驚いたことに、ビショップが言ったのは、主はわたしに初等協会で教えるよう望んでおられるという言葉でした。ビショップは絶対に間違っていると思いました。でもビショップは、断食して祈った結果、わたしがその責任に召されることをはっきり感じたのだと断言しました。わたしは子供が大好きでしたが、子供を教えることについて、わたしに何が分かるのでしょうか。

結婚して15年になっていたわたしたち夫婦にとって、唯一共通の悲しみは主が子供を授けてくださらないことでした。養子を迎える努力もしていましたが、わたしたちの健康状態のせいで、これもうまくいっていませんでした。

ビショップを信頼して、初等協会で教える召しは受けましたが、心の中では葛藤していました。子供を与えてくださらないことに対してわたしは主に怒りを感じ、この新しい召しにも憤慨しました。

わたしは悩みました。「主よ、どうしてわたしにこの召しを望まれるのですか。主の知恵により、わたしには自分の子供がいません。それなのになぜ、人の子供を教えるよう頼まれなければならないのでしょうか。」

わたしは祈り、もがき、御心みこころが理解できるよう涙を流しながら主に取りすがって嘆願しました。最終的にわたしは、この召し



ビショップが言ったのは、主はわたしに初等協会で教えるよう望んでおられるという言葉でした。わたしは子供が大好きでしたが、子供を教えることについて、わたしに何が分かるのでしょうか。

を受け入れたのだから自分の不幸を嘆くのはやめて、できるかぎり努力するべきだろうと思い、そうすることに決めました。

祝福が注がれたのはそのときからです。わたしはすぐに子供たちが大好きになり、子供たちからも好かれるようになりました。子供たちの愛は偉大なもので、わたしの生活の空虚な部分を十分埋め合わせてくれるということに気づきました。間もなく、わたしが教会の廊下を歩こうとすると最低二人の子供がわたしの手にぶら下がり、ほかの子供たちが行く手を遮って抱擁をねだるようになりました。その後、夫はスカウト指導者に召されました。やがて、我が家は子供たちと10代の若者たちであふれかえるようになったのです。

夫は1986年11月に47歳で亡くなりました。やはり、主はわたしに必要なものをわたしよりもよく御存じだったのです。夫の死から何週間もしないうちに、わたし

はカリフォルニア州フレズノ・ラオス人支部の初等協会で教える宣教師として奉仕するよう召されました。この支部のひとときわすばらしい人々とその子供たちの勇気に力づけられて、わたしは夫なしでもどうにか生きていくことができました。

自分が教えた子供たちが成長して大人になり、伝道に出、神殿で結婚して、自分たちの家庭を築いていくのを見るのは格別な喜びです。たくさんの「養子」たちが今でも遊びに来て、わたしの生活を明るくしてくれます。それに、わたしが今奉仕しているカリフォルニア州フレズノ神殿で彼らの姿を見ると、とても幸せになります。

初等協会で奉仕したことは、実に生涯にわたる祝福となりました。わたしたちの召しは主が指示されるのであって、人が決めているのではないことに心から感謝しています。■

ジーニー・L・ソレンセン
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)

古代の模範， 現代の約束

デートが
スムーズに行ったことは
一度もありませんが、
聖典に記されている忠実な人々の
模範に力づけられています。



匿名
人づきあいはだいたいどのような状況でも楽しめるのですが、デートでは苦労してきました。一度もデートをすることなく伝道に出たものですから、2年後に帰還したときには、デートの経験がないことを痛感しました。

その後の10年間、祝福文で約束されているように、結婚するために「自分の行えることをすべて行〔おう〕』としてきたのは明らかですが(2ニーファイ25:23)、まだ結果が出ていません。ふさわしい相手を見つけることを、あきらめなくなる誘惑を感じたこともあります。ひどく落ち込んでいるときには、祈りの中で叫びました。「どうか助けてください。自分が何をしているのか分からないのです。」

最近、わたしは聖典に記されている数々の模範に大きな慰めを見いだしています。次に紹介する3つの話には、特に勇気づけられ、天の御父と御父の計画に信頼を置くことができるようになりました。

エジプトのヨセフ —— 神への信仰と希望を持ち続ける

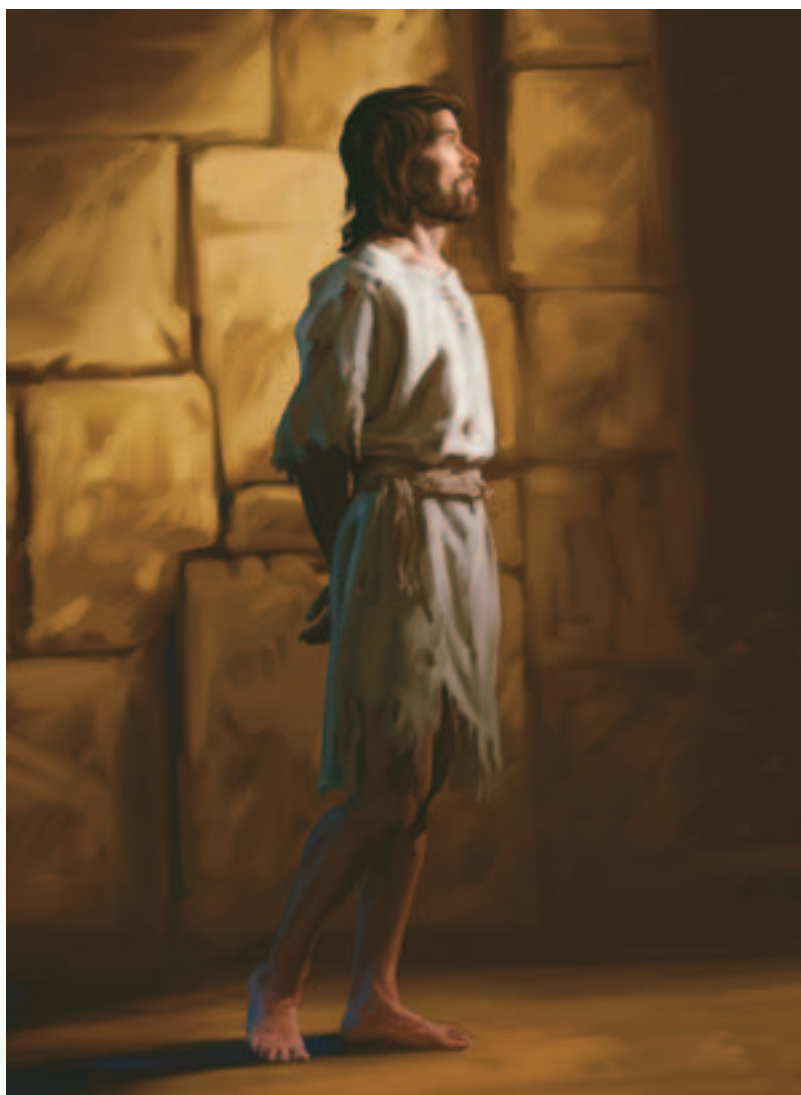
ヨセフは17歳のとき、強引に家から連れ出され、宗教的信条のほとんど違う異国に追い

やられました。そのような厳しい試練の中にあっても、絶えず良い態度を執り、主人と神に忠実であり続けました(創世37章:39-41章参照)。それでも、13年間、望ましくない状況を次から次へと経験したのです。勤勉に働いても、ほとんど評価されず、逆に投獄され、30歳になるまでそこから出られませんでした。

ヨセフのことで次のように考えることがあります。ヨセフは、神はひょっとすると自分のことをお忘れになっているのではないかと考えたり、どれくらい長く牢獄(ろうご)に入っていなければならないのか、はたしてここから出られるのかと疑問に思ったりしなかったのでしょうか。また、ヨセフが若いころに見た夢(創世37:5-11参照)は、ヨセフに明るい未来への希望を与えたのだろうか考えるのです。

言うまでもなく、神はヨセフの母親ラケルを覚えておられたように(創世30:22参照)確かにヨセフのことも覚えておられました。ヨセフは自分が望んでいない状況の中にあっても榮えるという祝福を受けました。ヨセフは反抗したり、不平を言ったり、神をのろったりすることなく、すばらしい信仰を行使しました。その結果、途方もなく大きな祝福を受けたのです。

自らの苦難を嘆き悲しむあまり、神がすでに



お与えになった祝福にまで目を閉ざしたくなる
ことがあるかもしれません。しかし、信仰と希望
を持ち続けることによって、ヨセフの場合と同
じように、大きな祝福を受けることができます。
また、自分たちの信仰が思いどおりに報われな
かったとしても、そのような信仰を持ち続けるこ
とによって、より幸福な生活を送ることができます。

ヨセフの経験は、神の力と知恵が人知を超え
ていることあかしの証でもあります。何年もの間、ヨ
セフの努力は何の益にもならないように見えま
した。しかし、神の助けによって、ヨセフは牢
獄から解放され、パロに次ぐ地位にまで上り詰
めたのです(創世 41:41 - 43 参照)。ヨセフ
にそのような驚くべき機会を予測したり、期待
したりできたでしょうか。

わたしたちは何かを達成しようとどれほど頑
張っても、自分だけの努力では達成できないと
きがあります。わたしは、天の御父がわたした

*信仰と希望を
持ち続けることによって、
ヨセフの場合と同じように、
大きな祝福
を受けることができます。
また、自分たちの信仰が
思いどおりに
報われなかったとしても、
そのような信仰を
持ち続けることによって、
より幸福な生活
を送ることができます。*

ちの信仰と従順を御覧になり、わたしたちが最
初に待ち望んだ以上に大きな祝福を与える力
をお持ちであることを知っています。良い態度
でいて、困難な状況にあっても最大限の成果
を得ようと努力するならば、ヨセフの場合と同
じように、主はやがて御自身の時において、
「聖なるかいなを〔あらわされる〕」と信じてい
ます(イザヤ 52:10)。わたしの苦労が無駄
に終わることはありません。主はわたしたちの
ことをいつも覚えておられます。実際、いつど
んなときも主はわたしたち一人一人のことを御
存じであり、わたしたちが忠実であり続けるか
ぎり、わたしたち一人一人のために善いものを
準備しておられるのです。

アブラハム——ほかの何よりも神を愛する

少し前のことですが、とても大切に思ってい
る女性との交際が終わりました。ただでさえ
結婚していないことに心を悩ませていたわた
しは、気の合う相手を見つけることはもうでき
ないのではないかと思いました。

その後間もなく思い起こしたのが、イサクを
犠牲としてささげるように命じられたアブラ
ハムの話でした(創世 22:1 - 14 参照)。わた
しとアブラハムとの共通点は、愛する者をあき
らめるように求められた点だと分かりました。
もちろん、わたしの経験はアブラハムの経験と
は比較になりませんが、彼の経験の中に自分
が従うべき模範があることに気づいたので。

アブラハムはサラとの間に息子が生まれる
のを長い間待ち望みました。イサクの誕生は
奇跡でした。アブラハムは「イサクから出る者
が、あなたの子孫と呼ばれるであろう」と言わ
れました(ヘブル 11:18)。それにもかかわら
ず、主はアブラハムにイサクを犠牲としてささげ
るように命じられました。イサクを犠牲として
ささげたなら、イサクから出る者がアブラハム
の子孫と「呼ばれる」という約束はどうなるの
でしょうか。

どのような方法によるかは別にして、神が御
自身の約束を守られることを知っていたので、
アブラハムは従いました。アブラハムは息子
に対して大きな愛を抱いていましたが、アブラ
ハムの答えから、彼が主を第一に愛していたこ
とは明らかです。わたしたちも同じことをする



ように求められていて(教義と聖約 101:4-5 参照), 忠実に堪え忍ぶことを条件にわたしたちにも大きな報いが約束されているのです(マタイ 24:13 参照)。彼女との交際が終わったとき, なかなか気持ちを切り替えることができませんでした。結婚できるという約束を受けているので, 新たな一步を踏み出すことが約束の成就に反するように思われました。しかし, その約束はわたしに希望を与えてくれました。おかげで再出発し, 天の御父を第一に愛していることを示すことができました。

アブラハムは忠実さの報いとして, 一人息子の命だけでなく, 数え切れないほどの子孫と祝福を授かりました(創世 22:15-18 参照)。わたしたちも神がわたしたちにお求めになる犠牲を払い, 神への愛を証明するならば報いを受けます。それがわたしたちに与えられる信仰の試しの本質なのです。

神が御自身の約束を守られることを知っていたので, アブラハムは従いました。アブラハムは息子に対して大きな愛を抱いていましたが, アブラハムの答えから, 彼が主を第一に愛していたことは明らかです。

ザカリヤ——神の約束が実在すると信じる

時折, 主がわたしたちにお与えになる約束が一体どのようにして果たされるのか, わたしたちには分からないことがあります。例えば, わたしたちが望みを持ち, 忠実であり続けたら, 永遠の結婚の祝福を受けるという約束がそうです。大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は, 次のようなパラドックス(逆接)について教えています。「[わたしたちの] 希望をくじくようなことばかりが起こっていても希望を持つ, という勇氣ある決断をすべきときがあるかもしれません。」¹

ザカリヤとその妻エリサベツは, 信仰をもって祈り, 生涯にわたって子供を待ち望みました。ついに, ザカリヤは年老いた彼の妻がみごもり, 救い主の前に道を備える子供を産むと天使から約束されました。あまりにも大きな祝福だったので, ザカリヤは理解することができませんでした。天使から宣言されたにもかかわらず, ザカリヤはこう尋ねます。「どうしてそんな事が, わたしにわかるのでしょうか。」(ルカ 1:18)

ザカリヤと同様, 望みがかなえられず落胆することに慣れてしまったり, 約束された祝福がとても信じられないもののように思えたりすることがあります。その結果, 「神にはなんでもできない事はない」ということを忘れてしまいます(マタイ 19:26)。ザカリヤの経験は, 天の御父の偉大な約束が実在し, また天の御父は必ずその約束を果たされることを思い起こさせてくれました。

わたしの信仰を強め, 希望を与えてくれたのは, ヨセフ, アブラハム, そしてザカリヤの話だけではありません。聖典の中には信仰篤い人々の記録が数多く記されています。彼らの信仰がわたしに思い起こさせてくれたこと, それは主がわたしに約束されたことに信仰を持つということでした。最近, 聖典から1章読む度に, 主はいつも御自身の約束を守られるということを思い起こすことができます。このことを理解するときに, わたしは将来に対する大きな希望を与えられます。■

注

1. ディーター・F・ウークトドルフ「希望という無限の力」『リアホナ』2008年11月号, 23

信じることから 知ることへ

チャオ・イー・リン

わたしは19歳のときに初めて、末日聖徒の宣教師に駅で会いました。二人の女性に何か特別なものを感じ、話したい気持ちに駆られました。そこでわたしは彼らに近づき、台湾で何をしているのかと尋ねました。彼らは、自分たちは宣教師だと告げ、福音について話し始めました。数回にわたって福音のレッスンを受け、イエスキリスト、回復された福音、そしてモルモン書について学びました。「モルモン書」が最後に学ぶ項目だったのですが、わたしはこれがきっかけで教会に加わりました。

この書物について祈ったときの経験を今でもよく覚えています。ある夜のこと、モルモン書を読んだ後、本を閉じ、ひざまずいて、天の御父にこの書物が真実かどうか尋ねました。すっぱりと温かい気持ちに包まれるのを感じました。いつもお参りしていたお寺では一度も感じたことのないような気持ちでした。特別な気持ちでした。だれかが聞いているのが分かりました。その瞬間、教会は真実だと信じている状態から知っている状態に変わり、バプテスマを受



モルモン書が
真実だと
信じることは、
始まりに
すぎません
でした。

ける決心がつかしました。

それ以来、モルモン書を通して生活がずっと祝福されてきました。宣教師として奉仕したときにも祝福を受けました。

モルモン書はわたしが召しを果たすときにも祝福をもたらしてくれました。インス

ティテュート教師として奉仕していたときに、モルモン書はわたしたちの時代のために書かれた書物だということが分かりました。¹しかし、レッスンを準備する中で、聖典の言葉が一般的に当てはまるだけでなく、特定の状況、特定の時期にいる特定の人々にとっても当てはまることに気づきました。例えば、レッスンの準備をしていると、一人の生徒の顔が思い浮かび、特に、その生徒にとってプラスになるよう教えるために必要なことは何なのかが分かるということがありました。そのような促しは頻繁に起こりました。自分が促しを受けたことは、レッスンの終了後、生徒が話しかけてきて、今日のレッスンはちょうど自分にとって必要なものだったと知られるときに確認できました。

最後に、また恐らく最も大切なことですが、モルモン書はわたし

の人生を個人的に導いてくれています。ある男性との交際をやめようとしていたときに、聖典を開いたことを覚えています。わたしは大きな苦しみを感じていました。しかし、ニーファイ第二書第10章20節を読んだとき、この1節がわたしの心に直接語りかけ、穏やかな気持ちにしてくれました。「さて、わたしの愛する同胞よ、わたしたちの憐れみ深い神は、これらのことについて、このように多くの知識を与えてくださったので、わたしたちは神を覚えて、罪を捨てようではないか。わたしたちは捨てられてはいないので、うなだれるのはやめよう。わたしたちは受け継ぎの地から追い出されたが、主が海をわたしたちの道とされたので、わたしたちはもっと良い地に導かれて来た。そして、わたしたちは今、海の島にいる。」

この聖句が提案しているように、主を覚えることで、わたしは勇氣と希望を与えられました。神から授かった福音に関する「多くの知識」に頼ることができ、自分は「捨てられて」はいないのだと確信できました。前途に待っているのは良きものだったのです。

求道者だったとき、宣教師の言葉を信じるのができたのは大きな祝福でした。何にも増して、福音の真実性、特に、モルモン書の正当性について知ることができたのは、わたしにとってさらに大きな祝福でした。わたしは神が生きておられ、聖典を通して、直接的に、そして個人的にわたしたちを教えられるということを知っています。■

注

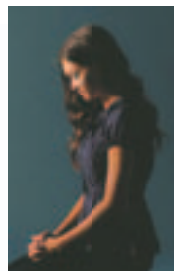
1. エズラ・タフト・ベンソン「モルモン経は神のみ言葉である」「聖徒の道」1988年5月号、2

そこが知りたい

家族と一緒に祈っているのに、
個人でも祈る必要があるのは
なぜでしょうか。

あなたが個人的な問題で悩んでいるとしましょう。悩みを大勢の人前で抵抗なく話せますか。それとも、一人だけにそっと打ち明ける方がいいですか。

スペンサー・W・キンボール大管長(1895 - 1985年)はこう教えました。「時間や人の耳に入ることを気にせず、自分独りで祈るときにこそ、最も良い祈りができるという事柄も中にはあります。独りになってささげる祈りはとても大切なものであり、多くの祝福をもたらします。



「あなたは心の
中で祈るだけでなく、
声に出しても祈り
なさい。隠れて祈
るだけでなく、世の
人々の前でも祈り、
ひそかに祈るだけ
でなく、公にも祈り
なさい。」(教義と
聖約 19:28)

恥ずかしさ、見せかけ、それに身に染みついた欺瞞性^{ぎまんせい}もかなぐり捨てることができるからです。また心を開いて、包み隠すことなく正直に自分の願望や考えを話すこともできるでしょう。』¹ 家族の祈りでは祈りにくいことでも、個人の祈りで話すことができますし、多くの場合、そうするべきです。

個人の祈りでは、愛にあふれた天の御父ときわめて率直に、心の奥にある不安や望みを語ることができます。イエス・キリストの福音が回復されるきっかけとなった啓示をジョセフ・スミスが受けたのは、彼が独りで祈ったときでした。1対1で天の御父と話すことで、わたしたちの益^{みたま}となるように与えられている御霊の促しを

わたしの家族は**成人向けの映画**を見ます。
家族で過ごす時間は大切ですが、
そのような映画を見ない理由を
どのように説明したらよいでしょうか。

家族といるときに正義を選ぶのは、友達同士でいるときと同じか、場合によってはもっと難しいかもしれません。自分の価値観を下げないことは良いことです。今は実感がなくても、あなたが生活の中で神を第一にすることで、家族に祝福をもたらし、家族の模範となります。そうは言っても家族です

から、一緒に過ごすことは大切です。あなたの知っている、心を高めるほかの映画を見ようと提案したり、ゲームやハイキングなど、別のことをしようと誘ったりしてもよいでしょう。

大切なのは、あなたの標準について誠実に、そして謙遜^{けんそん}に話すことです。特定の種類の映画を見ない理由を正直に話しましょう。家族にうまく伝えられるように、そして理解の霊があるように祈り

さらに受けやすくなります。

しかしながら、家族の祈りも非常に大切です。家族で祈ることで天の御父に近づき、家族とともに霊的な経験をすることができます。キンボール大管長が教えたように「教会は朝晩家族の祈りをするように強調しています。」² ■

注

1. スペンサー・W・キンボール「常に祈りなさい」『聖徒の道』1982年3月号, 3
2. ジェームズ・E・ファウスト「祈りという命綱」『リアホナ』2002年7月号, 68 参照

ましょう。そうすることで家族から敬意を受けるとともに、悪いメディアを避けて御霊を保つことができるでしょう。■



弟は教会が真実であるかどうか判断しかねています。どのように助ければよいでしょうか。



弟 さんを支えてください。彼は家族から圧力ではなく愛を感じる必要があります。不安や疑問が何なのか尋ねてもよいでしょう。彼が最後まで話し終わるのを待ってから、あなたの意見を伝えましょう。もしかしたら信仰に関する悩みではなく、社会的な、あるいは個人的な心配かもしれません。彼が求めている答えをすべて提供できなくても、必ず答えが見つかることを伝えて元気づけることはできます。

彼の悩みについて一緒に祈るように誘い、個人でも祈るように勧めましょう。人によっては答えを得るのに長く時間がかかることがあるということも心に留めておきましょう。本人が気持ちを整理する必要がある場合は特にそうです。祈りや証を得ることに^{あかし}ついて書かれているアルマ第32章、第3ニーファイ第17章やモロナイ第10章と一緒に読んでもよいでしょう。また、両親、ビショップまたは支部会長、あるいは同じような問題を乗り越えたほかの忠実な教会員と話すよう勧めてもよいでしょう。

促しを感じたら、あなたの証を述べましょう。あなたが福音についてどう思っているか伝えましょう。



最後に、とても大切なことは、真理を証するのは御霊であることを覚えておくことです。弟さんが証を得たり、すでに持っている証に気づいたりするには、聖霊を認識することを学ばなければなりません。これには時間がかかるかもしれませんが、強制もできません。あなたが彼に一日中事実を教えることはできますが、彼が証を得るには御霊と有意義な交わりを持つほかありません。

彼のために祈り、励まし、支えてください。話を聞いてあげてください。しかし、彼に選ぶ自由があることも覚えていてください。彼が御霊の導きに従うなら、最も賢明な選択をするでしょう。■

愛する家族に聖文を読み聞かせ、聖霊の証を認識する方法を教えて、彼らが証を得るのを助けましょう。

あなたの質問を電子メールでお送りください。あて先は lahona@ldschurch.org です。件名欄には「To the Point」と書いてください。

天使の前で

宣教師として任命を受けたとき、ステーキ会長は祝福の中で、わたしが天使がそばにいるのを時々感じ、その守りも受けるという約束を授けてくれました。

サミュエル・ゴールド

2003年、わたしは西アフリカのコートジボワールで伝道するよう召されました。調べてみると、その国は常に内戦が起きているようでしたが、そのときは停戦状態にあると分かり安心しました。任命を受けてさらにほっとしました。ステーキ会長は、わたしが伝道している間、天使がそばにいるのを時々感じ、その守りも受けるという約束を授けてくれたのです。そして、従順であれば無事に帰還するという約束も受けました。

伝道に出てから最初の数か月、伝道部会長は備えておくように勧告しました。首都アビジャンにあるアパートでは、3日分の食糧と水を貯蔵し、宣教師の訓練集会では闘争が勃発したとき取るべき行動について訓練を受けました。

それでも、2004年11月4日に反乱軍が停戦を破ったとき、わたしたちの間に緊張が走りました。伝道部の指導者は門限を夜6時に決めました。翌日、その日の最後のレッスンを教えているときに突然爆音が聞こえました。わたしたちはすぐに閉会の祈りをささげ、教えていた家族にモルモン書のあ

る章を読むように課題を出し、急いで帰宅しました。わたしたちのすぐ後に、同じアパートに住むもう一組の宣教師も帰って来ました。伝道部会長補佐が電話をかけてきて、何があっても決してアパートの外へ出ないように、教会へも、食べ物を調達するためさえも外出しないように言いました。数名の平和維持兵を空爆で殺されたフランスがコートジボワール軍の空港を攻撃し、小さなコートジボワール空軍に被害を与えたことが分かりました。その報復として大規模な暴動が首都全域で起きたのです。

何万という抗議者が街頭にあふれ、なたを持ってフランス人の経営する店から略奪し、フランス人が住んでいるような家屋に侵入しました。わたしたちのアパートの窓から、暴力が広がっていく様子が見えました。白人であるわたしたちも危険な状態にあることが分かりました。

11月7日の日曜日の午後、叫び声や銃声、爆音が響くアパートで、たった4人の聖餐会を開きました。3日分の食糧貯蔵から取ったパンと水を祝福して配った後、一人ずつ聖句を読んで、証を述べました。わたしは教義と聖約第84章88節を読みました。「そして、あなたがたを受け入れる者

がだれであろうと、わたしもそこにいるであろう。わたしはあなたがたに先立って行こう。わたしはあなたがたの右におり、また左にいる。わたしの御霊はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう。」わたしはこれを読みながら、ステーキ会長が授けてくれた祝福について思い出し、無事でいられると確信しました。

わたしたちはアパートに1週間閉じ込められました。ワードの指導者や会員が訪問して食糧を届けてくれました。ある会員は、わたしたちの伝言を聞いて、家族に電子メールを送り、今のところ無事であることを伝えてくれました。会員の助けはすばらしいものでした。その間、わたしたちの家族や世界中の教会員はわたしたちの安全を祈ってくれました。わたしの家族は祈っているときにわたしがきっと無事であるという穏やかな確信を受けました。

11月12日の金曜日、わたしたちは避難を始めました。ほかの避難者が危害を受けたという報告がありましたが、コートジボワール人の教会員がアビジャンの街を先導してくれたおかげで、わたしたちはバリエードを突破してイギリス大



使の家に無事にたどり着きました。イギリス軍がわたしたちの国外輸送に当たり、わたしと二人の長老が救出されている場面がテレビのニュースで映ったのを見たときに、家族の祈りがこたえられました。夜の闇に紛れて、教会員はアフリカ人ではないほかの宣教師を伝道本部へ連れて行きました。宣教師たちはそこからイタリア空軍によってガーナに輸送され、わたしたちと合流しました。

コートジボワール中で外国人に対する攻撃が何度もあったにもかかわらず、危害を受けた宣教師は一人もいませんでしたし、住んでいたアパートにも侵入されませんでした。伝道部会長の勧告に従ったおかげで暴動が起きたときに家で無事でしたし、生き延びるために必要な物資もありました。そして、軍隊の保護よりも心強かったのは、主の守りがあるという確信でした。

避難しているときに知ったのですが、わたしたちが聖餐会を終えた後の、あの日曜日の午後、抗議者の一団がわたしたちのアパートを攻撃しようと準備していたそうです。近所に住むある人が「彼らはフランス人じゃない!」と叫んでも去りませんでした。ついに別の人が「彼らは宣教師だ!」と叫ぶと、解散したそうです。わたしは再び「わたしの御霊はあなたがたの心の中にある。また、わたしの天使たちはあなたがたの周囲にいて、あなたがたを支えるであろう」という言葉を思い出し、ステーク会長の祝福で受けた約束が実現したことに気づきました。預言が成就するのを見たのです。■

注——コートジボワールの情勢は2004年以來改善しています。外国人宣教師も再び赴任して奉仕しています。

2011年の ミューチャルのテーマ

「わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる。実に、わたしたちはパウロの勧告に従うと言ってもよい。わたしたちはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。わたしたちはすでに多くのことを堪え忍んできており、またすべてのことを堪え忍べるようにと望んでいる。どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは誉れあることや称賛に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。」(信仰箇条 1:13)



会長、イレイン・S・ダルトン(中央)、
第一顧問、メアリー・N・クック(左)、
第二顧問、アン・M・ディブ(右)。



会長、デビッド・L・ベック(中央)、
第一顧問、ラリー・M・ギブソン(左)、
第二顧問エードリアン・オチョア(右)。

わたしたちは信じます！

中央若い女性会長会

わたしたちは、一人の徳高い若い女性が、御霊に導かれることによって世界を変えられると信じています。わたしたちは中央若い女性会長会として、若い女性が自分が正しいと信じていることを実行し、証人として立ち、福音の標準を守り、大きな影響を及ぼすのを見てきました。一人の若い女性が、徳高くあり聖霊の静かな細い声に耳を傾けて行動するとき成し遂げられる事柄は驚くべきものです。

ジョセフ・スミスは信仰箇条第13条を書いたとき、信仰を持つ者としてわたしたちが尋ね求めることができ、またそうすべきことは何か、どのような人物になるべきかを示しました。聖霊の力と強さを受けるには、標準や徳質が良いものであることを認め、それらを守ったり身に付けたりしなければならないことをジョセフ・スミスは知っていました。言葉と行いにおいて救い主に従う必要があることを知っていました。そうするなら、神殿の祝福を受けるふさわしさを身に付ける備えができると知っていたのです。

自分を信じる

あなたはどのようにして主に従いますか。あなたの模範によって人々が救い主の模範に従い、徳高い生活をし、神殿に入る備えができるようになるにはどうすればよいのでしょうか。まず、自分を信じてください！ 勇気と強さがあったからこそ、あなたは人々を導く者となったのです。そして、あなたが決意することで、今年大きな変化が起きるでしょう。あなたの考え、新しい試み、行動は現在と将来の世界を形作るのです。

科学技術が発達した世界にいるお

かげで、皆さんは世界中を徳高いもの、好ましいもの、称賛に値するもので満たすことができます。すぐにでも全世界にイエス・キリストについて証することができるのです。そのような力や祝福、機会を受けた世代はかつてありません。

毎日3プラス1！

わたしたちは皆さんを信じています。今こそ結束し、皆さんの能力を高めたり人々に祝福をもたらしたりする変化を起こす時です。皆さんに毎日3つのことを続けるように勧めるとともに、さらにもう一つのことを勧めます。

1. 毎朝と毎晩祈る。
2. モルモン書を毎日少なくとも5分読む。
3. ほほえむ！
4. さらに、『若人の強さのために』の標準を守って生活するように皆さんに勧めます。これらの標準をよく知ってください。人に伝えてください。そして信者の模範となってください。

今年は信じましょう。あなたが天の御父の娘であること、天の御父が愛し助けてくださることを信じてください。救い主イエス・キリストを信じましょう。主はあなたの光、そして希望です。あなたの模範であり、贖い主です。自分を信じてください！ 標準を守るすべての若い女性の力を信じてください。皆で力を合わせて徳高いこと、好ましいこと、称賛に値することを尋ね求めることができます。世界を変えることができます。

皆さんが信仰と行動によって世界を変える世代であることを信じています。わたしたちは皆さんを信じています！ ■

忠実な神権者となる

中央若い男性会長会

初等協会を卒業する前に、皆さんの多くが信仰箇条第13条を暗記しました。今もそれを暗唱できるよう願っています。今年、わたしたち会長会は皆さんに、単なる暗記からさらに進んで、パウロの勧告に従うと言った預言者ジョセフ・スミスの言葉の真の意味を学ぶようチャレンジします。今年のミューチャルのテーマは信仰箇条第13条です。ここに書かれている特質の一つ一つを注意深く研究し、学んだことを実践することをお勧めします。また、これらの標準に従った生活をするだけでもたらされる喜びを人々に分かち合うようにしてください。

学ぶ、実践する、分かち合うというこの行動規範は、新しい「神への務め」プログラムで皆さんが使っているものと同じです。この3つの簡単なステップを踏むならば、忠実な神権者となるでしょう。

信仰箇条第13条には次のような言葉があります。「わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと……。」(強調付加)「ある」とは振る舞い以上のものであり、その人の真の姿を表します。正直であること、真実であること、純潔であることで、皆さんは同年齢の多くの

若い男性とは異なる存在となります。人は、皆さんの中にある良い資質を目にすると、自分もそれを身に付けたいと思うようになります。神権の務めを学び、それに基づいて行動することで、皆さんは変わります。皆さんがいるいろいろな所で「すべての人に善を行う」とき、皆さんは人々を祝福し、人々の生活を変えることでしょう。

良い模範

ベンは人を助ける良い模範であり、助けられた人々に祝福をもたらしています。人からあまり注目されない人や、自分がなじめていないと感じている人を心にかけています。自分のことよりほかの人たちのことを考えるのです。キーロンがベンのワードに移ってきたとき、キーロンの生活は彼自身が言ったとおりの「楽しみだけを追いかける」誤った方に向いたものでした。心に空虚さを感じていました。しかし、末日聖徒の友人たち、特にあの親友のベンの模範があったおかげで、もっと良い道があることを知ったのです。ベンはキーロンを教会の活動に誘いました。そのような活動でキーロンは、そこにいる若い男性には何か違うものがあることに気づきました。彼ら

のようになりたいと思いました。何が違っているのか、はっきりとは分かりませんでした。自分がそれを望んでいることは分かりました。彼らのように幸せになりたいと思いました。

彼は神に祈り、教会員になる必要があることを知りました。二人が16歳のとき、ベンは親友にバプテスマを施しました。バプテスマについてキーロンはこう言っています。「やっと平安を見つけました。そして、フロントから出たとき、救い主の愛に満ちた御腕を感じました。自分の信じることに従って生活している良い友達に感謝しています。」

アロン神権の力

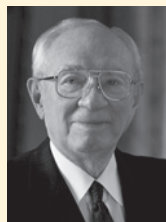
教義と聖約第58章27節から28節にはこう書かれています。「人は熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって行い、義にかなう多くのことを成し遂げなければならない。人は自らの内に力があ[る。]」皆さんの中にはその力があります。皆さんにはアロン神権の力が授けられています。わたしたちは皆さんを愛しています。そして、皆さんが忠実な神権者となる時、偉大なことができることを知っています。■

皆さんがいるいろいろな所で「すべての人に善を行う」とき、皆さんは人々を祝福し、人々の生活を変えることでしょう。



信仰箇条 1:13

信仰箇条は、1842年に預言者ジョセフ・スミスがジョン・ウエントワースという編集者にあてて書いた手紙が基になっています。ノーブで、教会の新聞『タイムズ・アンド・シーズンズ』(Times and Seasons)に初めて発表されて以来、信仰箇条は末日の聖文の一部となりました。



わたしたちは…… 信じる

「わたしたちの信仰に関するこの箇条は、わたしたちの神学の基本的な宣言の一つです。わたしたちはこの箇条について何度も熟考すべきです。そうすると、卑劣なことや不正直なこと、不道德なことを行うように誘われるときにいつも、わたしたちの行動の倫理にかかわるこの偉大で包括的な声明が、わたしたちの心の中で力を発揮することでしょう。」

ゴードン・B・ヒンクレー大管長 (1910 - 2008年)
「善を行うのを恐れてはならない」
『リアホナ』2000年2月号, 5

純潔

「人が持つ性的な力は肉体上のことだけに限定されるものではありません。実のところ、純潔と貞節は肉体ではなく、霊にその源があります。それらはわたしたちの霊の状態を表しています。霊が福音の真理と調和しているとき、わたしたちは高い標準に従って生活することを望み、そしてその望みは行動に表れます。このように、純潔と貞節は、結婚前の性交渉をしないことや、結婚した後には伴侶に対して貞節であり続けることだけにとどまるものではありません。霊の生活がどのようなレベルにあるかを示しているのです」

テラヌ・D・オーソン「道徳的な清さに関する真理」
『リアホナ』1999年10月号, 31 参照

慈善

慈善とは親切であって人に与えること、つまり、善いことをすることです。イエス・キリストは地上での務めを果たしている間、「神が共におられるので、よい働きをしながら、……巡回されました。」(使徒 10:38) 人が慈善の心をもって生活するとき、神はその人を強め、高めてくださいます。

パウロの勧告

ピリピ人への手紙第4章8節を読んでください。これは使徒パウロからピリピに住む聖徒たちにあてた手紙の一部です。

13 わたしたちは、正直、真実、純潔、慈善、徳高くあるべきこと、またすべての人に善を行うべきことを信じる。実に、わたしたちはパウロの勧告に従うと言ってもよい。わたしたちはすべてのことを信じ、すべてのことを望む。わたしたちはすでに多くのことを堪え忍んできており、またすべてのことを堪え忍ぶようにと望んでいる。どのようなことでも、徳高いこと、好ましいこと、あるいは普れあることや称赞に値することがあれば、わたしたちはこれらのことを尋ね求めるものである。

これらのことを尋ね求める

『若人の強さのために』の「娯楽とメディア」(17ページ)を読んでください。あなたの選ぶ娯楽はそこに書かれている標準と信仰箇条第13条



に一致したものでしょうか。良いメディアを選んだことでどのように祝福されてきたかを日記に書くことを考えてみましょう。



徳高くある

「徳は『道徳的に高い標準に基づいて考え行動するパターン』です(『わたしの福音の宣べ伝えなさい』118)。徳には純潔や道徳的な清さも含まれます。徳は、心と思いから生まれ……何千という小さな選びや行いの積み重ねです。……徳高い女性や男性は、静かな威厳と内なる強さを持っています。聖霊を受けその導きを受けるふさわしさを備えているので、自信に満ちています。」

中央若い女性会長 イレイン・S・ダルトン
「徳に立ち返る」『リアホナ』2008年11月号, 79

セミナーを受けなくちゃ

友達の何げない言葉がわたしの人生を変えるきっかけとなりました。

リサ・ペース

「リサ、あなたセミナーを受けなくちゃ。」来年度のクラス選択表のファイルを前にして、アシュレーが何げなく言いました。わたしたちの高校生活がスタートしたときのことです。

しばらくアシュレーをぼかんと見つめた後で、何とか笑ってごまかしました。口には出せませんでした。わたしはセミナーをいちばん遠い存在に感じていました。当時わたしは、それまでほとんどずっとそうであったように、あまり活発な教会員ではありませんでした。福音については何となく分かっていましたが、それが真実であるという強い証あかしを受けたことはなかったのです。

その日、学校が終わって家に帰ると、セミナーはどのようなものだろうか、興味がわいてきました。アシュレーもほかの友達も皆、セミナーに出席することをとても楽しみにしているようでした。友達がそこで何をしているのか、なぜそれをしているのかは分からなくても、わたしは皆がしていることをしてみたいと思いました。わたしの計画について両親と話し合い、許可を得て、高校の最初の年にセミナーを受けることを決めました。

そのちょっとした行動が、自分の人生に大きな影響を及ぼすことになるとは思ってもみませんでした。セミナーを受けた最初の年に、わたしもほかの人たちも神の子供として愛され、大切にされていることが分かり始め、人生は変わりました。家族は教会のこ



とに活発ではありませんでしたが、わたしは日曜日に教会に通い始めました。

今はもう高校を卒業していますが、わたしはこれからいつもセミナーに感謝することでしょう。毎日のあの時間、祈りはこたえられ、証は強くなりました。セミナーは神殿結婚の準備をする助けとなり、さらに善い人にな

る努力をする励ましとなりました。

神がわたしたち一人一人を気にかけてくださることを知っています。セミナーが祝福であり、わたしにとってイエス・キリストに対する堅固な土台を築く助けであったことを知っています。セミナーを受けることをお勧めします。皆さんの生活もきっと変わります。■

わたしたちのスペース

変わることへの恐れ

オリビア・ガフォルカン

わたしはクリスチャンとして育てられました。家族は信仰深い方ではありませんでしたが、父はいつもわたしに、自分が真実だと知っていることに従って行動するよう教えてくれました。

10代前半のころ、わたしは多くの試練を経験しました。背中への手術、両親の離婚、母親の病気、妹の世話といったことを経験するにつれて、わたしは冷笑的で皮肉っぽくなりました。そのようなわたしは、15歳になる数か月前に宣教師たちと知り合いになりました。ジョンソン長老とチャドウィック長老が福音を教えてくださいました。

モルモン書を読みましたが、長老たちの勧めるように生活を変える気持ちはありませんでした。生活を変えるのは大変すぎると感じ、「わたしを放っておいてほしい」という言葉が口から出かかりました。そう言おうとして顔を上げると、チャドウィック長老と目が合いました。彼の頬に一粒の涙が伝っていました。そのときほど自分を恥じたことはありませんでした。「明日電話をします」と、わたしは彼らに言いました。

教会から家に帰り、モルモン書を初めて読み終わりました。そ



れから人生で初めてひざまずき、モルモン書が真実かどうか神に尋ねました。わたしはこれまで、神に何かを尋ねたことが一度もありませんでした。変わることをとても恐れていました。「アーメン」と言った後、静かな、平安な気持ちに包まれました。天の御父がわたしを愛しておられることが分かりました。そしてモルモン書は真実であり、わたしは変われることが分かりました。

10日後、わたしはバプテスマを受けました。父も母も来てくれました。家族の中で会員はまだわたしだけですが、家族もいつかひざまずいて神に尋ねることでしょう。わたしは今もモルモン書を読んでいます、これで8回目になります。初めて読んだときと同じようにすばらしいです。モルモン書が真実であることを知っています。モルモン書には人を変える力があります。■

祈りの証^{あかし}

祈りがいつも自分の望んだように、期待したとおりにこたえられるとは限りません。あなたが今祈っていることについて考えてみてください。そして、あなたの気持ちに目を向けてください。主があなたを愛しておられ、祈りにこたえてくださることをいつも覚えていてください。主はもうすでにこたえてくださっているかもしれません。それは、主の答えを認識するかどうかの問題なのです。

メアリー・M、
17歳
(イングランド)



「わたしたちのスペース」への投稿は、経験談、芸術的な写真、感想などを、liahona@ldschurch.org へてに電子メールでお送りください。その際、表題に「Our Space」と書き入れてください。投稿者の氏名、生年月日、ワードまたは支部、ステークまたは地方部、親の許可文（電子メールも可）を明記してください。掲載される際、誌面の都合上、あるいは明瞭な表現^{めいりょう}にするために編集されることがあります。

重要な人

になるのは良いことです。

でも、
善い人

になる方がもっと重要です。

「善い人になるのは良いことです。でも、重要な人になるのはもっと重要です。」
「善い人になるのは良いことです。でも、重要な人になるのはもっと重要です。」
「善い人になるのは良いことです。でも、重要な人になるのはもっと重要です。」

宣教師になりたい？



ローラン・クック

「宣教師になりたい」という初等協会の歌を聞いたことがあるでしょう。実はもう一つ、伝道に出ることについての大切な子供の歌があるのです。「宣教師になりたいな。今すぐになりたい」¹という歌です。十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老も同じように思い、こう言いました。「若人は、人生の早い時期から伝道に出ることを念頭に置き、決意すべきです」²

しかし、伝道に出る必要があると知っていることと、伝道に出る備えができていて感じることはまったく別のことです。皆さんはどこから始めますか。福音の証^{あかし}を強め、知識を深めるといふ二つが、皆さんができる最善のことで、宣教師になる準備としてできることを幾つか挙げてみました。

1. 信仰

わたしたちは、日々、信仰を育てていく必要があります。イエス・キリストは教えられました。「あなたがたはわたしを信じるならば、わたしの心にかなうことを何事でも行う力を持つであろう。」(モロナイ7:33)

- 聖文を勉強する。聖文はイエス・キリストについて教え、証しています。
- 個人的な問題に対処しようとするとき、信仰を働かせてください。イエス・キリストへの信仰は苦しいときにあなたを慰め、あらゆる障害を乗り越える助けとなります。

- 教育、体力、健康の大切さを学んで、体と心をもっと管理できるようになりましょう。
- 清い生活を送るために、絶えず悔い改め、戒めを守り、断食し、祈りましょう。
- 若い男性の皆さん、神権の務めについて学び、神権の務めを果たしてイエス・キリストへの信仰を实践しましょう。

2. 霊

「宣教師は道徳的に清く、霊的に備えていなければなりません」³とバラード長老は教えました。

- 『若人の強さのために』に書かれている指針を研究し、従いましょう。
- 断食し、聖文を研究し、さらに導きを求めて祈ることにより、聖霊の導きを求めましょう。
- 教義と聖約第46章11節から26節にある御霊の賜物^{みたま たまもの}について読んでください。自分の霊的な賜物を見つけるために祈りの気持ちで求めてください。霊的な賜物を伸ばすために、両親や指導者の勧告を求めましょう。
- 次のように自分に問いかけてください。「自分が読んでいる本、見ているテレビや映画は心を高めるものだろうか。」 そうではないなら、どうすればもっと良い娯楽を選ぶことができるか、考えましょう。
- 霊的な促しに耳を傾けることができるようになりましょう。





3. 愛

宣教師として十分に仕えるためには、慈愛、つまりキリストの純粋な愛が必要です。人を愛することがいつも簡単であるとは限りません。奉仕、信仰、聖霊、そして勇気が必要です。モルモンは、キリストの純粋な愛で満たされるためには熱意を込めて祈らなければならないと言いました（モロナイ7：48 参照）。

- キリストが愛してくださるように人を愛することができるよう、謙遜に誠意を込めて祈りましょう。
- 家族の一人一人に親切な行いをして、家族への愛を示しましょう。もっと多くの愛や思いやりを必要としている家族を一人選んで、その人と一緒に過ごしましょう。
- 困っている人に親切にして、その人に愛を示しましょう。



4. 奉仕

ベニヤミン王は民に奉仕の大切さを教えました。人に奉仕するとき、それは神に仕えていることであると言いました（モーサヤ2：17 参照）。

- 奉仕を定期的に行い、習慣にしましょう。食事後の後片付けを申し出たり、きょうだいの宿題を手伝ったり、友達が必要な人に話しかけたり、近所の掃除を手伝ったりできるでしょう。
- 救い主の奉仕の模範ならに倣って、力と導きを求めて祈りましょう。
- あなたが属している若い男性、若い女性のグループが奉仕活動を計画するのを助けましょう。



5. 招き

モルモン書の偉大な宣教師の一人であったアルマは、教会員ではない人たちに招きの手を差し伸べて「来て、悔い改めのためのバプテスマを受けなさい」と言いました（アルマ5：62）。皆さんもアルマの模範に従うことができます。

- 教会員ではない友達や家族の良い友達、模範になりましょう。
- 友達や近所の人たちに福音を教える機会を見つけましょう。
- 福音を学び、教える練習を今からしましょう。ワードや支部の伝道主任に福音を教える方法を指導してもらいましょう。可能であるなら、専任宣教師が求道者を教えるときにレッスンに参加してください。
- 家庭の夕べで両親と『わたしの福音を宣べ伝えなさい』を研究しましょう。順番にレッスンについて話したり、レッスンの一部を教えたり、学んだことについて証を述べ合うこともよいでしょう。

今日標とするべき大切なことは、伝道に出ることです。また、伝道に向けて今準備することは、日々の生活にとって益となるでしょう。準備を始めるのに若すぎるといえることはありません。もっと大きくなるまで待つことはないのです。■

注

1. 「宣教師になりたいな」『子供の歌集』90
2. M・ラッセル・バラード「良い宣教師になるにはどのように備えたらよいか」『リアホナ』2007年3月号, 10
3. M・ラッセル・バラード「リアホナ」2007年3月号, 12

カレン・A・キンボール

実話をもとに書かれました。

「ブリガム・ヤング……は、大いなる末日のわざのものをすすめる務めにたずさわるために、時満ちる時代に来るようにとどめられていた者である。」(教義と聖約 138:53)

キ

ヤシーは人々がアメリカにどのように移住して来たかをソードバーク

先生が説明するのを聞いていました。新しい歴史の授業にキャシーはわくわくしていました。新しい歴史の教科書をめくっていると、ふとブリガム・ヤングの写真に目が留まりました。それまでキャシーは、ブリガム・ヤングがアメリカの歴史の中で重要人物であったと全く知らなかったのです。

ソードバーク先生は授業を終えるとうい言いました。「これから毎日宿題を出します。最初の宿題のしめ切りは明日です。」

家に帰り、ソードバーク先生が宿題に出したすべての質問を見て、キャシーはため息をつきました。

「学校は大変だった？」とお母さんは聞きました。「毎日宿題があるの」とキャシーは言いました。そのとき、歴史の教科書

にあった写真のことを

思い出しました。「お母さん、ブリガム・ヤングが教科書にのっているんだけど、どうしてブリガム・ヤングはアメリカの歴史の中でそんなに大切なの？」

「ブリガム・ヤングは何千人もの末日聖徒の移住者をソルトレーク盆地に導いたのよ。そしてその後、み



さいこうの

ブリガム・ヤング

んなのことをまとめ、そこに入植できるようにしたの」とお母さんは言いました。「それにはたくさんの準備が必要で、アメリカ西部への移住には不可欠なことだったのよ。」

次の日、ソードバーク先生はこう言いました。「来週、みんなで朗読劇をしましょう。一人一人に西部移住の時代の人物を演じてもらいます。君たちの両親やほかの生徒たちも見に来ます。」

ソードバーク先生は役を割り当て、台本をわたし始めました。だれがブリガム・ヤングの役をやりたいか聞いたとき、キャシーはすぐに手を挙げました。

「今日の宿題は、台本を覚え始めることです」とソードバーク先生は言いました。「完璧に暗唱しなければなりません。成績もそれでつけます。」

友達のエローラと一緒に教室を出ると、キャシーは自分のせりふに目を通しました。すると、とてもいやな気持ちになってきました。「こんなうそだわ」とキャシーはエローラに向かって言いました。「これだとブリガム・ヤングが不正直な人のように聞こえちゃう。」

「あなたは教会に行っているから、考え方がちがうだけなのよ」とエローラは言いました。

「こんなこと言えないわ」とキャシーは言いました。

「完璧に暗唱しなければならないのよ」とエローラは先生の言葉を思い出させました。

走って家に帰り、玄関のドアを勢

いよく開けて入ったとき、キャシーのほおにはなみだが流れていました。

「もっと宿題を出されたの?」とお母さんは聞きました。

「もっとひどいことよ」とキャシーは台本をお母さんにわたしながら言いました。「これ読んでみてよ。」

お母さんは台本を読み、首をふりました。「これを書いた人はブリガム・ヤングのことをあまり知らなかったのね。」

「どうすればいいの?」とキャシーは聞きました。

「まず、ブリガム・ヤングの衣装を探しましょう」とお母さんは言いました。

キャシーはおじいちゃんの長い黒のコートを着て、お兄ちゃんの白いシャツのそでをまくりました。となりのグランディさんは自分の予備の木づえを使って、キャシーにつえで歩く方法を教えてくれました。

お母さんはクローゼットから黒い山高ぼうを見つけ、キャシーにかぶせました。「ブリガム・ヤングはあなたをほこりに思うはずよ」とお母さんは言いました。「せりふは新しく変えないとね。」

キャシーは教会の歴史の本や教会のウェブサイトからブリガム・ヤングについての情報を調べました。そしてすぐにせりふを書きかえました。

「これがブリガム・ヤングのほんとうの話だわ」とキャシーは言いました。

劇の発表の日に、キャシーのクラ

スはホールに集合しました。両親やほかの生徒たちは席に着いて待っていました。ソードバーク先生がプログラムを発表すると生徒たちは朗読を始め、先生はステージの裏に行きました。

アレックスはせりふを完璧に暗唱しましたが、ランドールは間ちがえてしまいました。するとソードバーク先生はランドールにやり直しをさせました。キャシーはつえをにぎりしめました。そして自分の番になると、ブリガム・ヤングのほんとうの話をも暗唱しました。

「せりふ、かえた?」とエローラは劇の後に聞きました。

「うん。ほんとうのことを言ったの」とキャシーは言いました。

「ソードバーク先生が来たわ」とエローラは言いました。

「二人とも今日はよくやった」とソードバーク先生は言いました。そして続けてこう言いました。「キャシー、君は今までわたしが見た中で最高のブリガム・ヤングだったよ。」■



「ブリガム・ヤングは……正しい原則に従って行動しました。こうしてかれは、神のみ手に使われる力強い者となりました。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老
「何もかも彼らをつまずかせることはできません」
『リアホナ』2006年11月号, 90

絵 ショーリー・F・ヤング

どうしたら 霊的な土台を 築けるでしょうか？



十二使徒定員会の
ニール・L・アンダーセン長老が
このテーマについて
いくつかの考えを
紹介してくれています。

3. 喜んで人々に奉仕することによってイエス・キリストに従いましょう。わたしたちは自分のことだけを考えるのではなく、キリストが教えてくださった特質を生活の中に取り入れるようにしなければなりません。

2. お祈りしましょう。夜、ベッドに転がりこむ前に、まず天のお父様の前にひざまずき、自分が持っているものに対して感謝の気持ちを表し、霊的な力を強めてくださるようお願いしてください。

3. 礼拝しましょう。福音の儀式によって、また聖餐を毎週取ることによって、わたしたちは力を得ることができます。教会の集会で人と会うことを通して、そして最も大切な家庭での礼拝を通して、わたしたちは力を得ることができます。

1. 聖文を研究しましょう。主はわたしたちが自分の土台を強められるようにすばらしい書物をあたえてくださいました。

わたしたちのページ



イエス・キリストのしんじつ^{ふく}の福音^{いん}を知^しっている家族^{かぞく}のもとに生ま^うれたこと^{こと}に感謝^{かんしゃ}しています。わたし^{わたし}の8才^{はちさい}の誕生日^{たんじょうび}はイースターの日曜日^{にち}と重^{かさ}なり、救^{すく}い主^{ぬし}の復活^{ふっかつ}を祝^{いわ}う日にバプテスマ^{すこ}を受け^うけられたこと^{こと}に大きな喜^{よろこ}びを感じ^{かん}しました。少し緊張^{きんしやう}しましたが、お父^{とう}さんがわたしと一緒^{いっしょ}にいてくれて、わたしはお父^{ふち}さんが信頼^{しんらい}できる人^{ひと}だということ^{こと}を知^しっていました。バプテスマ^{すこ}を受けているとき、わたしは心^{こころ}に温^{あたた}かくて幸^{しあ}せな気持^{きもち}ちを感じ^{かん}しました。そしてお父^{ふち}さんを信頼^{しんらい}しているように、天^{てん}のお父^{ふち}様^{さま}を信頼^{しんらい}することができると分^わかりました。

わたしは今^{いま} 11才^{じゅういちさい}で、神殿^{しんでん}に行って死者^{しよ}のためのバプテスマ^{すこ}を受け^うけることを楽^{たの}しみにしています。バプテスマ^{すこ}がなければ天^{てん}のお父^{ふち}様^{さま}のところへ帰^{かえ}ることができなことを知^しっています。

ミリヤム・S, 11才 (スイス)



ジェリー・L, 9才 (フィリピン)

REUNIÃO FAMILIAR



「かていの夕べ」
ニコラス・M,
6才 (ブラジル)



日本^{にっぽん}の8才^{はちさい}のさくらちゃん^{ちゃん}はさいきんバプテスマ^{すこ}を受け^うけました。モルモン書^{しよ}を毎日^{まいにち}読^よんでいます。教会^{きやうかい}に行く^いのが楽^{たの}しみで、おいのりしたり、しんでんを見^みたりするのがすきです。イエス・キリストにしたい^{おも}いと申^まっています。そして、よいことをえらぶためにがんば^{がんば}っています。



ボリビアのベルメホ地区
プリメロ・デ・マヨ支部で
聖^{せい}さん会^{かい}の発表^{はつぷう}を終^おえた子供^{こども}たち。

せいぶんは かみの ことばです

ジョアン・チャイルド,
クリスティーナ・フランコ

「キリストの ことばを よく あじわう
ように〔しなさい〕。見よ、キリストの
ことばは あなたがたが なすべきことを
すべて つげるからである。」(2ニー
ファイ32:3)

モルモン書しょの なかで リーハ
イは かぞくに 自分が
見た いのちの 木の
ゆめのことを はなしました。ゆめの
なかで、リーハイは かぞくに その
木の みを 食べてほしいと 思
いました。その 木の みは
「ほかの どんな みよりも
このましい」ものでした
(1ニーファイ8:15)。リー
ハイは いのちの 木に
通じる みちを たくさんの
人ひとが ある歩あるいているのを見みまし
たが、なかには あんこくの き
りの なかで まよってしまい、
その みちから はなれてしま
う人ひとも いました。そうならな
かった人ひとは 道に そって いの
ちの 木まで つながる てつの
ほうに つかまっていた。そし
て、いのちの 木の ところに
たどりつくまで てつの ほうに
しっかり つかまって まえに す

すみました。木の みを 食べると
しあわせな 気もちに なりました。
(1ニーファイ 8しょうを見ましよう。)

リーハイの むすこ ニーファイは
お父とうさんが みたことことの いみを
知るために おいのりしました。ニー
ファイは お父とうさんと おな
じ ゆめを みました。みたまは ニーファイに
いのちの 木は かみさまの あい

を あらわしていると おし
えてくださ
いました。そして、かみの おんこ子
イエス・キリストが ちじょうの ひとひと
人人を おし
教え、しゆくふくしているのを お見
せになりました。また、てつの ほうが
かみさまの ことばを あらわしている
と お教えになりました。(1ニーファ
イ 11しょうを見ましよう。)

せいぶんは かみの ことばです。
せいぶんを よむことは てつの
ほうに つかまることことに にていま
す。せいぶんを よむと いエスさま
が わたしたちに なに をして、なに
を いって ほしいと おも
うら
れるのかが わかります。そして
ゆうわくに うちかって いの
ちの 木まで たどりつき、かみさ
まの あいを かんじる ちから
力を
えることが できます。■

かつどう

65 ページの せいくを よん
で リーハイと ニーファ
イが いのちの 木の じげんで みた
もの いみを しらべましよう。学
んだことを ほかの 人に 話してあ
げるのに、えを きりとって つかっ
てください。かていの たべで いの
ちの 木の 話を していいかりよう
しんに きいてみても いいでしょう。





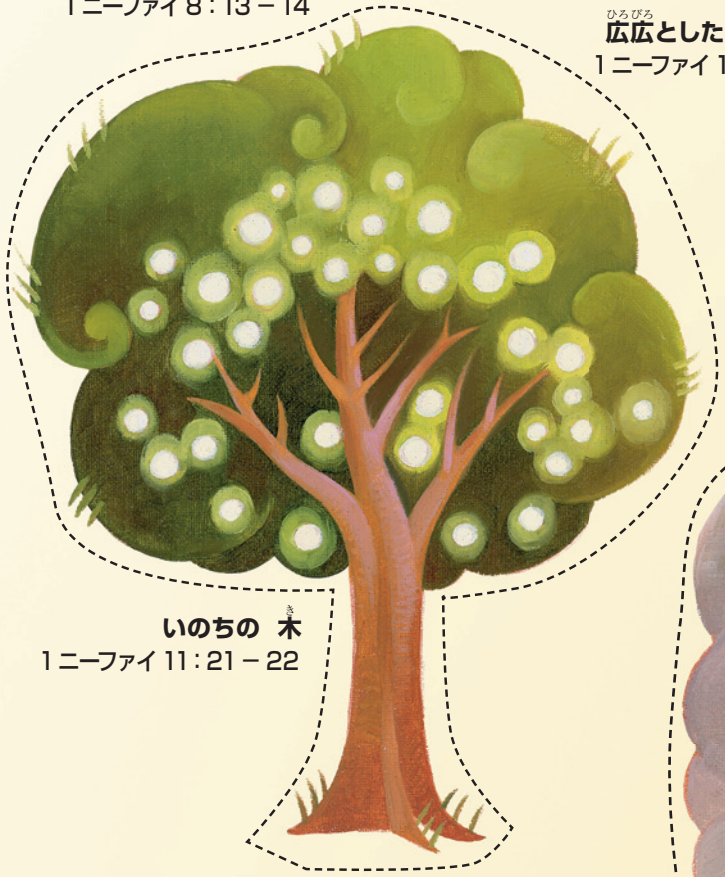
サライア, サム, ニーファイ
1ニーファイ 8:13-14



ひろびろ
広広とした たてもの
1ニーファイ 11:35-36

あざけり わらう人々^{ひとびと}
1ニーファイ 8:26-27

てつの ぼう
1ニーファイ 11:25

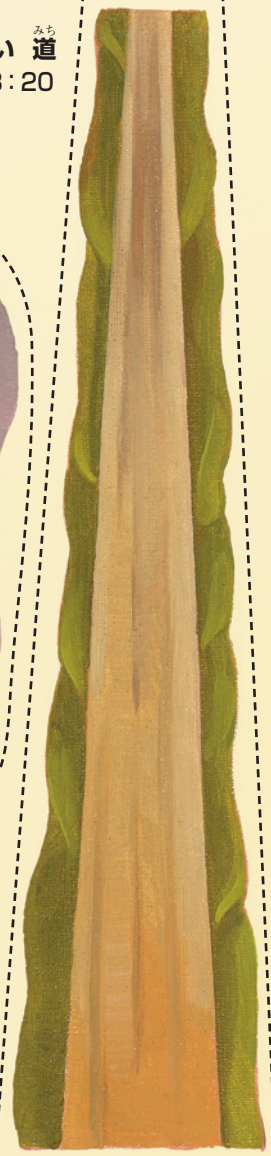


いのちの 木^き
1ニーファイ 11:21-22

ほそくて せまい 道^{みち}
1ニーファイ 8:20

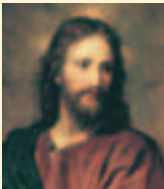


あんこくの きり
1ニーファイ 12:17



ひろびろ の ほん
広広とした 野原
1ニーファイ 8:20





子供の イエス様

ダイアン・L・マンガム



エルサレムの神殿——この神殿は今の神殿とはちがって、とても大きく、中庭や玄関にはたくさんの方がいました。人々は動物を神殿に持って来て、祭司がそれをぎせいとしてささげました。

ぎせい——祭壇の上で祭司たちが動物をぎせいにすることは、いつか天のお父様がご自分のむすこイエス・キリストをぎせいにし、わたしたちの罪のためにおなくなりになることを人々に示していました。



赤ちゃんのイエス様をだいたマリヤは、エルサレムのかみ合った**神殿**に入りました。マリヤとヨセフは神殿に2羽のはとを**ぎせい**としてささげるためにベツレヘムからやって来たのです。イエス様はもうすぐ6か月になろうとしていました。

神殿にはシメオンという老人がいました。かれはいつか救い主を見ようという約束を受けていました。シメオンは「主のつかわす救主に会うまでは死ぬことはない、聖霊のしめしを受けて」いました(ルカ2:26)。かれは赤ちゃんのイエス様を見たとき、約束がじょうじゆしたことを知って喜びました。その後、神殿で働いていたアンナという女性はイエス様がキリストであられることを喜んであかししました。

しかしすべての人が救い主の誕生を喜んだわけではありませんでした。ヘロデ王はユダヤ人の王となる子供が生まれたことを耳にしました。ヘロデ王は自分の国の中にほかに王はいらないと思いました。そして過去2年以内にベツレヘムの

そばで生まれた赤ちゃんをすべて殺すように命令したのです。

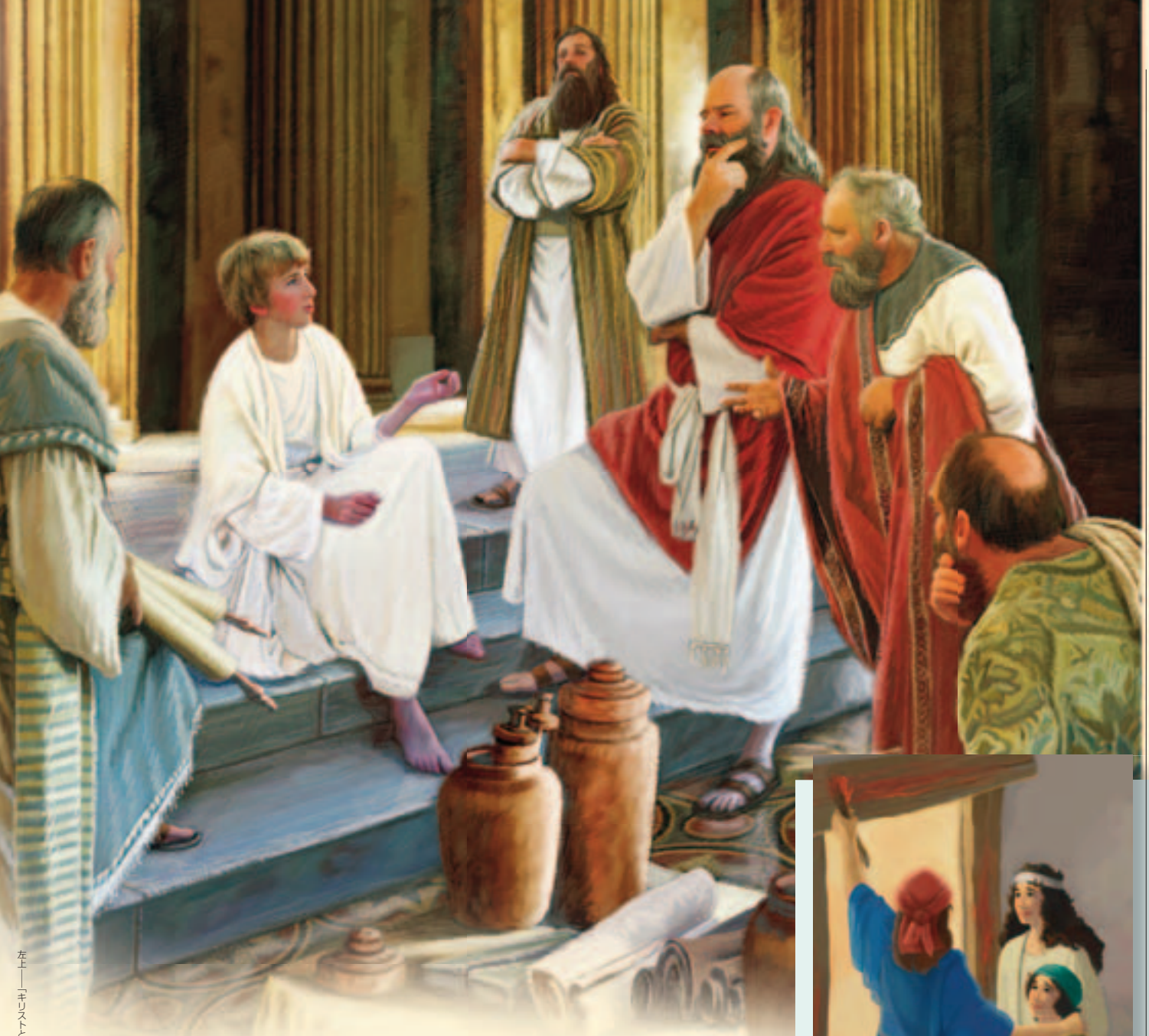
天使が夢でヨセフのところにやって来てヘロデ王の計画について警告しました。ヨセフとマリヤは夜のうちににげました。二人はイエス様をエジプトの地へ連れて行き、そこで安全に暮らせるようにしました。

ヘロデ王が死んだ後、イエス様の家族はナザレの町に移りました。ヨセフは大工として働き、マリヤは家のことをしました。

イエス様はヨセフのそばで、働くことを学びました。ユダヤ人の男の子がみんなそうであったように、イエス様も聖文やユダヤ教の律法を学びました。ヨセフとマリヤはいまじめに従い、イエス様は地上での両親から学びました。イエス様は「ますます成長して強くなり、知恵に満ち、そして神のめぐみがその上に」ありました(ルカ2:40)。

イエス様が12才になられたとき、マリヤとヨセフは**過ごしの祭**を祝うために

この話は
マタイ2章、
マルコ6:3、
ルカ2:21-52
をもとに
しています。



左—「エリサと金持ちの若い役人」の二部、ハイリッヒ・ホフマン画。右—ハリソン・ニコライ社の厚紙に印刷

イエス様をエルサレムに連れて行きました。そのとき、たくさんの人と一緒に移動しました。女性と男性は別々のグループになって歩き、夕方になると家族が集まって夕食を食べて、キャンプをしながら旅をしました。

祭の後、ヨセフとマリヤは家に向かって出発しました。その夜、二人は一緒に旅をしているどのグループの中にもイエス様がおられないことに気づきました。二人は急いでエルサレムにもどってイエス様をさがしました。そして3日後に神殿でイエス様を見つ

ました。イエス様は教師たちと話し、これらの質問に答えておられたのです。神殿にいた人々はおどろいていました。

マリヤはイエス様に、自分もヨセフもとても心配していたと伝えました。するとイエス様は自分が天のお父様のわざを行う必要があるということをマリヤに思い起こさせました。イエス様は若かったにもかかわらず、天のお父様の計画の中で自分には成しとげべき大切な役割があるのだということをご存じでした。■



過ぎ越しの祭——この祝日はイエス様が
お生まれになる約1,400年前に、ユダヤ人がどれいにされていたエジプトからのがれるのをエホバが助けられたことを祝う大切な日です。

イサベルはどこ？

スーザン・デニー

じつわをもとに書かれました。

「かれらは心を つくして よろこんで
かみに つかえる しょうことして、
また しょうめいとして バプテスマを
うけたいと ねがっていた……。」

(モーサヤ 21 : 35)

お父さんと ろうかを 歩い
ていた イサベルは、うれ
しくてスキップを したい
気分でした。お母さんに かみを
とかせてもらい、バプテスマ用の
白い ロングドレスに きがえればかり
です。イサベルは みんなが まっ
ている へやの 前で 立ち止まり
ました。

「だれでも あの モルモン書を
もらえるの？」小さな テーブルの
上においてある モルモン書を
さしながら、イサベルが お父さんに
たずねました。

「そうだよ。教会に ついて もっと
知りたいと 思う人の ために
おいてあるんだ」と お父さんが 言
いました。

イサベルが 中を のぞきこむと、
大らかな 人たちで へやは いっ
ぱいになっていました。おばあちゃんに
おばさん、おじさん、いとこた
ちが 前の方に すわっていました。
親友の グレースと その かぞくが
後ろに すわっているのも 見えまし

た。でも、学校の たんにんの
パーキンス先生が 見当たりません。

「バプテスマ会の はじまる 時間
だよ。中に 入ろう」と お父さんが
言いました。

「パーキンス先生が 来るまで も
うちよっと までないかな。」

イサベルは パーキンス先生が
大好きです。先生は 読書が すき
で、イサベルも 本を 読むのが
大好きなのです。

「イサベル、先生を しょうたいし
たのは とても よいことだけど、
おいでになれないかもしれないよ」と
お父さんが やさしく 言いました。

イサベルは ためいきを つきながら
うなずいて、お父さんと へやに
入り、前の せきに すわりました。
かいかいの さんびかが はじまる
直前、これが さいごと 思いなが
ら先生の すがたを さがして
あたりを 見回すと、グレースの
かぞくの そばに 先生が すわって
いるではありませんか。イサベルが 思
わず につこりほほえむと、パーキンス
先生も ほほえみかえしてくれました。

バプテスマの後 ビショップが、
しゃしんをとるので 間を つめて
ならんでくださいと 言いました。

「イサベルは どこかな」と ビ
ショップが 言いました。

みんなが あたりを見回しましたが、
イサベルの すがたは どこに

も ありません。

グレースが ろうかを さがしてみ
ましたが、イサベルは いません。げ
んかんに 行ってみましたが、やはり
イサベルは 見つかりませんでした。
さいごに グレースが 外に 目を
やると、教会どうの 入り口の
かいだんの ところで、パーキンス先生
と 話を している イサベルを
見つけました。

「わたしの バプテスマに 来てく
ださって ありがとうございます」と
イサベルは おれいを 言いました。

「いいえ、どういたしまして。すぐに
帰らなければならなくて ごめんなさい
ね。今日は ほかに ようじがあっ
て」と パーキンス先生が 言いました。

「それは だいじょうぶです。ただ
さしあげたいものが あって。先生は
読書が すきって おっしゃっていま
したよね。これは 本当に すばらしい
本なんです。」そう 言いながら イ
サベルは、さっき ろうかの テー
ブルの上から もって来た モル
モン書を 先生に わたしました。

「まあ、ありがとう」と パーキ
ンス先生が 言いました。

「読んでいただけますか」と イサ
ベルが たずねました。

「ええ、もちろんよ。やくそくす
るわ」と 先生が 答えました。

イサベルは とても うれしくなりま
した。にこにこしながら ふりかえると、



「わたしたちは、すくいの けいかくが
 あたえる 答えを もとめている人に、
 『おおいに しんげんに』(教義と聖約 123:
 14) ぶくいんの 光を もたらすべきです。」

十二使徒定員会 L・トム・ペリー長老
 「人々をわたしのもとに連れて来なさい」
 『リアホナ』2009年5月号, 110



グレースが まっていてくれました。
 「そこで 何を していたの。お母
 さんが みんなで シャしんを とり
 ましょうって まっているわよ」と
 グレースが 声をかけました。
 「パーキンス先生に モルモン書を
 わたしに 来たの」と イサベルが
 言いました。
 「ええっ、 どきどきしなかった？」
 グレースは 目を まん丸くして た
 ずねました。
 「うん、 ちょっとね。でも、先生が
 モルモン書を 本だなに しまっ
 ぱなしに しないかなって しんばい
 だったから、 モルモン書を ちゃんと

読んでくださるかどうかが 聞いたの。」
 「先生 何ておっしゃってた？」と
 グレースが 聞きました。
 「かならず 読むって やくそくして
 くださったわ！」
 「うわあ、 すごいじゃない」と グ
 レースが 言いました。
 こうして 二人は みんなの と
 ころに もどりました。
 「イサベル、 グレースが きみを見
 つけてくれて よかったよ。」 ビ
 ショップは そう 言いながら、 シャ
 しんを とるので もういちど 間を
 つめて ならばようと みんなに
 言いました。イサベルは 前の れつ

の まん中に 立ちました。
 すると イサベルの お母さんが
 イサベルの 方に 体を かたむけ
 て だきしめながら こう言いまし
 た。「これで あなたの バプテスマ
 きねん日は えいえんに わすれら
 れない 日になるわね。」
 イサベルは にっこりと ほほえみ
 ました。シャしんがあっても なく
 ても この バプテスマきねん日は
 けっして わすれられないものにな
 ることを イサベルは 知っていまし
 た。せんきょうしになることが ど
 んなに すてきなことが 分かった
 からです。■

なかよくしない？

パトリア・グラハム

じつわを もとに 書かれました。

「たがいに なさけぶかく、
あわれみぶかい ものとなり、
……あなたがたも たがいに
ゆるしあいなさい。」

(エペソ4:32)



1. マーガレットは 新しく 通うことになった 学校に 知っている 人が いないので、 ころぼそく 思っていました。

2. 女の子の中には からかう子も いました。かみかざりの リボンを 引っばる子も いました。これでは 新しい 学校が 楽しくなるわけないと 思いました。



3. ほうかで、マーガレットは おばあちゃんに 電話をかけて、いじわるな 女の子たちのことを 話しました。

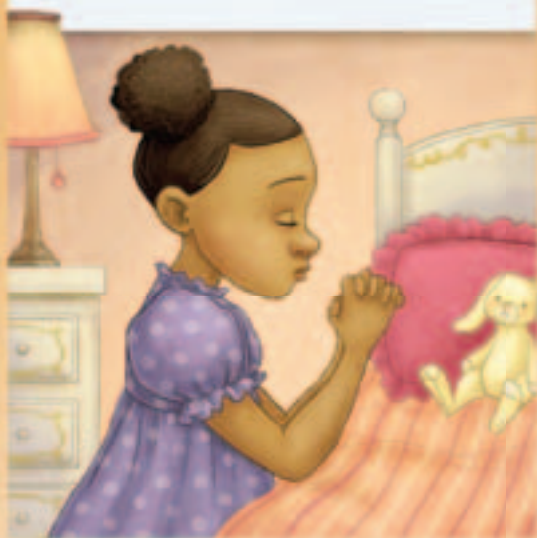


4.

マーガレット、
天のお父さまに おいのりをして
どうすればよいか たずねて ごらん下さい。
きっと たずけて くださるわ。



5. そのばん、マーガレットは 天のお父さまに おいのりしました。こまっていることを お話すると、いい考えが うかんできました。



6. つぎの日、学校で また 女の子たちが いじわるを してきました。



なかよくしない?

7. そして つぎの日も 女の子たちは マーガレットの かみの リボンを ひっぱりました。



なかよくしない?

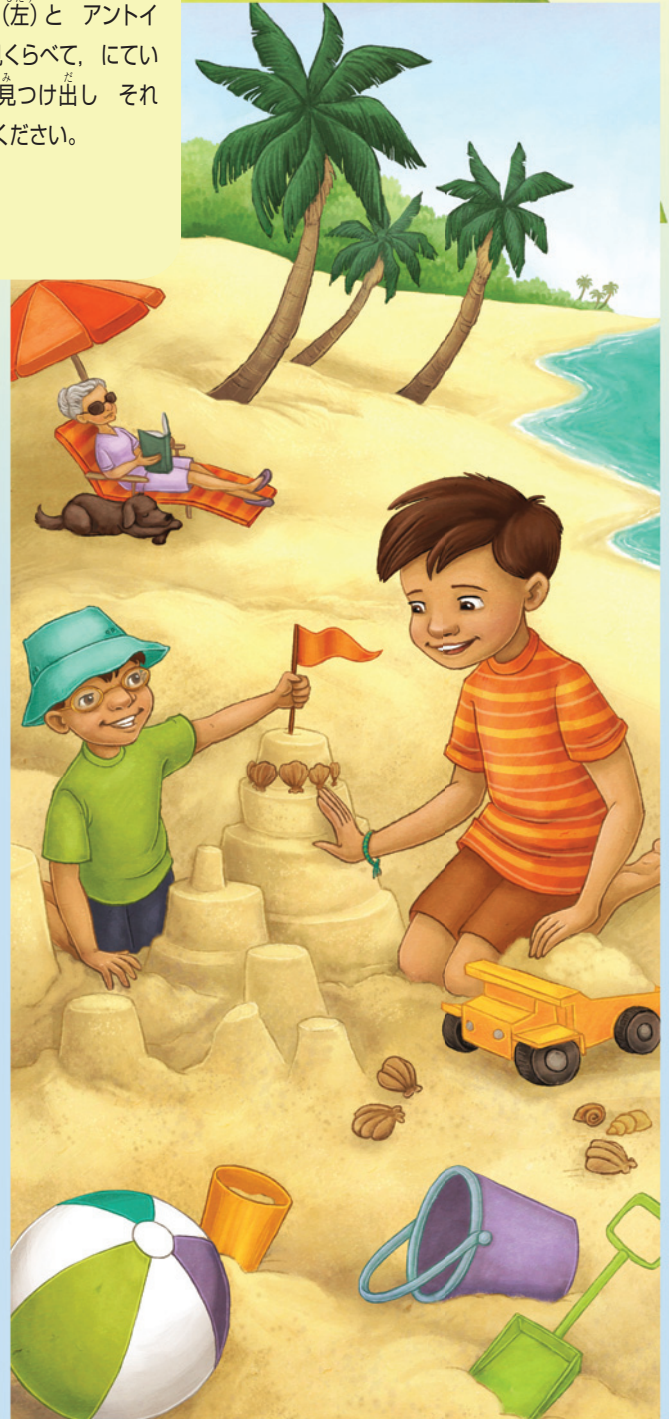
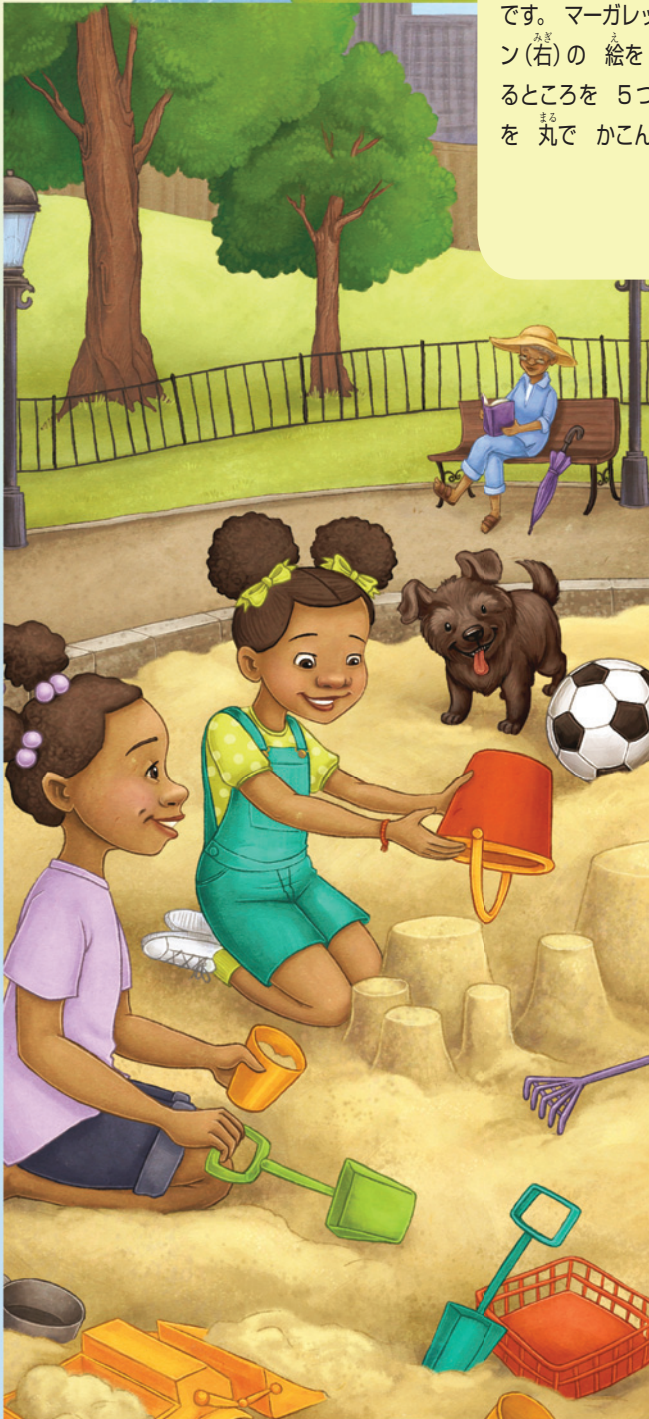
8. それから 1週間して マーガレットは うれしくなって 何が あったかを おばあちゃんに ほうこくしました。



天のお父さまがね、
いじわるをする 子たちに
親切にするようにって 教えてくださったの。
もう いじわるをする 子は だれもないわ。
今は みんな お友だちよ。

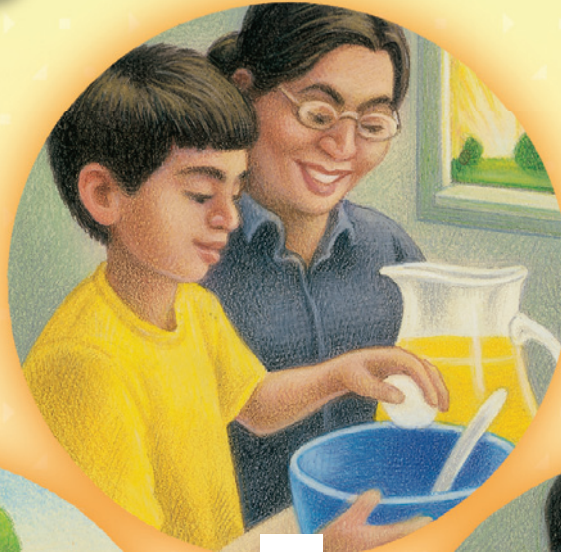
せかい中の子どもたちとお友だちに なりましょう

どこに すんでいても 友だちになる
ことができます。友だちになるに
は 親切にすることが とても 大切
です。マーガレット(左)と アントイン
(右)の 絵を 見くらべて、にいて
るところを 5つ 見つけ出し それ
を 丸で かこんでください。



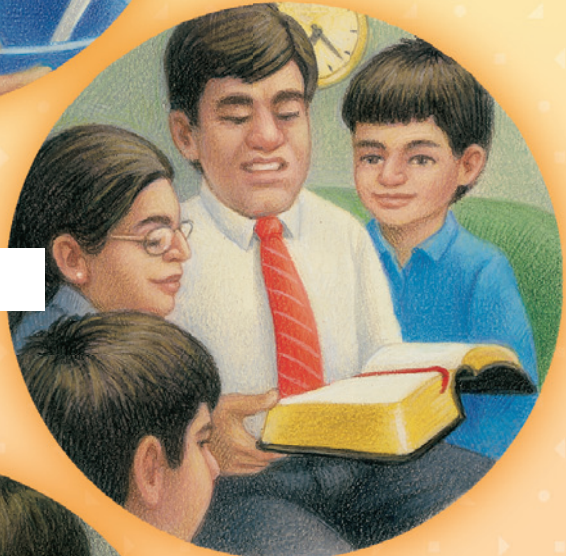
あんなに 1日にしよび

リンゼー・スティーブンス

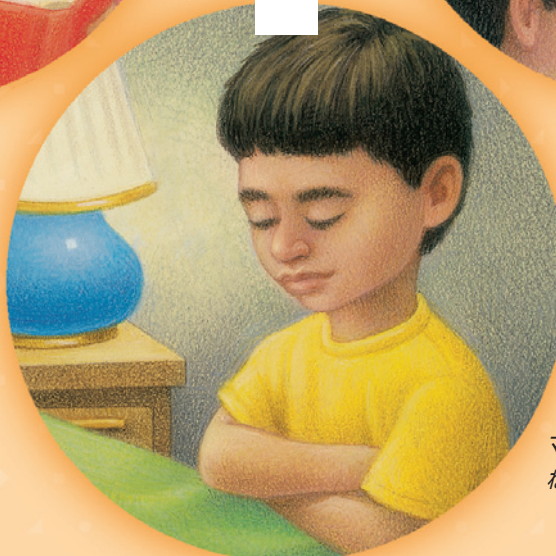


マニエルは お母さんが
朝ごはんの じゅんびをするのを
手伝います。

マニエルは 学校で べんきょうします。



マニエルは お父さんが
かぞくに せいぶんを 読むときに
耳を かたむけます。



マニエルは
ねる前に おいのりします。

マニエルは よいことを
して 1日を すごしま
した。マニエルが さいしょ
にしたことから 4ばん目に
したことまで じゅんばんに
ばんごうを 書いて ください。
今日 どんな よいことが
できるかな。

新しい手引きが 世界指導者訓練集会で紹介される

アダム・C・オルソン, 教会機関誌

トーマス・S・モンソン大管長と十二使徒定員会の会員は、2010年11月13日の世界指導者訓練集会で、教会の新しい手引きと、その中に含まれる大きな変更点について紹介した。

指導者訓練集会では、新しい手引き——『手引き 第1部：ステーク会長およびビショップ』および『手引き 第2部：教会の管理運営』——が紹介された。この訓練は、22の言語で、95の国に住む神権指導者と補助組織指導者に向けて放送された。

放送は、LDS.org at www.lds.org/leadership-training で視聴できる。

手引きの重要性

「手引きに従えば、安全です。」モンソン大管長はそう述べ、教会の方針や手続きに指導者が精通していない場合に、教会のプログラムが徐々に道をそれる可能性について警告した。

「手引きを読み、理解し、指示に従うときに、皆さん自身と仕える対象の人々にとって祝福となるでしょう。」

新しい手引きは明快な表現で書かれ、柔軟に適用できるようになっている。それは二つの重大な危険を避けるためであると、十二使徒定員会のボイド・K・パッカー会長は述べている。

その一つの危険性は、統制することにより教会のプログラムから聖霊の影響が制限されるということである。

「わたしたちが携わっているのは、霊にかかわる業です。霊にかかわる業というのは御霊みたまに導かれる必要があるわけです。」

もう一つの危険性は、「福音を基盤とせずに教

会を築いてしまう」ということである。

「教会が会員の生活の中に入っていないならばなりませんし、福音が会員の心の中に確立される必要があるのです。」

重要な変更

『手引き 第1部：ステーク会長およびビショップ』の文書の大半は、2006年に更新された『教会指導手引き 第1部』から変更されていない。

新しい手引きは、大管長会からの手紙に記された最新の指導を掲載し、ステーク会長とビショップの義務に関する章を短く明確にし、調べたい項目が簡単に見つかるように再構成されている。

『手引き 第2部：教会の管理運営』には、より多くの変更が加えられた。

原則に基づいたアプローチを取ることで、教会プログラムをより単純なものにし、必要な場合には、方針と手続きとプログラムの一致を犠牲にすることなく地元の実情に適用できるようになっている。

そのほかの大きな変更点としては、ワード評議会とその会員の役割を増やすことによりビショップの負担が軽減されること、ワード評議会の頻度を増やすことが可能になること、教会の使命が明確になること、ワード福祉委員会が担っていた働きを神権指導者会とワード評議会が行うようになること、ワード活動委員会を廃止しその機能をワード評議会が果たすようになることなどである。

教会の使命

新しい手引きは、教会の三つの使命は伝道と完成と贖いであるという、1981年に大管長会が述

2011年2月には、新しい手引きに関する2度目の世界指導者訓練集会が開かれる。その放送では、ステーク会長とビショップの責任の詳細について、また、定員会と補助組織の働きについて、そして、会員と指導者の数が少なく教会のすべてのプログラムを行うことが困難なユニットの特別なチャレンジについて焦点を当てる。



べた言葉から生じる混乱を改善するため、明確な言葉で表現している。

『手引き 第2部』の見出し2.2では、大管長会が1981年に述べた三つの側面は一つの大きな業に含まれることについて再確認している。「末日聖徒イエス・キリスト教会が神によって組織されたのは、神の子供たちに救いと昇栄をもたらす業を支援するためである。」(モーセ1:39 参照)

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は、「主の業におけるこの3つの働きの定義や範囲に注意を向けすぎることや「貧しい人々を世話するなどのほかの必要な要素を排除して」しまうことに対して警告の言葉を発した。

オークス長老はこう述べた。「見出し2.2に述べられている一般的な原則は『教会のプログラムと活動は個人と家族を支え、強める〔ことを目的としている〕』ことです。」

一致と適用

『手引き 第2部』の最初の3つの章に示されている原則と教義は「教会の管理運営の基礎であり、〔指導者たち〕のあらゆる働きの基盤としなければならないもの」であると、十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は述べた。

しかしながらその後の章、特に「一致と適用」と題された新しい章では、教会の方針とプログラムのどこに柔軟性が存在するかについて説明している。

この章は「教会のあらゆる地域で統一しなければならない事項を知る」のに役立つ「地元での調整が許可される状況に関して特に大切な原則が記されている」とクック長老は述べた。

実情に合わせてふさわしく適用することができるものには、補助組織の人員やプログラム、指導者会と活動の形式や頻度などが含まれる。

考慮すべき状況には、家族の状況、移動やコミュニケーションの手段、会員の人数が少ない場合、安全性などが含まれる。

「どのような適用が適切かを検討するに当たって、指導者は常に御霊の導きを求め、直接の管理役員と相談するべきです。」クック長老はそう述べた。

前進する

パネルディスカッションの司会を務めた十二使徒定員会のM・ラッセル・バラード長老は、評議会で一度に一つの章を学び話し合うことによって、さらに深く学ぶことができると述べた。

方針やプログラムについて手引きから答えが得られない質問がある場合、指導者たちは自分を管理する神権指導者と相談するべきであると、オークス長老は勧めている。

解決できない質問がある場合には「中央に最も近い神権指導者だけが、大管長会事務局に直接尋ねるべきです」と、オークス長老は述べた。■

十二使徒定員会の
M・ラッセル・
バラード長老、
ジェフリー・R・
ホランド長老、
デビッド・A・
ベドナー長老、
中央扶助協会会長の
ジュリー・B・ベック、
七十人會長の
ウォルター・F・
ゴンサレスが、
2010年11月の
世界指導者
訓練集会において、
新しい教会手引き
の中の原則について
話し合っている。

60周年を祝う**早朝セミナー**

早朝セミナーは大変かもしれないが、日の出前に起きて聖文に目だけでなく心も向けるという努力は行う価値があると、過去60年にわたって100万人以上の10代の教会員たちが実感してきた。

「毎日数分間を聖文に費やし、^{あかし}証を述べ、^{みたま}御霊を感じることは、これから学校へ向かう生徒を力づける効果があるばかりでなく、癒しの効果もあるのです。イエス・キリストの贖い^{あがな}の効果を自分の生活に招き入れることができるからです。これは、青少年にとって非常に素晴らしい機会です」と、セミナー・インスティテュート宗教教育の教育長補佐であるケリー・ホーズは語る。

**60年前に
セミナーが
創設されて以来、
100万人以上の
末日聖徒の
若者たちが
早朝セミナーの
恩恵に
あずかってきた。**



早朝セミナーの誕生

最初のセミナーは1912年、アメリカ合衆国ユタ州ソルトレーク・シティー、グラナイト高校横のセミナーハウスにおいて、学校の授業時間中に行われた。しかし、年月がたつにつれ、増加しつつあった公立校に入学しても、グラナイト高校の生徒のようにセミナーのクラスに通うことができない教会の青少年が増えていった。

1940年代後半、カリフォルニア州南部では教会

員数が急増し、若者たちに福音の教育をする必要が高まった。そこで、何人かのステーク会長が集まって、カリフォルニア州南部地域に教会のセミナープログラムを設立する要請を出した。

1948年から1949年の授業年度内に、後に七十人会長会で奉仕することになるマリオン・D・ハンクスが、ソルトレーク・シティーのウエスト高校で、早朝セミナーのクラスを開き、成功を収めた。同じような早朝のクラスを開くことは、カリフォルニア州の聖徒たちにとって理にかなった解決方法と思われ、11ステークで計13クラスの早朝セミナーを開く許可が下りた。

様々な需要にこたえる

このプログラムが1951年から1952年の授業年度で正式に開始されてから、早朝セミナーは合衆国全体、さらに全世界へと広まり、どこに住む青少年も聖文を学び、福音の原則を生活に取り入れることができるようになった。この正式名は最近「デイリーセミナー」に変更になった。このようなクラスがすべて早朝に開かれているとは限らないからである。

デイリーセミナーがこれほどの成功を収めている理由の一つは、その柔軟性である。プログラムはステークおよび地方部単位で組織され、クラスは青少年および両親、神権指導者の必要と状況に合わせて、単一のワードもしくは支部で組織されるか、または複数のワードもしくは支部の合同で組織される。

リリストタイム・セミナーは、教会員の人口密度が高い地域で授業時間中に開かれる。この恩恵にあずかっている生徒は現在でも毎年およそ11万5,000人いるが、全世界では、デイリーセミナーに出席するセミナーの生徒たちが21万7,000人近くいる。

教会の青少年の中には、ほかの教会員から非常

に離れた場所に住んでいるためにリリースタイム・セミナーにもデイリーセミナーにも出席できない人がいる。家庭学習セミナーのプログラムが作られたのはそのためである。家庭学習の生徒は、割り当てられた教材を週に4日個人で学習し、週に1度ほかの家庭学習の生徒とともに集まって、学んだことを話し合う。

人手によらず切り出された石

今日、セミナーのクラスはアメリカ合衆国の全州および全世界の140か国で開かれている。カナダが合衆国以外でセミナーを開く最初の国となったのは、1948年のことである。早朝セミナーの普及とともに、これに続いて1958年にメキシコ、1962年にはフィンランドとドイツ、1963年に日本、1964年にパナマが、それぞれセミナーの開催国になり、年月とともにそのほかの国も加わっている。最近では2008年に、ベニンおよびグルジア、モロッコの各国でセミナーのクラスが設立された。

セミナーが全世界に広まるのに伴い、セミナーの生徒のコミュニティーが全世界規模で発達しつつある。セミナーの生徒は、どこに住んでいようと、同じマスター聖句を暗記し、同じ聖句を学び、証が育つにつれて同じ御霊を感じ、同じ王国を築くために働いているのである。

犠牲から得られる祝福

出席しているのがリリースタイム・セミナーであろうと、デイリーセミナーや家庭学習セミナーであろうと、セミナーの生徒は犠牲を払い、それによって天の御父に近づいている。

「15歳の子が『5時に起きてセミナーに行く』と決心するとき、それは単なる犠牲にとどまりません。このようにして選択の自由を行使することは、天の御父に対する決意の表明なのですから、祝福が返ってくるのです」とホーズ兄弟は言う。

このような祝福は、今も60年前も変わることがない。そしてセミナーは、その形態を問わず、全世界の青少年たちに恵みを注ぎ続けているのである。■

アフリカ全土で奉仕する聖徒たち

2010年8月21日の土曜日、アフリカ大陸全土の教員が「2010年全アフリカヘルピングハンズデー」に参加して、地域社会の改善に貢献した。

今年、ナイジェリア・アバステークは、地域社会に根を下ろす幾つかの青少年の団体と手



を組み、合わせて1,000人以上の人手を集めた。ナイジェリア・ウムアヒア地方部では、6つの支部から100人以上の会員が出て、草を刈ったり花を手入れしたり、アフリカ・アビア州の放送協会の排水溝やグラウンドを掃除したりした。

ガーナのアカカでは、支部の会員たちが、病院や子供の学校、警察署など、割り当てられた様々な場所の清掃を行った。道路の穴を埋め、詰まった排水管をきれいにするといった作業を割り当てられた会員もいた。

ヘルピングハンズのベストを着て行くと、地域の人たちはどこでも感謝の気持ちで奉仕を受け入れてくれる。アビア州の技

術専門学校の校長は、ボランティアたちにこう言った。「政府は何をしてくれるのかと皆が口をそろえて言っている時代に、人のために継続的に奉仕する組織があるということは、歓迎すべき進歩です。」■

インドネシア語の合本が利用可能に

インドネシア語版の合本が利用できるようになった。インドネシア語を話す人々が、モルモン書と教義と聖約、高価な真珠が1冊になった自分の言語の聖典を持てるようになったのである。新版のインドネシア語版モルモン書も利用可能になった。

インドネシア語の合本は、オンラインでの閲覧も可能である。オンライン版では脚注や地図、写真を見ることができ、聖文にしるしを付けたり、キーワードで検索したりすることもできる。これは、scriptures.lds.org/ind にアクセスすると閲覧できる。

インドネシア語を話す教員は、全世界で6,000人以上おり、そのほとんどはインドネシアおよびマレーシア、アメリカ合衆国に住んでいる。インドネシアは世界で4番目に人口の多い国である。

大管長会は自分の聖典を持ってそれを個人の学習や教会の集会で使い、割り当てを行う際に活用するよう会員たちに勧めている。■

殿堂入りを 果たした番組

毎週放送されているモルモン
タバナクル合唱団の番組 ミュー
ジック・アンド・スポークン
ワードが、米国のラジオ殿堂入
りを果たした。役員会が殿堂
入りの番組をノミネートした後、
好きな番組とパーソナリティー
を一般投票した結果、選ばれ
たのである。

ミュージック・アンド・ス

ポークンワードは、「国民パイ
オニア」部門で受賞している。
これは、10年以上にわたってラ
ジオ業界に貢献し、ラジオ番組
の開発・改善において全国レベ
ルで指導的な役割を果たした放
送関係者をたたえる賞である。

ミュージック・アンド・スポー
クンワードは合衆国で最も長く
続いているラジオ番組である。
第1回目に放送されたのは、
1929年7月15日であった。

この番組は、2,000局を超える



© Busaith Photography

ラジオ局およびテレビ局、ケーブル
テレビから放送されている。また、
musicandthespokenword.org
で、オンラインで聞くこともで
きる。その際、ホームページで
Listen Liveをクリックし、オン
ラインストリーミングのリンクに
従う。■

**ラジオ殿堂入りを
果たした
毎週放送の
ラジオ番組
ミュージック・
アンド・
スポークンワード**

世界の出来事

教会携帯アプリが利用可能に

教会は携帯アプリを公開し
て、会員が出先でも福音を学習
できるようにした。「福音ライ
ブラリ」のアプリケーションを使
うと、聖文や大会説教、日曜
日に使う手引きを読みなが
らブックマークしたり、
ハイライト表示したり、メモ
を打ち込んだりすることが
できる。「モルモン
チャンネル」[Mormon
Channel]のアプリケーションは教会の公式ラジ
オ局の番組を放送し、聖
文、大会説教、教会機関誌を
収録している。mobile.lds.org
にアクセスすると、互換性に関
する情報を見ることができる。



ロサンゼルス神殿の訪問者セン ターが再開

ロサンゼルス神殿の訪問者セ
ンターが2年間の改修工事を経
て2010年8月7日、再びオー
プンした。同センターは、福音の
基本的な原則を中心にした展示
はもちろんのこと、カリフォル
ニア州南部の教会の歴史につ
いても特に採り上げて展示
している。1,100平方
メートルの建物には、複
数の展示エリアに加え
て2部屋の映写室が
ある。最も注目を集め
るのは、高さ3.4メー
トルのクリスタス
像のレプリカで
ある。これは、
訪問者センター
の外からも見る
ことができる。

さらに2億件の記録がオンラ インで閲覧可能に

2010年8月、FamilySearch.
orgは、2億件以上もの検索可
能な記録を新たに公開した。
この結果、記録検索サイトで検索
できる記録は総計7億件とな
った。この無料のデータベースを
利用するには、Pilot.Family
Search.orgまたはbeta.family
search.orgからアクセスする。
利用できる記録がこれほど増
えたのは、全世界35万人の
ファミリーサーチ検索作りボラ
ンティアの働きによるところが
大きい。このボランティアは、
歴史記録の画像を書き写して
デジタル検索可能なデータに変
換する作業を行っている。■

読者からの便り

わたしの人生の羅針盤

わたしは『リアホナ』が大好きです。これはわたしの人生の羅針盤です。わたしを正しい道に導き、より良いことに心を向けさせてくれます。また、わたしが強く成長するための力となり、次々に襲いかかる誘惑を避けるための助けとなっています。わたしの生活に日々養いを与えてくれるのです。この機関誌を制作し、世界中の人がこの羅針盤でありガイドでもある機関誌を手にして信仰の道を間違いなく歩めるようにしてくださっていることに感謝しています。

アナスタシア・N, 17歳 (ウクライナ)

『リアホナ』はカウンセラー

わたしは福音を伝える一つの方法としてよく、『リアホナ』の購読を友人や社員にクリスマスプレゼントとして贈ります。職場の人はよくわたしのところに来て、読んだ記事の感想を話してくれます。彼らは『リアホナ』をカウンセラーとして活用しており、家族に問題があると、一緒に『リアホナ』を読むのだそうです。わたしはオフィスの待合室にもこの機関誌を1部置いています。これはすばらしい伝道の手段です。

ブリシラ・ピラー (ブラジル)

霊的な力の源

わたしたちは、アメリカ合衆国ユタ州ローガンに住むコロンビア人です。スペイン語の『リアホナ』を受け取ることができるので感謝しています。3人の娘が福音に従った生活をして神殿に対する愛をはぐくめるよう、親として努力しています。毎月『リアホナ』を発行してくださり、ありがとうございます。わたしたちの家族はそのメッセージから霊的な力を得ています。

リンコン家族 (アメリカ合衆国, ユタ州)

ご意見、ご感想を liahona@ldschurch.org にお送りください。掲載される際、紙面の都合上、あるいは明瞭な表現にするために編集されることがあります。■

家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に幾つか例を挙げます。

「家族歴史活動に携わる」8ページ——家族の一人一人に箱を与え、飾り付けをして写真や日記そのほかの記録を入れることができるようにしてもよいでしょう。

「新しい『成長するわたし』プログラムは、どのように変わったのですか?」34ページおよび「アロン神権——あなたが考える以上にすばらしいもの」37ページ——新しい「成長するわたし」プログラムと「神への務めを果たす」プログラムでは、学んだことをよく考え、人に伝えるよう青少年に勧めています。家族に10代の子供がいる場合は、彼らが「成長するわたし」プログラムまたは「神への務めを果たす」プログラムで最近達成した活動を基にしたレッスンを、家庭の夕べで行うよう依頼してもよいでしょう。

「どうしたら霊的な土台を築けるでしょうか?」62ページ——水の漏れない容器を用意して、一つは中に小さな石を敷き詰めます。もう一つの耐水容器には、砂を敷き詰めます。「家」を一つは石の上、もう一つは砂の上に置きます。そして、それぞれの容器に水を注ぎます。砂の上の「家」は沈みますが、石の上の「家」は倒れません。強い霊的な土台があれば、人生の嵐にも耐えることができることについて話し合います(ヒラマン5:12参照)。



子犬が教えてくれた教訓

子供たちが幼かったころのことです。金魚の無料券を引き換えるために、子供たちを連れてペットショップに行きました。2時間後に店を出たわたしたちは、子犬を抱いていました。子供たちが自分のお金で買ったのです。その晩、子犬は洗濯室に寝かせたのですが、翌朝、洗濯室はめちゃくちゃになっていました。掃除をするのは子供たちの責任でしたが、とてもできないと感じたようでした。「できないよ」とベンをかきながら言うのです。

その晩家庭の夕べを開き、物事の結果についてレッスンしました。父親がこう言いました。「犬を買ったとき、君たちは結果のことを考えていなかった。そして今、犬は家族の一員なのだから、君たちには犬の面倒を見る責任がある。」どんな選択をしても、必ず結果が付いてくることについてわたしたちは話し合い、常に義にかなった選択をするよう子供たちを励ました。

この犬は14年間家族の一員として暮らし、最近亡くなりました。でも、この犬が与えてくれた生きた教訓は、いつまでも心に残るでしょう。

ジル・グラント (オーストラリア, ビクトリア州)

決して見捨てられることはない

教会機関誌

アダム・C・オルソン

主は地上で教え導かれておられたとき、しばしば聖文を引用されました。したがって、新約聖書に収められている主の言葉が旧約聖書にもあるのは別に驚くことではありません。しかし、ある日詩篇第22篇の冒頭にある「わが神、わが神、なにゆえわたしを捨てられるのですか」という一節を読んだわたしは、それまで考えたこともない思いに駆られました。

十字架上で激しい苦しみのさなかに、救い主が聖文を引用して言葉を発せられたことについて(マタイ27:46参照)、それまでじっくり考えたことがなかったからです。このことは、霊的な深い奥義に気づききっかけになりました。

ほとんどの人は、「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか」とつぶやいたことがあるのではないのでしょうか(教義と聖約121:1)。わたしの場合、霊的に不安定なときや悩んでいるときに心によくこの言葉が浮かんできます。

そうしたわたしの心に、救い主の発せられた言葉に対する疑問がわきました。主は確信が持てずに、いやむしろ疑念を抱いてあのような言葉を発せられたのだろうか。自分の救いに必要な解決策や打開策を見いだすには救い主に頼るしかないとなわが思うその瞬間に、実は全知全能の救い主と言えども何の答えも持っておられないということなのだろうか。

この詩篇を読んでわたしは次のことを学びました。確かに主が発せられた言葉は、「神が離れて行かれるという恐るべき絶望」を表す、魂が引きちぎられるような表現ではあります。このとき主は神が離れて行かれることを薄々感じておられたかもしれませんが、そのことを十分には理解しておられなかったと思われます。しかし、それは、主が天の御父に疑いを抱かれたということではないのです。¹

主が天の御父の助けを最も必要とされたときに、聖文の言葉を引用して御父に叫び求められ



救い主でさえも
必要なときに
聖文を引用された
史実から、
わたしは、
人は決して
見捨てられることは
ないという確信を
得ることが
できました。

たことは、主が御父を信じておられたこと^{あかし}の証であり、深遠な奥義を明らかにするものでもあります。詩篇第22篇は御父への問いかけで始まりますが、それは神が決してお見捨てにはならないと深く信じていることを明らかにする御言葉^{みことば}でもあります。

「われらの先祖たちはあなたに信頼しました。彼らが信頼したので、あなたは彼らを助けられました。

彼らはあなたに呼ばわって救われ、あなたに信頼して恥をうけなかったのです。」(4-5節)

救い主の苦しみを予知していた詩篇の作者は、詩篇の中で、主が人々に嘲笑され(7-8節)、偽りの裁判にかけられて拷問をお受けになる(11-13節)と預言しています。また、主が肉体的苦痛や(14節)、のどの渇き(15節)に見舞われ、手足に傷を負われるだけでなく(16節)、その衣服はくじ引きによって分けられることも(18節)預言しています。

救い主は最初の一節だけを引用されましたが、その後続く聖句は、主が約束の救い主であり、主が苦しみをお受けになることで預言が成就すること、また主が天の御父に全幅の信頼を置いておられたことを証しています。

わたしはこのことを理解することによって、自分の信仰は間違っていなかったことを強く確信することができました。しかし、神がわたしをお見捨てになったのではないかと不安に思うときや、御父はわたしの叫びをお聞きにならなかったのではと心配になるときに、いちばんわたしを力づけてくれるのは、イエスが天の御父にみじんの疑いも持っておられなかったのでみもとに引き上げられたという事実を学んだことではありません。むしろ次の聖句に込められた証こそがわたしに大きな力を与えてくれるのです。

「主を恐れる者よ、主をほめたたえよ。ヤコブのもろもろのすえよ、主をあがめよ。イスラエルのもろもろのすえよ、主をおじおそれよ。

主が苦しむ〔イエス〕の苦しみをかろんじ、いとわれず、また〔御父は〕これにみ顔を隠すことなく、〔イエスが〕叫ぶときに聞かれたからである。」(23-24節、強調付加) ■

注

1. ジェフリー・R・ホランド「だれも主とともにいなかった」『リアホナ』2009年5月号、86参照



©1983 JRI

「戸口のキリスト」 デル・パーソン画

「見よ、わたしは戸の外に立って、たたいている。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中にはいって彼と食を共にし、彼もまたわたしと食を共にするであろう。

勝利を得る者には、わたしと共にわたしの座に

つかせよう。それはちょうど、わたしが勝利を得てわたしの父と共にその御座についたのと同様である。

耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい。」(黙示 3:20 - 22)



マリヤのように、主の足もとに
実際に座ることはできませんが、
今年、日曜学校で新約聖書を
学ぶわたしたちは、
主に学び、主の言葉を
聞くことができます。
七十人会長会の
ジェイ・E・ジェンセン長老は、こう述べています。
「聖文はイエス・キリストについて
^{あかし}証し教えています。
わたしたちが聖文の
研究に没頭するとき、
主と主の声
分かるようになります。」
「偉大な教師、救い主」
14 ページ参照

